ID番号	「メニュー→機器設定→システム設定→B-CASカード」で確認できる「カードID」と、「メニュー→ヘルプ→ID表示」で確認できる「デコーダーID」の番号を記入してください。 問い合わせのときに必要な場合があります。	カードID（B-CASカード番号）
		デコーダーID

●使いかた・お手入れなどのご相談は …

パナソニック 総合お客様サポートサイト
http://panasonic.co.jp/cs/

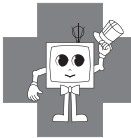
パナソニック VIERA（ビエラ）ご相談窓口 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-981（パナは キュウハチイチ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187 ■FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は……………………

パナソニック 修理サービスサイト
http://club.panasonic.jp/repair/
インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 0120-878-554（パナは イイヨ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

愛情点検 長年ご使用のテレビの点検を！ テレビセットを長期ご使用になりますと、内部の油煙、スス、ホコリ等の堆積によって故障する場合があります。

こんな症状はありませんか	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●映像が連続してチラついたりユレたりする。 ●ジージー・パチパチと異常な音がする。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

廃棄時にご注意願います！ 家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象商品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

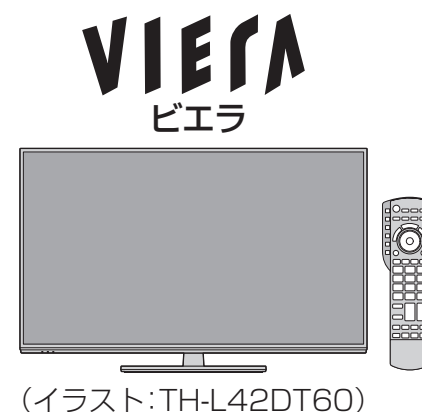
パナソニック株式会社　AVCネットワークス社
〒571−8504　大阪府門真市松生町1番15号

Panasonic®

VIErA ビエラ

（イラスト：TH-L42DT60）

取扱説明書

地上・BS・110度CSデジタル ハイビジョン液晶テレビ

品番 TH-L55DT60（55V型）
TH-L47DT60（47V型）
TH-L42DT60（42V型）

「取扱説明書」（本書）および「ビエラ操作ガイド」（テレビに内蔵）をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

機器をつなぐときは

詳しく知りたいときは

ビエラ操作ガイド
（テレビに内蔵）

リモコンの ?（ガイド） を押して表示
（使いかたは、☞40～43ページ）

基本の操作は

よく使う操作は

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●ご使用前に「安全上のご注意」（☞4～9ページ）を必ずお読みください。
●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。 保証書別添付
●安全のため、必ず転倒・落下防止処置をしてください。（☞16ページ）
●取扱説明書は、55V型（TH-L55DT60）と47V型（TH-L47DT60）と42V型（TH-L42DT60）共用です。
●製造番号は、安全確保上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

AVCHD™ reaLD 3D VIErA Link

TQB4GC1004-2
M1212-2013

安全上のご注意
準備
接続・設定
使いかた
かんたん操作
必要なとき

もくじ

●この取扱説明書やビエラ操作ガイドのイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
●この取扱説明書の説明イラストは、TH-L42DT60を元に作成しています。

こんなことができます

デジタル放送の視聴 ☞10ページ
本機では、地上デジタル放送・BSデジタル放送・110度CSデジタル放送が視聴できます。

エコナビ ☞63ページ
視聴環境や使用環境に応じて、本機が自動的に本機および周辺機器を制御して、消費電力を低減します。

インターネット ☞66ページ
インターネットサービスで動画サイトにアクセスしたり、テレビ電話(Skype™)などを使うことができます。

ネットワーク機器 ☞76ページ
お部屋ジャンプリンクなどのネットワーク機器を使うことができます。

録画(録画予約)、再生 ☞48ページ
本機からディーガやUSBハードディスクなどに録画できます。

ビエラリンク(HDMI) ☞46ページ
対応機器を接続すると、本機から操作したり、自動的に連動させることができます。

3D映像 ☞60ページ
3Dグラスを使って3D映像が楽しめます。

ビエラ操作ガイドに詳しい説明があるときは下記の表示をしています。

詳しくは: [?] →「○○○○」〜

リモコンの [?](ガイド) を押す

「安全上のご注意」を必ずお読みください(☞4〜9ページ)

紙の取扱説明書を紛失された場合は、当社ホームページから閲覧やダウンロードができます。
(http://panasonic.jp/support/tv/manual/index.html)

本機はインターネット(LAN)接続による双方向(データ放送)サービスに対応しています。
ただし、電話回線接続による双方向(データ放送)サービスはご利用になれません。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

 気をつけていただく内容です。

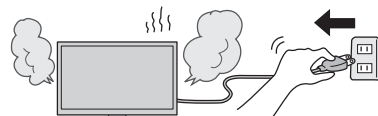
⚠ 警告

異常・故障について

異常・故障時は直ちに使用を中止してください

電源プラグを抜く

■異常があったときは電源プラグを抜いてください
- 煙が出たり、異常な臭いや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水などの液体や異物が入った
- 本機に変形や破損した部分がある

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- ●すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- ●お客様による修理は危険ですから、おやめください。
- ●電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

水ぬれについて

水ぬれ禁止

■本機の上に液体の入った容器などを置かないでください
液体がこぼれて内部に入ると火災・感電の原因になります。

水場使用禁止

■風呂場などで使用しないでください
火災・感電の原因になります。

誤飲防止について

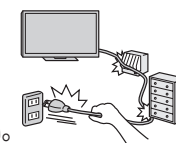
■メモリーカード類は、乳幼児の手の届く所に置かないでください
誤って飲み込むおそれがあります。
- ●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

異物について

■内部に金属類・燃えやすいものなどの異物を入れないでください
火災・感電の原因になります。
- ●特にお子様にはご注意ください。

⚠ 警告

電源コード・電源プラグについて

■破損するようなことはしないでください
（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる など）
感電やショートによる火災の原因になります。
- ●修理は、販売店にご依頼ください。

■傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください
■本機に付属のもの以外は使用しないでください
感電やショートによる火災の原因になります。
- ●修理は、販売店にご依頼ください。

■電源プラグは根元まで確実に差し込んでください
差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因になります。

■交流 100 V以外で使用しないでください
■コンセント・配線器具の定格を超えて使わないでください
■たこ足配線などをしないでください
発熱による火災の原因になります。

■電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください
ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。
- ●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

ぬれ手禁止

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください
感電の原因になります。

設置について

■不安定な場所に置かないでください
倒れたり、落ちたりしてけがの原因になります。

■壁掛け設置工事は、工事専門業者にご依頼ください
工事が不完全ですと、死亡・けがの原因になります。
- ●指定の取り付け金具をご使用ください。

雷について

接触禁止

■雷が鳴りだしたときは、アンテナ線や本機には触れないでください
感電の原因になります。

分解禁止について

分解禁止

■裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、本機を改造しないでください
内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。
- ●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

高圧注意
サービスマン以外の方は、裏ぶたをあけないでください。
内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

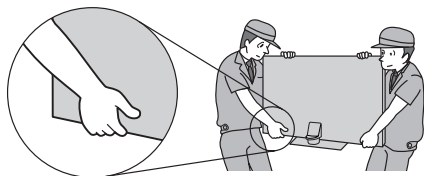
安全上のご注意 （必ずお守りください）

⚠ 注意

移動について

■移動させる前に接続線などをはずしてください（電源プラグ、アンテナ線、機器間の接続線や転倒・落下防止部品）
電源コードや本機が損傷し、火災・感電の原因になることがあります。

■開梱や持ち運びは２人以上で行ってください
落下してけがの原因になることがあります。

■運搬や移動をする場合は、指定した箇所を保持して行ってください
落下してけがの原因になることがあります。

電源プラグについて

電源プラグを抜く

■長期間使用しないときはコンセントから抜いてください
電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因になることがあります。

■電源プラグを持って抜いてください
電源コードを引っぱると破損し、火災・感電・ショートの原因になることがあります。

電池の取り扱いについて

■新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください
■日光、火などの過度な熱にさらさないでください
取り扱いを誤ると、電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。

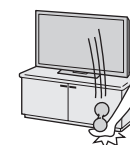
■極性（プラス⊕とマイナス⊖）を逆に入れないでください
取り扱いを誤ると、電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。
挿入指示通り正しく入れてください。
（21ページ参照）

⚠ 注意

本機の取り扱いについて

■強い力や衝撃を加えないでください
液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因になることがあります。

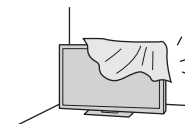
■乗らないでください
■ぶらさがらないでください
倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

■上に物を置かないでください
落下してけがの原因になることがあります。

■本体の回転範囲に手や物を置かないでください
■付属のスタンドは本機以外には使用しないでください
けがの原因になることがあります。

■接続ケーブルを無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったりしないでください
火災・感電の原因になることがあります。

■接続ケーブルを壁面に挟んだり、足をひっかけたりしないように処理を行ってください
火災・感電・けがの原因になることがあります。

設置について

■通風孔をふさがないでください
■据置きスタンド使用時は本機下面と床面との空間をふさがないでください
■風通しの悪い狭い所で使用しないでください
■あお向けや、横倒し、逆さまにして使用しないでください
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください
火災・感電の原因になることがあります。

■付属の転倒・落下防止部品を使用して固定してください
■ねじ止めをする箇所は、すべてしっかり止めてください
転倒・落下によるけがの原因になることがあります。
●転倒・落下防止処置は16ページ参照。

■本機の上面、左右、後面は10 cm以上の間隔をおいて据えつけてください
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■据置きスタンドは、指定の手順以外では取り外さないでください
倒れたりしてけがの原因になることがあります。（15ページ参照）

（工事専門業者様へ）

■壁掛け金具を使用するときは、施工説明書に従ってお取り付けください
落下してけがの原因になることがあります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠注意

お手入れについて

■通風孔に付着したゴミをこまめに取り除いてください

長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災・故障の原因になることがあります。
●湿気の多くなる梅雨時の前に行うとより効果的です。なお、内部の掃除依頼、費用については、販売店または98ページの連絡先にご相談ください。

電源プラグを抜く

■お手入れの前に、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください

感電の原因になることがあります。

アンテナについて

■アンテナ工事は、販売店にご相談ください

アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。
●送配電線から離れた場所に設置してください。
●BS、CS放送受信用のアンテナは強風の影響を受けやすいのでしっかり取り付けてください。

3D映像の視聴について

■光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D映像を視聴しないでください

病状悪化の原因になることがあります。

■3D映像の視聴中に、疲労感、不快感を感じたり、はっきりと2重に像が見えるなど、異常を感じたときは視聴を中止してください

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。
●適度な休憩をとってください。
●3D映像の見え方には個人差がありますので、「3D奥行き設定」で効果を設定する場合には特にご注意ください。

■3D映像の視聴中は、距離感が混乱したり、距離を誤る可能性があります

●誤ってテレビ画面や周りの人や物をたたかないでください
●周囲に壊れやすいものを置かないでください

周囲の物を破損してけがの原因になることがあります。

■3D映像の視聴年齢は、およそ5～6歳以上を目安にし、お子様が視聴するときは、保護者の方がお子様の安全や体調についてご注意ください

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。

⚠注意

3D映像の視聴について

■3D映像は下記の推奨距離（画面の有効高さの3倍）以上離れて視聴してください

推奨距離：55V型 2.1 m以上
47V型 1.8 m以上
42V型 1.6 m以上

近距離でのご使用は目の疲れの原因になることがあります。
映画のように上下に黒帯がある場合は、映像部分の高さに対して3倍以上の距離で視聴してください。
（上記推奨距離よりも短くなります。）

■3D映像は、両目を水平に近い状態にし、画面が2重に見えない適切な位置で視聴してください

映像が正しく見えないことによる目の疲れの原因になることがあります。

■近視、遠視、乱視や左右の視力が異なる方は、視力を適切に矯正したうえで3Dグラスをご使用ください（視力矯正めがねを装着したまま3Dグラスを装着することができます）

目の疲れの原因になることがあります。

3Dグラスの使用について

■3Dグラスに異常・故障があったときは直ちに使用を中止してください

目の疲れ、体調不良の原因になることがあります。

■鼻やこめかみが赤くなったり、痛み、かゆみが生じたら3Dグラスの使用を中止してください

ごくまれに塗料や材質でアレルギーの原因になることがあります。

■3Dグラスは、3D映像の視聴以外には使用しないでください

けがや目の疲れの原因になることがあります。

■破損した3Dグラスを使用しないでください

けがの原因になることがあります。

■3Dグラスを落としたり、曲げたり、力を加えたり、踏んだりしないでください

破損してけがの原因になることがあります。

■3Dグラスをかけたまま移動しないでください

転倒してけがの原因になることがあります。

■3Dグラスを装着する時は、フレームの先端にご注意ください

目をついてけがの原因になることがあります。

■3Dグラスのヒンジ部に、指をはさまないようにしてください

けがの原因になることがあります。

本機で楽しめる放送

本機はデジタル放送専用です。
●地上アナログ放送は受信できません。

地上デジタル放送について

UHF帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。
（2013年1月現在）

●本機ではワンセグ放送は受信できません。
●受信するためには、地上デジタルの送出局に向けてアンテナを設置する必要があります。
●地上デジタル専用のUHFアンテナやブースター、混合器などが必要になる場合があります。
（従来の地上アナログ放送用UHFアンテナでは、視聴地域の特定チャンネルに対応している
ことがあり、受信できない場合があります。）
●受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できないことがあります。
●放送出力が増大された場合に、受信設備（ブースターなど）の再調整、変更が必要になる場合があります。
●地上デジタル放送がケーブルテレビで配信されている場合があります（CATVパススルー方式）。その場合、「かんたん設置設定」で「受信帯域選択」を「全帯域」に設定してください。

地上デジタル放送を見るためには

お問い合わせ先（地デジ放送について）

●総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター（地デジコールセンター）
電話番号：0570－07－0101（IP電話等でつながらない場合は、03－4334－1111）
受付時間：平日…9:00～21:00、土日・祝日…9:00～18:00
●社団法人 デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp/

衛星（BS・110度CS）放送について

■ BSデジタル放送

放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。
BS日テレ、BS朝日、BS-TBS、BSジャパン、BSフジ、放送大学などは無料放送を行っています。
WOWOW（ワウワウ）やスター・チャンネルなどの有料放送は加入申し込みと契約が必要です。

■ 110度CSデジタル放送

通信衛星（Communications Satellite）を使って行う放送で、ニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの放送は有料です。
110度CSデジタル放送の放送事業者「スカパー！」への加入申し込みと契約が必要です。
「スカパー！」にはCS1とCS2の2つの放送サービスがあります。

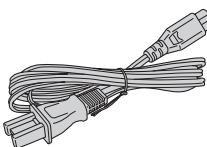
●衛星アンテナには電源供給が必要です。共同受信時や個別受信により、電源の供給設定が異なります。本機での電源設定は37ページをご参照ください。なお、個別受信で複数のテレビやチューナーをお使いの場合、分配器は、全端子電流通過型をご使用ください。
●既設のBSアンテナでも一部受信できる場合がありますが、環境・条件により受信が不安定になることがありますので、BS・110度CSデジタル放送対応のアンテナおよび受信設備をお使いください。
●本機に110度CSデジタル放送に対応していないレコーダーなどを接続する場合は、接続機器を経由せず直接本機の衛星アンテナ端子へ接続してください。レコーダーなどの接続機器との分配が必要な場合は、110度CSデジタル放送対応の分配器をお使いください。

お問い合わせ先

●「WOWOW」　公式ホームページ：http://www.wowow.co.jp/
カスタマーセンター：0120－580－807　受付時間 9:00 ～20:00（年中無休）
●「スター・チャンネル」　公式ホームページ：http://www.star-ch.jp/
カスタマーセンター：0570－013－111（ナビダイヤル）
（PHS・IP電話のかたは045-650-4724）　受付時間 10:00 ～18:00
・スター・チャンネル ハイビジョンの加入申し込みは、下記のスカパー！カスタマーセンターへお問い合わせください。
●「スカパー！」　公式ホームページ：http://www.skyperfectv.co.jp/
スカパー！カスタマーセンター（総合窓口）
TEL：【ナビダイヤル】0570－039－888
PHS・IP電話の場合：03－4334－7777
受付時間 10:00 ～20:00（年中無休）

本機では、電話回線を利用した新規加入の申し込みはできません。
ご利用の放送局やサービス会社にお問い合わせください。

ケーブルテレビ（CATV）を受信する場合

●ケーブルテレビの受信は、サービスが行われている地域のみ可能で、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。
●さらにスクランブル放送（有料）はアダプター（ホームターミナル）が必要です。
●詳しくはケーブルテレビ会社にご相談ください。
●ケーブルテレビで地上デジタル放送が配信されている場合があります（CATVパススルー方式）。その場合、「かんたん設置設定」で「受信帯域選択」を「全帯域」に設定してください。

付属品・別売品

付属品

●ヘッドホン・イヤホン、DVDプレーヤーなどの接続コード類、アンテナ接続用の同軸ケーブルなどは別売です。

設置や接続の前に、まず付属品をお確かめください。

〈　〉は個数です。

□リモコン ………〈1〉 (☞20ページ) (品番:N2QAYB000848)	□単3形乾電池 …………〈2〉 (リモコン用) (☞21ページ)	□B-CAS(ビーキャス)カード ………〈1〉 (☞13ページ) 表面　裏面 (カードの紛失時は☞13ページ)
□3Dグラス ……………………〈1〉 (☞60、62ページ) 付属品は1個です。 (品番:TY-EP3D20W)	□電源コード …………………〈1〉 (☞31ページ) (品番:K2CA2YY00264)	□取扱説明書…………………〈1〉
□据置きスタンド………〈一式〉(☞14ページ) □転倒・落下防止部品…〈一式〉(☞16ページ)	□クランパー……………〈1〉(☞31ページ) (品番:TMME289)	

●乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。
●付属品の品番は予告なく変更する場合があります。(上記品番と実物の品番が異なる場合があります。)
●付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へ上記品番でご注文ください。(サービスルート扱い)

別売品

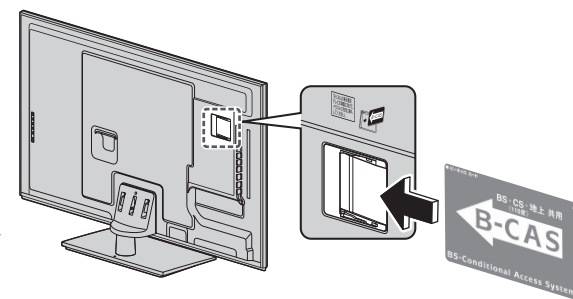
3Dグラス パッシブ方式に対応した当社製3Dグラスをご使用ください。 別売品は2個入りです。 (品番:TY-EP3D20W) (☞60、62ページ)	ビエラ コミュニケーション カメラ インターネットでの通信サービス「Skype」で使用します。 (☞30、66ページ)	
ハードディスク USB端子に接続することで、録画用のハードディスクとして使用できます。 (☞30、50ページ)	SDメモリーカード SDメモリーカード内に保存した写真やビデオを見ることができます。 (☞58ページ)	壁掛け金具 本機を壁掛け設置するときに使用します。 (☞17ページ)

B-CAS(ビーキャス)カードの挿入

●カードおよび台紙に記載の文面をよくお読みのうえ、必ず挿入してください。
●**挿入しないとデジタル放送が映りません。**
●「使用許諾契約約款」をよくお読みください。

BS／地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、「1回だけ録画可能」「個数制限コピー可能」などのコピー制御信号を加えて放送されています。
コピー制御を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

1 本体の電源ボタンで電源を切る
(☞19ページ)

2 B-CASカードを挿入する
カードの矢印表示面を背面(画面と反対側)に向けて、矢印方向へ止まるまで押し込む
●B-CASカードは折り曲げないように挿入してください。
●B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因になります。
●ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

■B-CASカードのテストをする

B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CASカードテストを行ってください。

■B-CASカードを抜くとき

(1) 本体の電源ボタンで電源を切る。
(2) B-CASカードを抜く。
●B-CASカードには、IC(集積回路)が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。

B-CASカードについて

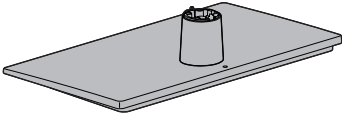
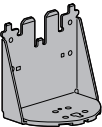
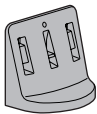
●台紙に添付されています。
※台紙をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●デジタル放送の視聴や録画のために必要なカードです。

B-CASカード
IC(集積回路)
0000 0000 0000 0000 0000
カードID番号
●有料番組の契約内容などを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。裏表紙のカードID番号(B-CASカード番号)記入欄にメモしておいてください。

■B-CASカード取り扱い上の留意点

●折り曲げたり、変形させない。
●重いものを置いたり踏みつけたりしない。
●水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
●IC(集積回路)部には手をふれない。
●分解加工は行わない。

■B-CASカードについてのお問い合わせ(故障交換や紛失時など)は

(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
TEL 0570-000-250

据置きスタンドの取り付け

本機には据置きスタンドが付属しています。据置きスタンドをご使用の際は、組み立てかたをよくお読みのうえ、しっかりとテレビ本体へ取り付けてご使用ください。

構成部品

〈　〉は個数です。

□ スタンド本体……〈1〉

品番：TH-L55DT60…TBL5ZX06231
TH-L47DT60…TBL5ZX06501
TH-L42DT60…TBL5ZX06111

□ スタンド金具……〈1〉

（品番：TBL5ZA33861）

□ スタンド金具カバー……〈1〉

（品番：TBL5ZB32821）

□ 金具固定用ねじ……〈4〉

（M5×18）（シルバー）

（品番：XYN5+F18FN）

□ 本体およびスタンド金具カバー固定用ねじ…〈4〉

（M4×10）（黒）

（品番：XYN4+F10FNK）

●構成部品の品番は予告なく変更する場合があります。（上記品番と実物の品番が異なる場合があります。）
●紛失された場合は、お買い上げの販売店へ上記品番でご注文ください。（サービスルート扱い）

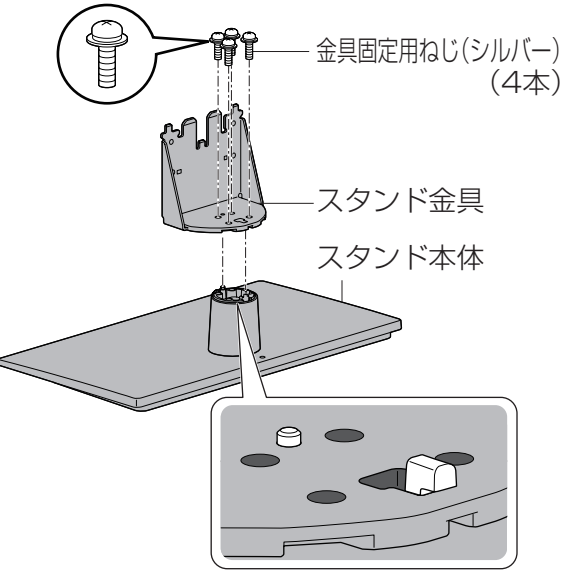
組み立てかた

1 スタンド金具を取り付ける

(1)スタンド本体上部のつめにスタンド金具をひっかけて固定する。

●スタンド金具が水平にすき間なくしっかり固定されていることを確認してください。

(2)金具固定用ねじ4本でスタンド金具をスタンド本体に固定する。

●最初に4本のねじを軽く締め、その後、しっかりとねじを締め付けて固定してください。

2 テレビ本体を取り付ける。

取り付けは、必ず2人で行ってください。

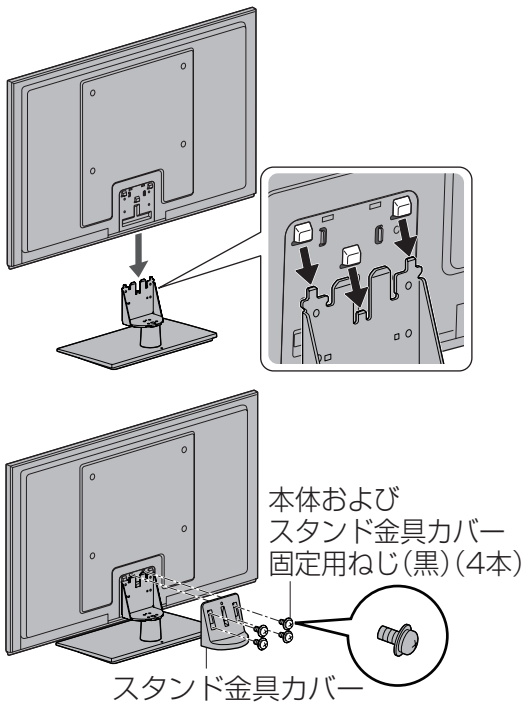
●テレビ本体を包装箱から出して据置きスタンドに取り付けます。

(1)右図のように、スタンド金具の3本のつめをテレビ本体の穴に合わせる。

(2)テレビ本体を止まる位置まで差し込む。

(3)スタンド金具にスタンド金具カバーをかぶせ、本体およびスタンド金具カバー固定用ねじを使って最初に4本のねじを軽く締め、水平になるように調整する。

(4)しっかりとねじを締め付けて本体を固定する。

スタンド金具カバーは必ず取り付けてください。
転倒・落下防止部品の取り付け時に必要になります。（☞ 16ページ）

■外しかた

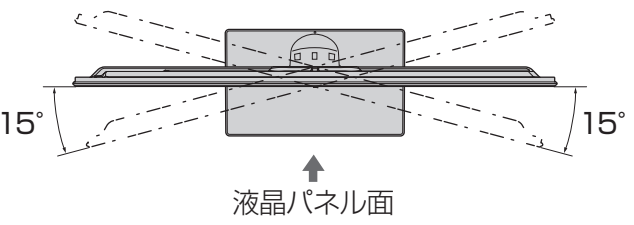
テレビ本体の包装箱に収納するときなどは、電源コードやアンテナ線、機器間の接続線、転倒・落下防止部品を外したあと、必ず「組み立てかた」の逆の手順で据置きスタンドを外してください。

お願い

●取り外した部品類は、元に戻される場合に必要となりますので大切に保管してください。

■回転機能について

●見やすい角度に合わせてお使いください。

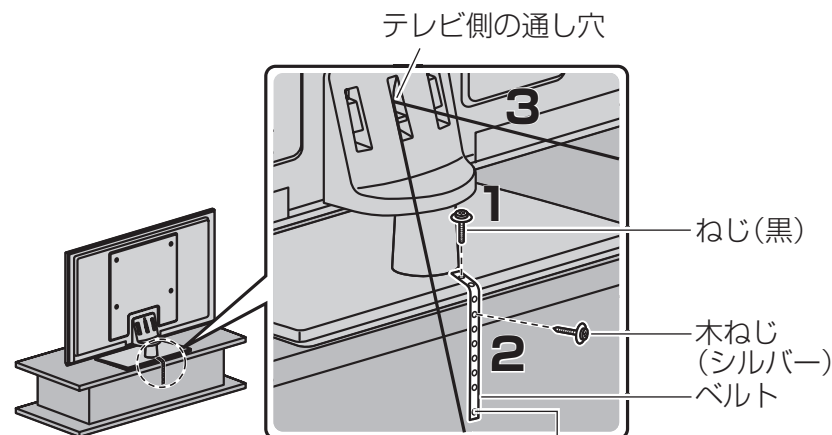
お願い

●テレビ本体を左右いっぱいに回転しても、テレビ台などからはみ出さないように設置し、回転範囲内に手を入れたり、物を置かないでください。
●据置きスタンドをご使用の際は、回転時に電源コードや接続線が断線しないように、余裕をもたせて配線してください。

転倒・落下防止

地震の場合などに倒れるおそれがあります。安全のため、必ず転倒・落下防止処置をしてください。
- ●本欄の内容は、地震などでの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するためのものであり、すべての地震などに対してその効果を保証するものではありません。
  付属品の転倒・落下防止部品、壁面への固定用部品の取り付け方法は、下記をご覧ください。
- ●テレビ台への固定と、壁面への固定の両方を行ってください。
- ●スタンド金具カバーを必ず取り付けて（☞15ページ）、転倒・落下防止処置をしてください。

- ●品番は予告なく変更する場合があります。
  （上記品番と実物の品番が異なる場合があります。）
- ●紛失された場合は、お買い上げの販売店へ上記品番でご注文ください。（サービスルート扱い）

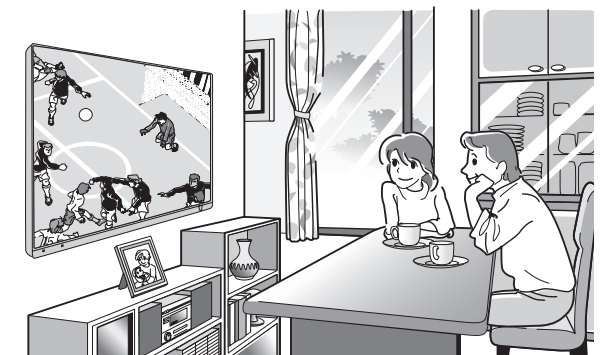
1 据置きスタンドにベルトを取り付ける

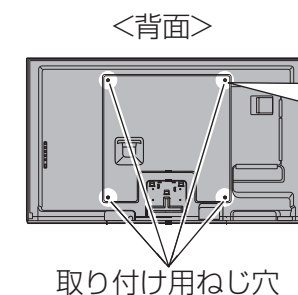
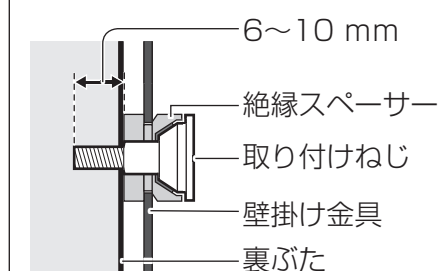
2 テレビ台に固定する

3 壁面に固定する

お願い
- ●壁面に固定する場合は、丈夫なひもやワイヤーなどの市販品を使用して、しっかりとした壁や柱に取り付けてください。
- ●ひもやワイヤーは本機が回転できるように取り付けてください。

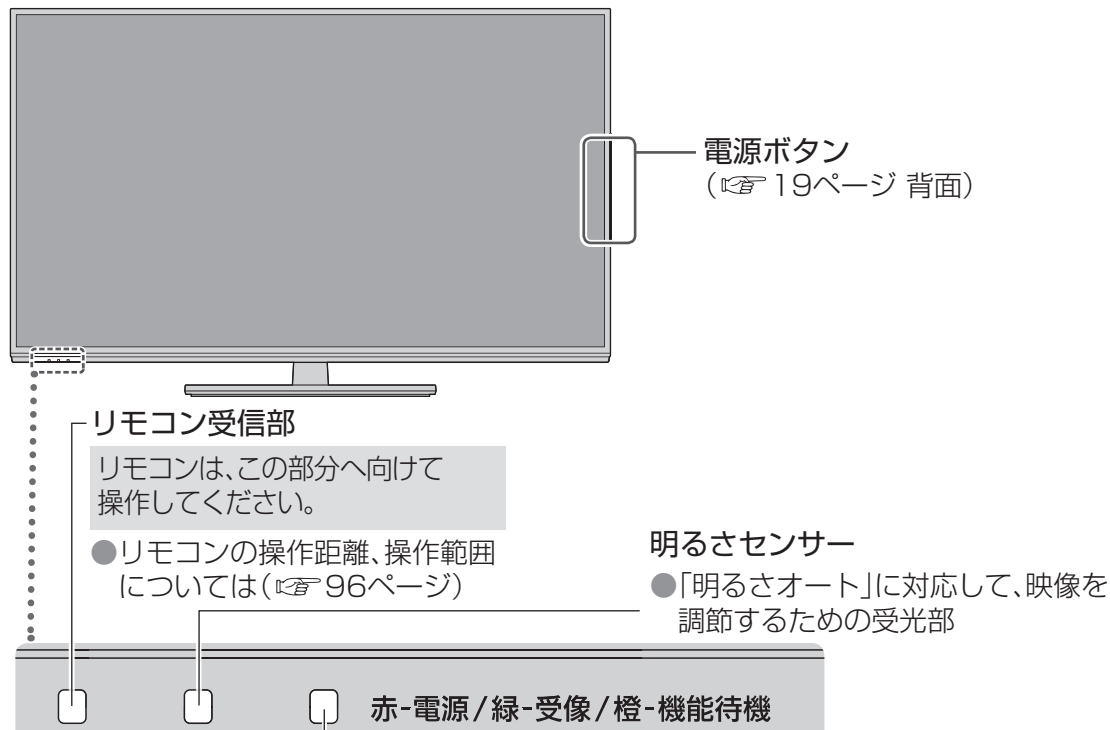
壁掛け金具の設置（別売品）

別売の壁掛け金具を取り付けて設置することができます。
本機を設置される際は、お買い上げの販売店にご相談ください。
また、本機専用の壁掛け金具を必ずご使用ください。

<壁掛け設置のイメージ図>

■ 壁掛け金具（別売品）（2013年1月現在）

品番　TH-L55DT60／TH-L47DT60／TH-L42DT60
… TY-WK4L1S（垂直取り付け型）

お願い
- ●壁掛け金具の取り付け工事は、性能・安全確保のため、必ずお買い上げの販売店または専門業者に施工を依頼してください。
- ●設置時、衝撃などによって本機が破損することがありますので、取り扱いにはご注意ください。
- ●本機に専用壁掛け金具（別売品）を取り付ける際は、専用壁掛け金具に付属している取り付けねじをご使用ください。
- ●取り外した部品類は、元に戻される場合に必要となりますので大切に保管してください。

各部のはたらき

本体(前面)

電源ランプ

●電源「入」時、緑色点灯
●リモコンで電源「切」時、赤色点灯
ただし、以下の場合は橙色点灯
- オンタイマー設定中
- 録画時
- USBハードディスクからディーガへダビング中
- 予約時
- 電源オン連動「オン」設定中
- クイックスタート「入」設定中、電源「切」にして24時間以内
- ビエラリモート設定のリモート電源オン機能が「オン」設定中
- ビエラリモート設定の機能待機時転送機能が「オン」設定中
- お部屋ジャンプリンク設定のサーバー機能が「オン」設定中
- ディモーラ機能が「入」設定中

●本体で電源「切」時、消灯

お願い

●明るさセンサーの前にものなどを置かないでください。
正常に動作しなくなる場合があります。
●リモコン受信部に、直射日光や蛍光灯などの強い光を当てないでください。

お知らせ

●電源ランプ点灯中にリモコンを操作するとランプが点滅します。
●テレビ起動中は電源ランプが点滅します。
●電源「切」時(電源ランプ赤色点灯時・消灯時)の場合も、一部の回路は通電しています。
●本体とリモコンのリモコンモードが違っていると、リモコンの電源ボタンを押しても、電源ランプは点滅しますが電源の「入」「切」はできません。リモコンモードを変更してください。(☞91ページ)

本体(背面・側面)

B-CASカード挿入口
(☞13ページ)

電源コード差込み口
(☞31ページ)

背面端子部
(☞22～25ページ)

側面端子部(背面右側)

操作部(背面左側)※

入力切換/決定/メニュー長押し
チャンネル
音量
電源

放送を切り換える/外部入力にする

チャンネルを順送りで選ぶ

音量を調整する

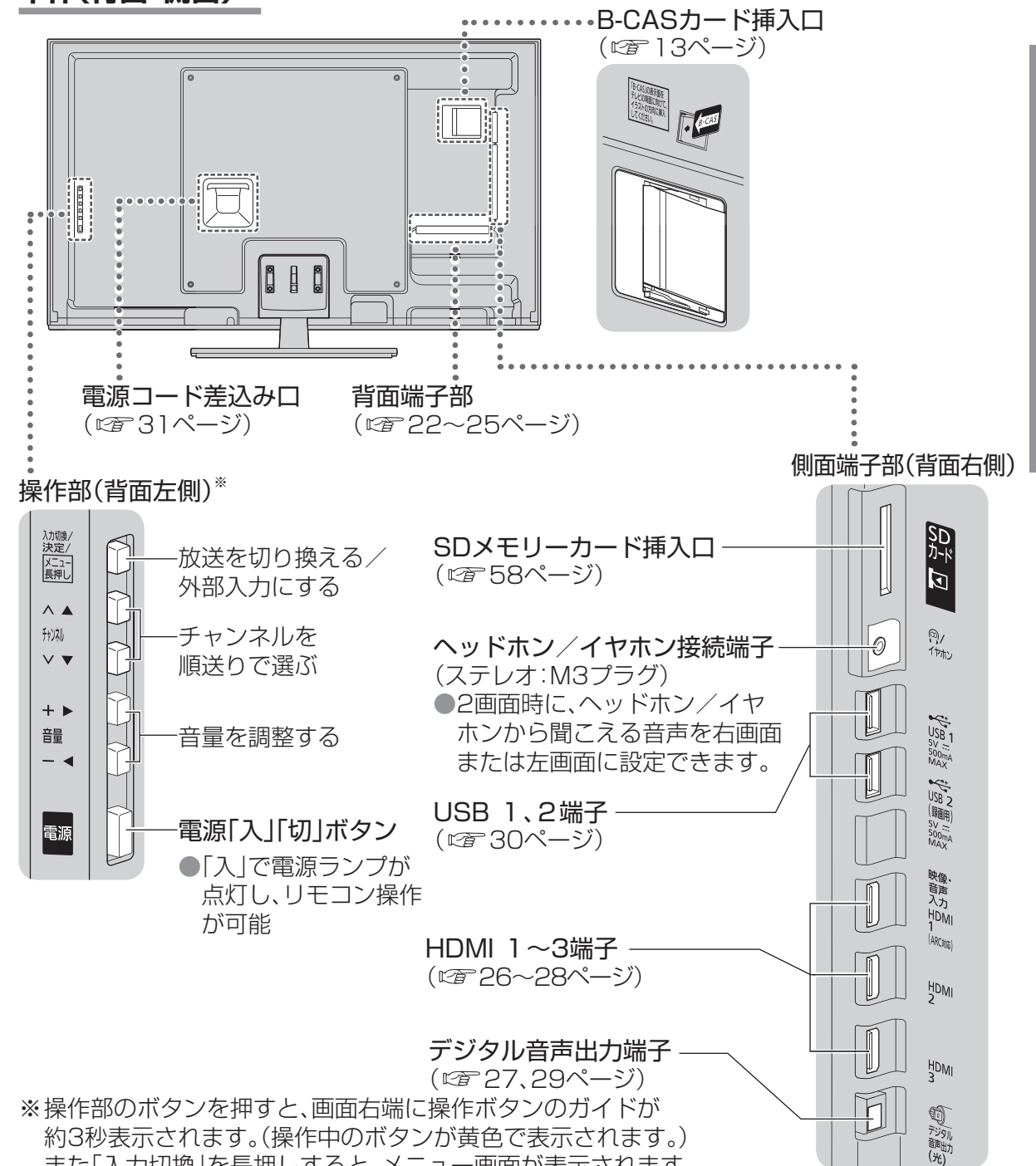
電源「入」「切」ボタン
●「入」で電源ランプが点灯し、リモコン操作が可能

SDメモリーカード挿入口
(☞58ページ)

ヘッドホン/イヤホン接続端子
(ステレオ:M3プラグ)
●2画面時に、ヘッドホン/イヤホンから聞こえる音声を右画面または左画面に設定できます。

USB 1、2端子
(☞30ページ)

HDMI 1～3端子
(☞26～28ページ)

デジタル音声出力端子
(☞27、29ページ)

※操作部のボタンを押すと、画面右端に操作ボタンのガイドが約3秒表示されます。(操作中のボタンが黄色で表示されます。)
また「入力切換」を長押しすると、メニュー画面が表示されます。
「チャンネル」ボタンと「音量」ボタンをカーソルキーとして使用できます。
(数字ボタンやカラーボタンには対応していないので、操作できない項目もあります。)

お知らせ

●ケーブルの先端部および機器の形によっては、背面や側面の端子に接続できないことがあります。
●2画面時に、スピーカーから聞こえる音声を右画面または左画面に設定できます。
(音声をスピーカーから出力しているときは♪マークが表示されます。)

各部のはたらき（つづき）

リモコン

テレビ本体のリモコン受信部に向けて操作してください（☞18ページ）

●本体の電源「入」状態で、電源を「入」「切」する

●映像（2D/3D）を切り換える
（☞60ページ）

●データ放送を見る

●画面の明るさで消費電力を調整する
（☞63ページ）

●録画一覧を表示する

●アクトビラの画面を表示する

●アプリの一覧を表示する

●画面を静止する
（テレビ視聴中に）
• もう一度押すと、放送中の画面に戻ります。

●メニュー画面を表示する
（☞86ページ メニュー一覧）／
音声ガイドを設定する
（☞63ページ）

●サブメニューを表示する

●放送を切り換える（放送切換ボタン）
• 前回選んだボタンを記憶しています。
• 見ない放送のボタンを使えないようにできます。
（BS･CSのみ）

●テレビ画面に戻る

●チャンネルを順送りで選ぶ

●音を一時的に消す（もう一度押すと解除）

●2カ国語などを切り換える

●ディーガ操作一覧を表示する

●ビエラ操作ガイドを見る
（☞40ページ）

●2画面で探す／2画面で見る

●外部入力に切り換える（ディーガ･DVDなど）

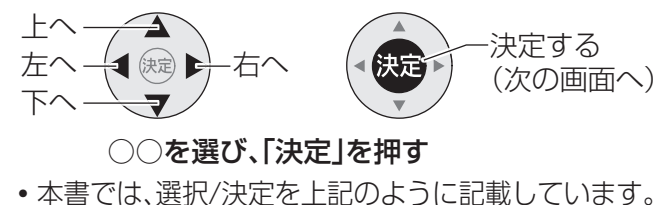
●画面に従って使う（カラーボタン）

●番組のタイトルなどを表示する

●ホーム画面を表示する（☞38ページ）

●番組表※を見る

●画面上で選ぶ／決定する

○○を選び、「決定」を押す
• 本書では、選択/決定を上記のように記載しています。

●1つ前の画面に戻る

●もっとTVを表示する
（☞72ページ）

●チャンネルを直接選ぶ／
文字を入力する（☞84ページ）

●音量を調整する（画面下に音量を表示）

●ディーガやUSBハードディスクなどの録画･再生機器を操作する
（外部機器操作ボタン）

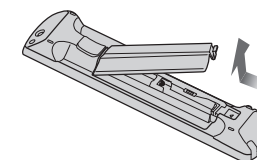
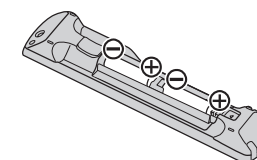
●自動的に電源を切りたいときに設定する
（押して時間を選ぶ）

●字幕がある場合に、字幕の「オン」「オフ」を切り換える

●ビエラリンク対応機器を使う
（☞46ページ）

●画面モードを切り換える

リモコンに乾電池を入れる

①電池のふたを開ける。

②単3形乾電池（付属品）を
⊖側から入れ、電池のふたを閉める。

お願い

●リモコンに液状のものをかけないでください。
●リモコンを落とさないでください。
●本機のリモコン受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
●不要となった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。

お知らせ

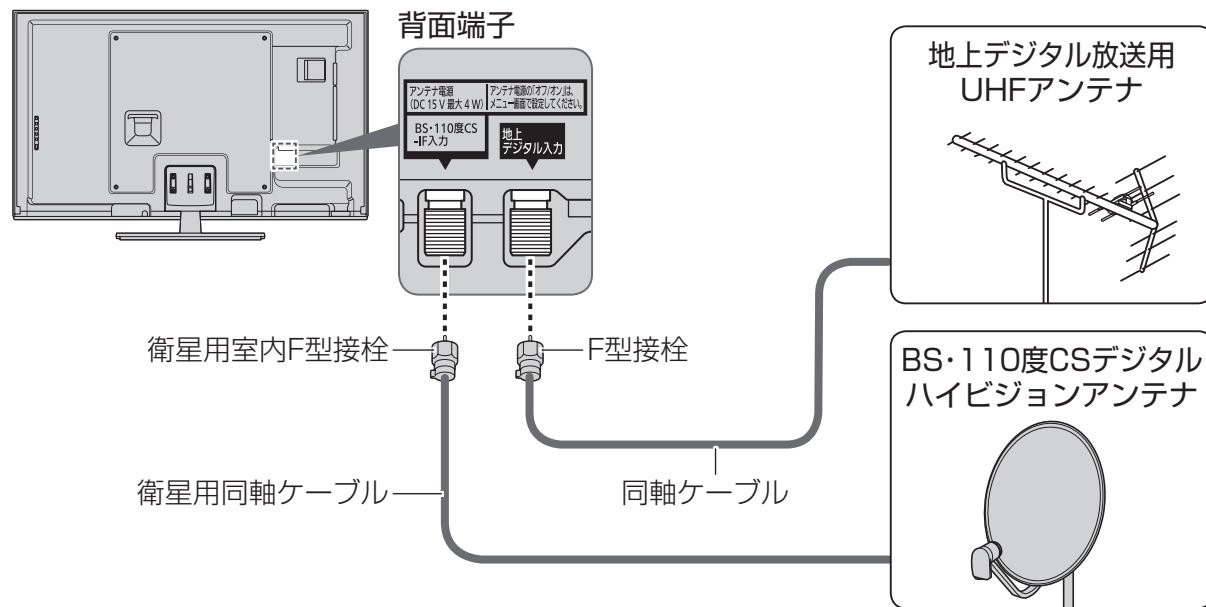
●本機の近くに別の当社製テレビがあるとき、リモコンの操作をすると別のテレビが反応してしまうことがあります。同時に動作することを防ぐには、本機の設定とリモコンのリモコンモードを切り換えてください。
（☞91ページ）

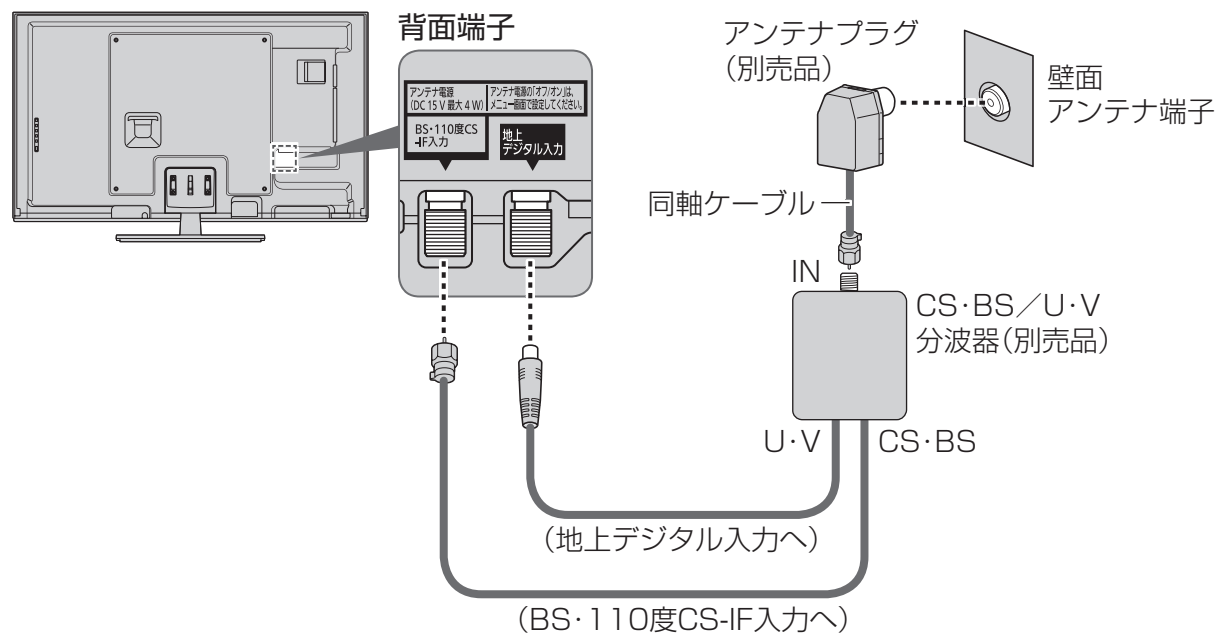
※本機の番組表はGガイドを使用しています。

 詳しくは：?→「まずお読みください」→「リモコンボタンの名称とはたらき」

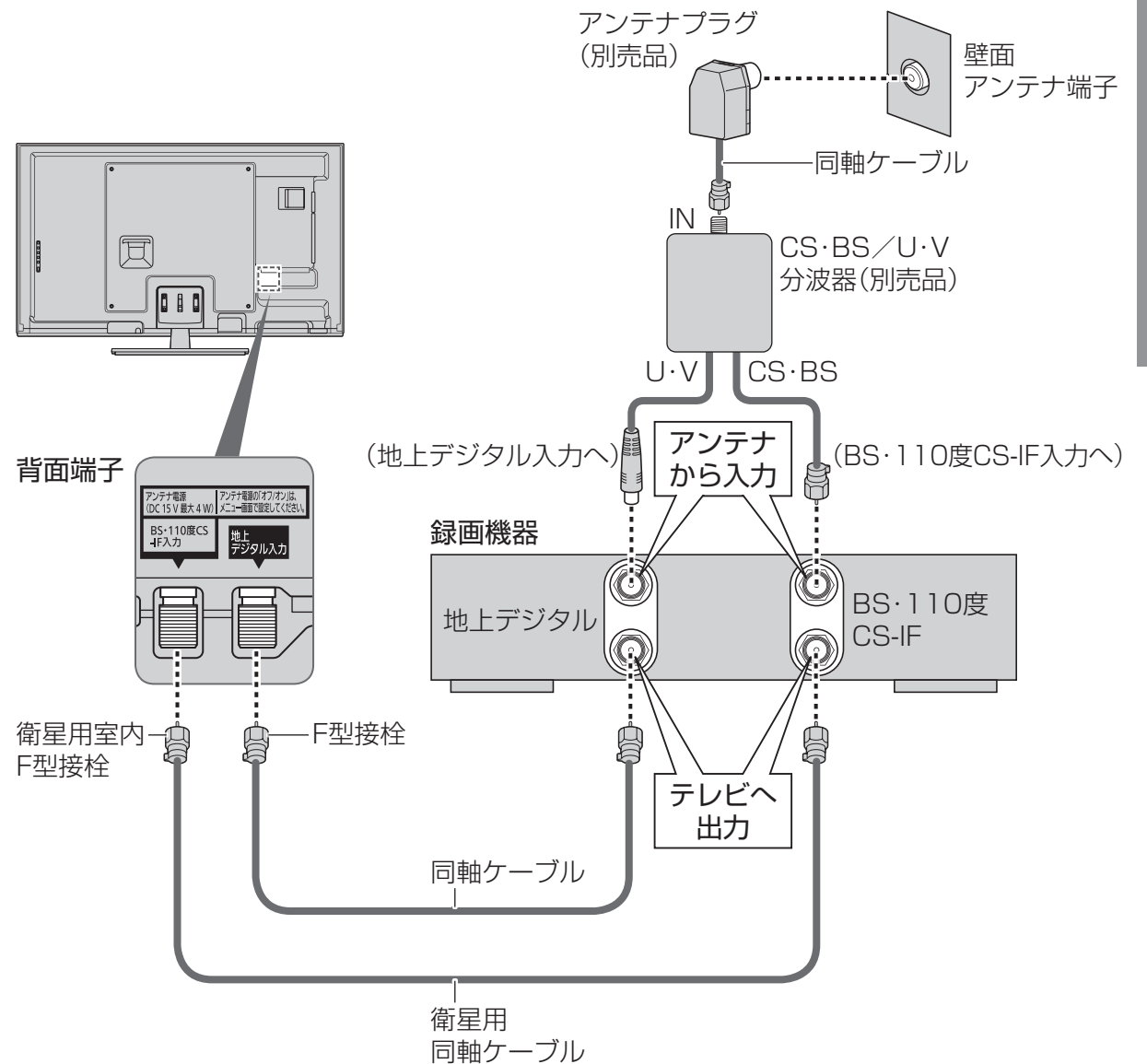
アンテナ線の接続

（接続完了後に電源プラグを差し込む。（☞31ページ））

一戸建てなど、個別のアンテナで受信する場合

●アンテナ電源を「オン」にし、調整してください。（☞37ページ）
●アンテナレベルを確認するときは（☞36、37ページ）

マンションなど、共同のアンテナで受信する場合

●アンテナ電源を「オフ」にしてください。（☞37ページ）

ディーガなどの録画機器を接続するときの一例

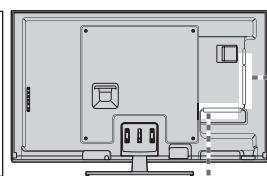
マンションなどの共同受信の場合に、地上デジタル、BS・CSチューナー内蔵の録画機器を接続するときの例です。詳しくは接続機器の取扱説明書でご確認ください。

お知らせ

●同軸ケーブル、F型接栓などは市販品をご使用ください。
●接続図は一般的な例であり、アンテナとの接続方法によって新たにご準備いただくもの（ケーブル・分配器・分波器・アンテナプラグなど）は変わります。詳しくはお買い上げの販売店へご相談ください。
●地上デジタル放送の電波が強すぎて映像が不安定になる場合は、アッテネーターを「オン」にしてください。（☞36ページ）

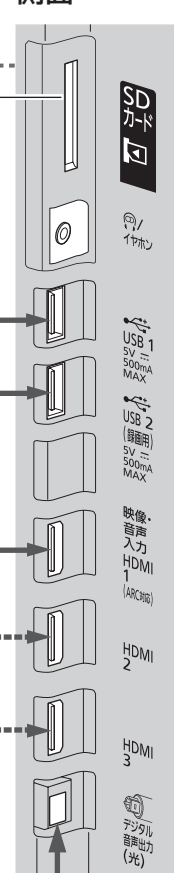
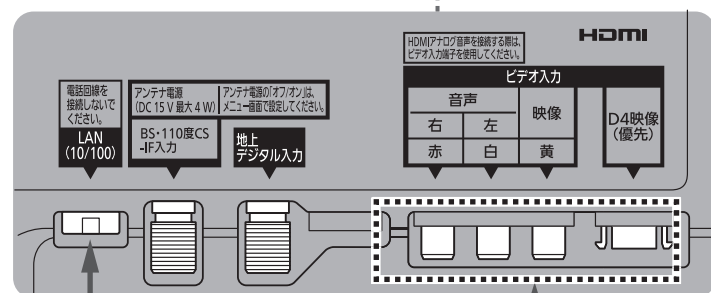
いろいろな機器の接続

必要な機器を接続してください。

説明イラストは TH-L42DT60 を元に作成しています。

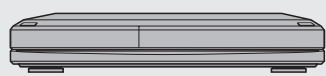
側面

SDメモリーカード（☞58ページ）

ビエラ コミュニケーション カメラ
●接続について …（☞30ページ）

USBハードディスク
●接続について …（☞30ページ）

背面

ビエラリンク(HDMI)対応機器
●接続について …（☞26、27ページ）

インターネット(有線)
●接続について …（☞64ページ）

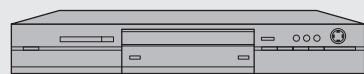
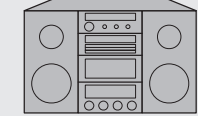
ネットワーク機器
●接続について …（☞65ページ）

お部屋ジャンプリンク
ダビング
くらし機器

ビエラリンクを使わない機器
●接続について …（☞28ページ）

DVDプレーヤーなど

●接続について …（☞29ページ）

オーディオ機器

ビデオカメラ または デジタルカメラ

●専用ケーブルが必要な場合があります。

再生機器によってはHDMI端子を使える場合があります。

■USB端子について

- ●当社製ハードディスクやビエラ コミュニケーション カメラなど、本機に対応する機器の接続用です。本機に対応していない機器を接続しないでください。
- ●ビエラ コミュニケーション カメラを接続する場合は、必ずUSB1端子へ接続してください。
- ●USB端子に機器を接続したり、USB端子から機器を外すときは、本体の電源を「切」にしてから行ってください。
- ●本機はUSB3.0には対応していません。

■HDMI端子について

HDMI端子とは、テレビと接続機器のデジタル映像／音声信号を直接つなぐインターフェイスです。

- ●HDMI端子とテレビを1本のケーブルで接続するだけで、高画質な映像とデジタル音声をお楽しみいただけます。アナログ音声をお使いになる場合、HDMIとビデオ入力の音声入力端子に接続し、「HDMI音声入力設定」が必要です。

対応している映像信号
480i、480p、720p、1080i、1080p（24 Hz/25 Hz/30 Hz/59.94 Hz/60 Hz）

対応している音声信号
種類：リニアPCM
サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz

■ビデオ入力端子について

DVDプレーヤーなどの映像と音声の出力端子に接続します。

D4映像入力端子

- ●映像入力端子よりも、色のにじみが少なく高画質に再生できます。
- ●DVDプレーヤーなどの「D1～D4映像」出力のいずれかの端子と接続してください。
- ●ビデオデッキなどの「Y、P_B、P_R」「Y、C_B、C_R」「Y、B-Y、R-Y」などの出力端子とはD端子ーピン映像コードで接続できます。（別売品、☞30ページ）
- ●対応している信号：480i、480p、720p、1080i
- ●「D4映像」入力端子と「映像」入力端子を両方接続すると、「D4映像」の画像が優先されます。
- ●「D4映像」入力端子に接続するときは、ビデオ入力の音声入力端子にも同時に接続してください。

必要に応じて設定する項目

●HDMI RGBレンジ設定
HDMI端子から入力された映像の暗い部分を見やすく設定します。

●HDMI画質連動設定
HDMI端子から入力された映像に合わせて、画質を調整します。

●ビデオ入力表示書換／スキップ設定
「入力切換」ボタンで選ぶ端子名を、機器に合わせて変えます。
また、「入力切換」ボタンで選ぶとき飛ばす端子を設定します。

詳しくは：→「ネットワーク」または「外部機器をつないで見る、聴く」

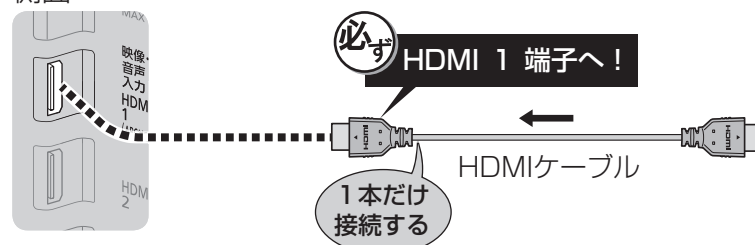
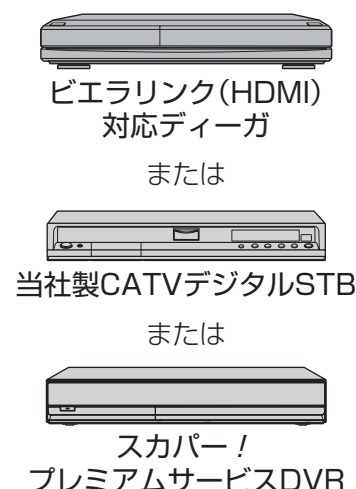
ビエラリンク(HDMI)対応機器の接続

エイチディーエムアイ

ディーガなどの接続

●ビエラリンク(HDMI)を使う(☞46ページ)
●HDMI端子について(☞25ページ)

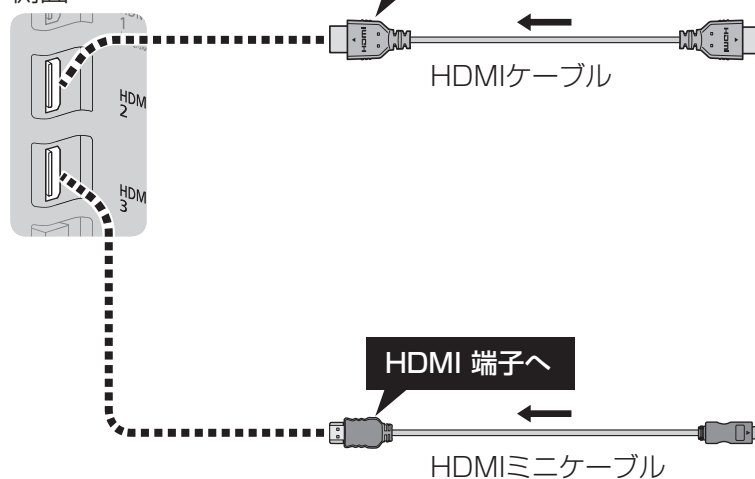
●ビエラリンク(HDMI)で録画に使う機器は、HDMI 1端子に接続してください。
●ビエラリンク(HDMI)で操作できるのは、各機器につき1台です。
同じ種類の機器を接続した場合、ビエラリンク(HDMI)で操作できるものは、番号の小さいHDMI端子に接続した機器のみです。

■ビエラリンク(HDMI)で録画に使う機器を接続する

●本機の番組表から録画予約できるのは、ディーガのみです。

■ビエラリンク(HDMI)で再生のみできる機器を接続する

ビエラリンク(HDMI)対応
ブルーレイディスクプレーヤー

ビエラリンク(HDMI)対応
デジタルビデオカメラ

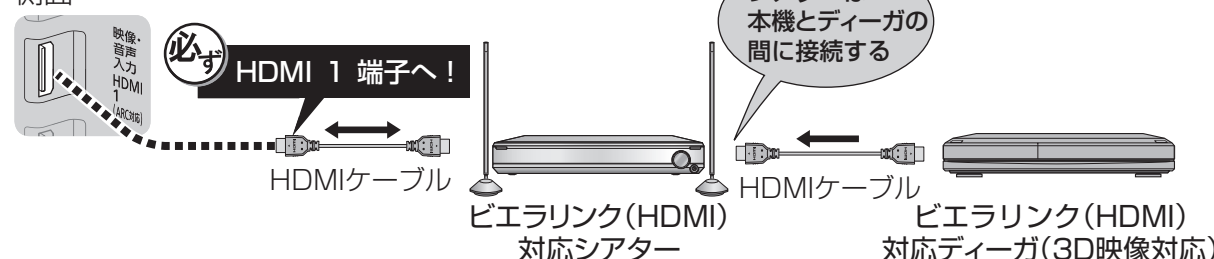
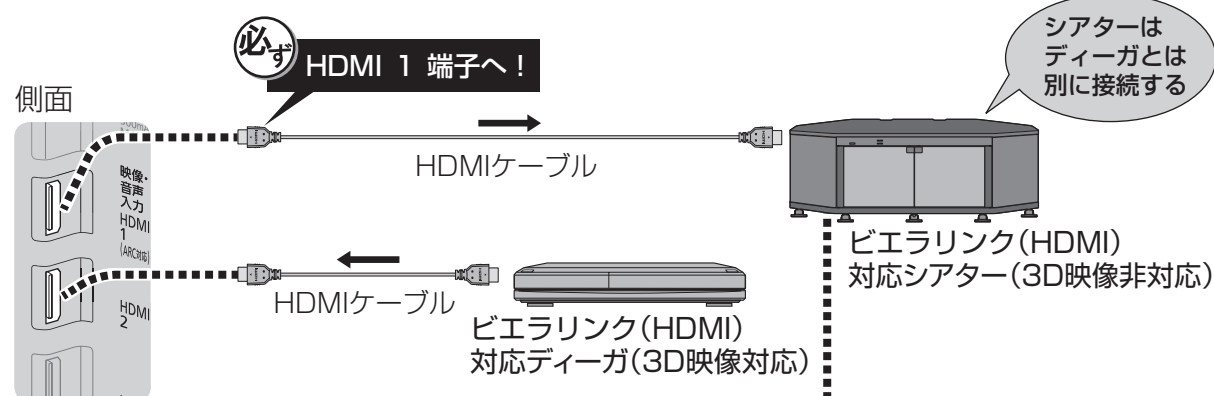
または

ビエラリンク(HDMI)
対応デジタルカメラ

お知らせ

●HDMIケーブルは当社製を推奨します。
●HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。

シアターとの接続

●シアターは、ラックシアターやサウンドセットなど当社製機器の総称です。
●本機で操作できるシアターとディーガは各1台です。
●3D映像を視聴するときは、HDMIロゴのある「High Speed HDMIケーブル」をお使いください。

■3D映像対応のシアターを接続する

■3D映像非対応のシアターを接続して3D映像を楽しむ

※ARC(オーディオリターンチャンネル)とは、本機のHDMI端子(ARC対応)からシアターのHDMI出力端子(ARC対応)にデジタル音声信号を送る機能で、光デジタルケーブルでの接続が不要です。

●「ビエラリンク(HDMI)設定」の「ビエラリンク」を「オン」に設定。必須
●機器を操作したときに、連動して本機の電源を「入」にしたい場合は、「ビエラリンク(HDMI)設定」の「電源オン連動」を「オン」に設定。

詳しくは：？→「外部機器をつないで見る、聴く」→「ビエラリンク(HDMI)の設定をする」

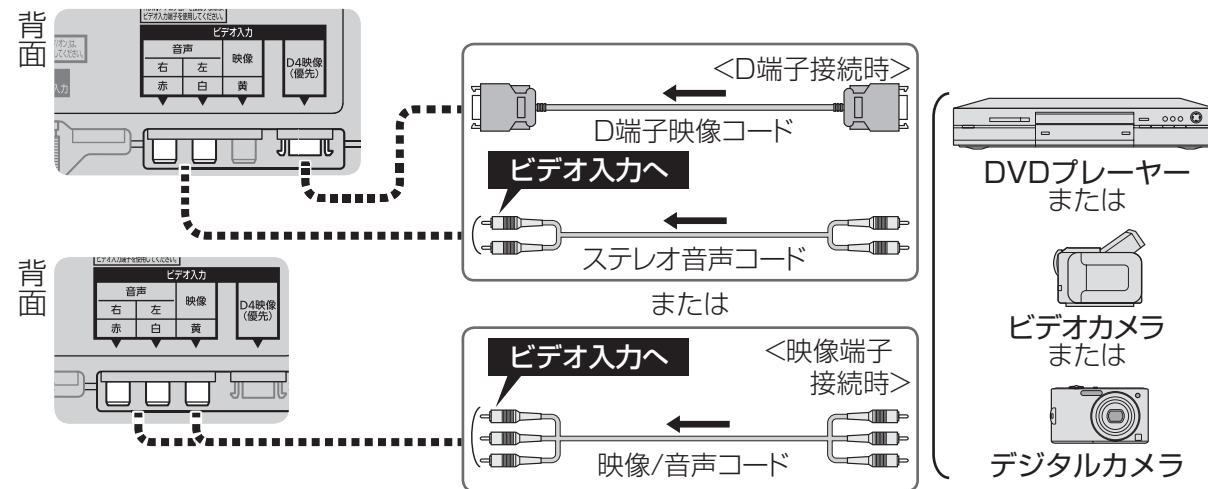
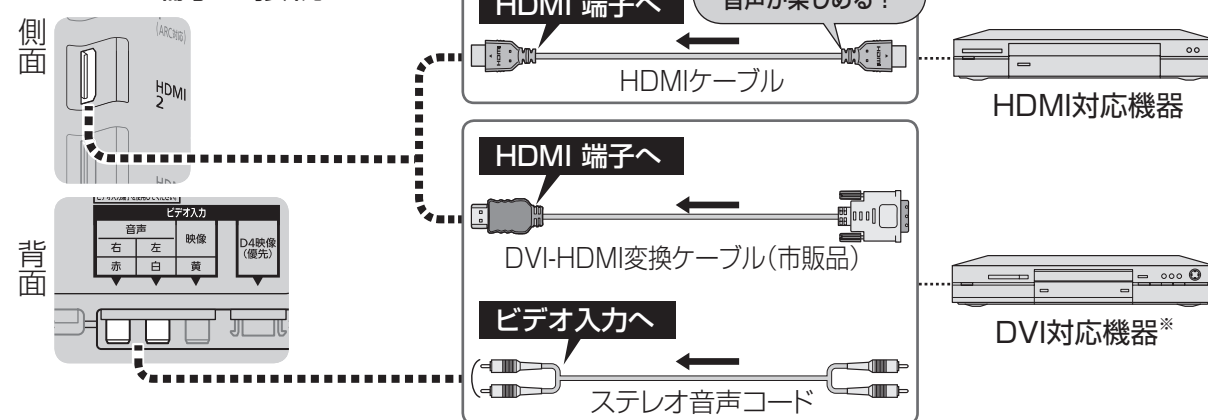
ビエラリンクを使わない機器の接続

接続した機器の映像をお楽しみになるときは、「入力切換」ボタンで画面を切り換えてください。

再生機器(DVDプレーヤーなど)の接続

●ビデオ入力端子について
(☞25ページ)
●HDMI端子について
(☞25ページ)

■D端子またはビデオ端子に接続する

●接続する機器によっては、専用ケーブルが必要な場合があります。

■HDMI端子に接続する

※DVI対応機器と接続する場合は、DVI-HDMI変換用のケーブルを使い、ビデオ入力の音声入力端子にステレオ音声コードを接続し、「HDMI音声入力設定」を行ってください。

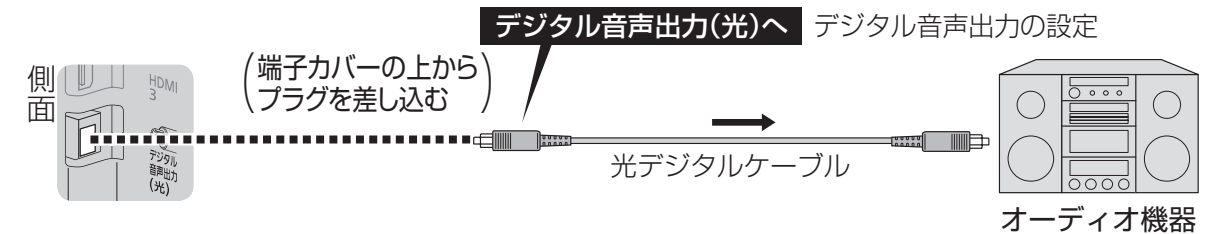
接続後の設定

●入力切換ボタンで選ぶ端子名を、機器に合わせて変えるには、「ビデオ入力表示書換／スキップ設定」

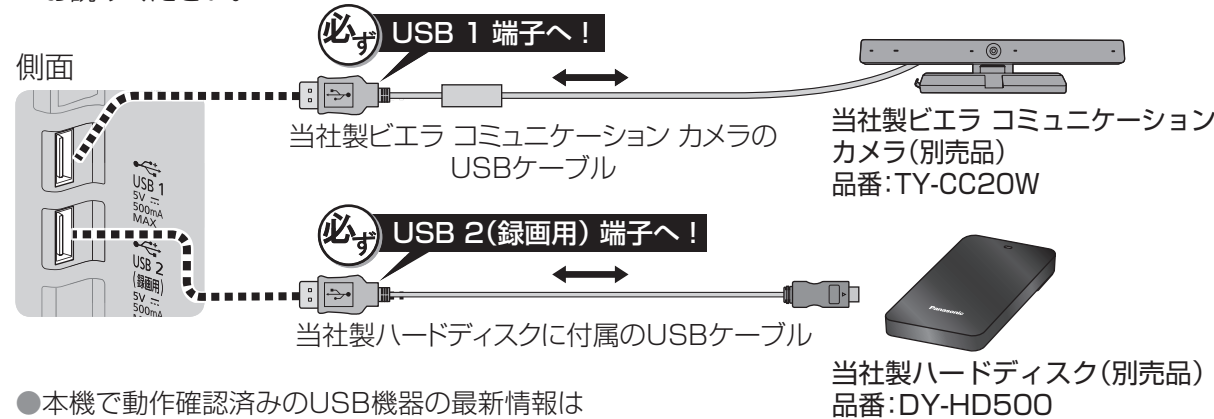
オーディオ機器の接続

■光デジタルケーブルで接続する<機器に光デジタル端子があるときのみ>

●デジタル音声入力(光)端子を持ち、PCMまたはAAC、ドルビーデジタル対応のアンプやサンプリングレートコンバーター内蔵のオーディオ機器に対応しています。
●ドルビーデジタルやAAC対応のときは「デジタル音声出力」の設定が必要です。

詳しくは：?→「外部機器をつないで見る、聴く」

USB機器の接続

USB機器の接続

●USB端子について(☞25ページ)
●USBハードディスクを使う(☞50ページ)
●ビエラ コミュニケーション カメラについては、ビエラ コミュニケーション カメラの取扱説明書をお読みください。

●本機で動作確認済みのUSB機器の最新情報は
http://panasonic.jp/support/tv/connect/index.html
(2013年1月現在)

ケーブル・コード一覧(別売品)

接続する機器に合わせてご用意ください。

●HDMIケーブル

RP-CHE30(3 m)など

●HDMIミニケーブル

RP-CHEM20A(2 m)など

●D端子映像コード

RP-CVDG15A(1.5 m)など

●D端子-ピン映像コード

RP-CVCDG15(1.5 m)など
接続機器の端子が「Y、PB、PR」「Y、CB、CR」「Y、B-Y、R-Y」などの場合にご使用ください。

●映像/音声コード

RP-CVP3G20(2 m)など

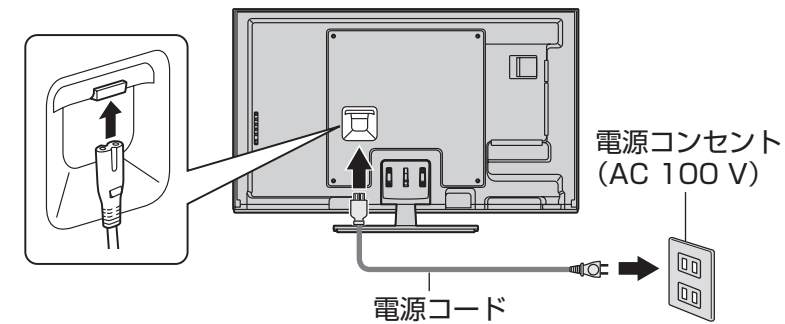
●ステレオ音声コード

RP-CAP3G20(2 m)など

●光デジタルケーブル

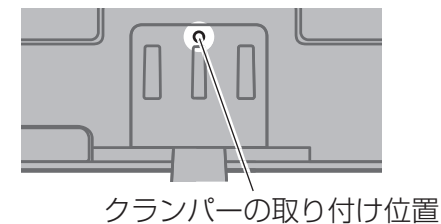
RP-CA2010-W(1 m)など

電源コードについて

電源コードは本機にアンテナや外部機器をすべて接続したあと、最後に差し込んでください。

お願い

●電源コードは本体背面に奥までしっかり差し込んでください。
●電源コードを外す場合は、必ず電源コンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
●付属の電源コードセットは、本機専用です。
他の用途に使用しないでください。

ケーブル配線処理について

付属品のクランパーは、必要に応じてケーブル類の固定に使用してください。

クランパーの取り付け位置

かんたん設置設定

かんたん設置設定

ご購入後、接続が終わって初めて本機の電源を入れたときは、「かんたん設置設定」画面が表示されます。画面の指示に従って、リモコンを操作して設置設定を行ってください。また、引っ越しなどでテレビ放送の受信地区が変わったとき、受信状況が変わったときなどに必要な設定をやり直すことができます。

かんたん設置設定の内容

接続確認（お買い上げ後、最初の設定時にのみ表示されます）

画面の表示に従って、アンテナ線の接続、B-CASカードの挿入、接続機器を確認してください。

画質調整設定

ご家庭用：映像モードを「スタンダード」に設定します。
店頭用　：映像モードを「ダイナミック」に設定します。
- 設定後に変更する場合は、「映像モード」から変更できます。

ネットワーク接続設定

ネットワークの接続設定を行います。
- 設定後に変更する場合は、「ネットワーク接続」から変更できます。（☞69ページ）

郵便番号入力/県域設定/市外局番設定

画面に従って、お住まいの郵便番号、都道府県、市外局番を入力してください。
- 設定後に変更する場合は、「地域設定」から変更できます。

B-CASカードテスト

B-CASカードのテストを行います。
正しく終了すると、デジタル放送の設定ができます。
- 設定後にテストする場合は、「B-CASカードテスト」からできます。

地上デジタル放送のチャンネル設定

地上デジタル放送のチャンネル設定を行います。
- 設定後に変更する場合は、「チャンネル設定」から変更できます。（☞34ページ）

衛星アンテナ電源設定

衛星アンテナ電源の設定と、受信状態の確認を行います。
確認の結果によっては、アンテナ自体の調整や再設定が必要になることがあります。
- 設定後に変更する場合は、「受信設定」から変更できます。（☞37ページ）

かんたん設置設定終了

設定の結果を表示します。設置設定は終了です。

このあと、「マイ ホーム」の使いかたガイドに続いてホーム選択画面が表示されます。お好みのホーム画面を選んでください。（☞38ページ）

かんたん設置設定をやり直す

1 メニュー □ を押す

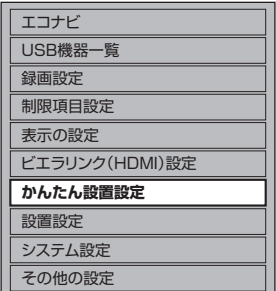
2 「機器設定」を選び、「決定」を押す

3 「かんたん設置設定」を選び、「決定」を押す
- 32ページ「かんたん設置設定」の画質調整画面に続きます。

4 画面の指示に従って操作する
- 上記の手順は、ネットワーク接続設定が表示されません。
  別途「ネットワーク接続」から設定してください。
  （☞69ページ）

■ お買い上げ時の状態からやり直すとき
(1) 「かんたん設置設定」の市外局番入力で「0000」と入力し、「決定」を押す。
(2) 本体の電源ボタンで「切」にし、再度「入」にする。

お知らせ
- かんたん設置設定の内容は、メニュー画面から個別に変更することができます。
- 設定する必要がない項目は、画面の表示に従って次の項目に進むことができます。

詳しくは：?→「いろいろな機能を設定する」または
?→「テレビを見る」→「テレビ放送を見るための準備をする」

設置設定を再設定する

●チャンネル設定は下記、受信設定は36ページをご覧ください。

チャンネル設定

かんたん設置設定でうまくできなかったときや、リモコンの数字ボタンへの割り当てなどを、お好みで変えたいときに行います。
衛星デジタル放送のチャンネルは工場出荷時に設定されていますが、お好みで変更できます。

地上デジタル放送(初期スキャン)

受信地域が変わったときや新しく地上デジタル放送を見たいときに、改めて自動でチャンネル設定します。

1 「機器設定」画面(33ページ手順3)で、「設置設定」を選び、「決定」を押す

2 「チャンネル設定」を選び、「決定」を押す

設置設定
受信対象設定
チャンネル設定
番組表設定
地域設定

3 「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

チャンネル設定
地上デジタル
BS
CS1
CS2

4 「初期スキャン」を選び、「決定」を押す

初期スキャン
再スキャン
マニュアル

5 「地域選択」を選び、「決定」を押す

6 お住まいの地域を選び、「決定」を押す

地域選択 東京

7 「次へ」を選び、「決定」を押す

次へ
地域選択 東京

8 「UHF」または「全帯域」を選び、「決定」を押す
- 通常は「UHF」を選んでください。
- 「全帯域」を選ぶと、VHF、UHF、C13～C63の帯域をスキャンします。
- 今までの設定はすべてリセットされ、自動的に設定し直します。
- スキャンには10分程度かかり、スキャン中は映像が乱れることがあります。

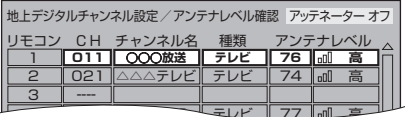
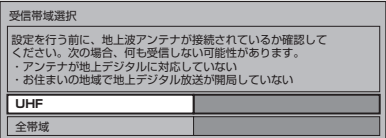
受信帯域選択
設定を行う前に、地上波アンテナが接続されているか確認してください。次の場合、何も受信しない可能性があります。
・アンテナが地上デジタルに対応していない
・お住まいの地域で地上デジタル放送が開局していない
UHF
全帯域

9 内容を確認する
- 修正するときは(☞35ページ「マニュアル」手順**2**～**4**)
- 画面下部に「電波が強すぎます。」と表示された場合は、「アッテネーター」を「オン」に設定(☞36ページ)し、「再スキャン」(☞35ページ)を行ってご確認ください。

地上デジタルチャンネル設定／アンテナレベル確認 アッテネーター オフ

リモコン	CH	チャンネル名	種類	アンテナレベル	
1	011	○○○放送	テレビ	76	高
2	021	△△△テレビ	テレビ	74	高
3	----		テレビ	77	高

10 戻る ◯ を押して終了する

(終わったら 元の画面 を押す)

お知らせ

●地上デジタル放送のチャンネル一覧表は、以下のホームページでご覧になれます。(2013年1月現在)
http://panasonic.jp/support/tv/manual/index.html を開く。
テレビお客様サポートの「取扱説明書一覧」→『ご利用の条件』に「▶同意する」→品番選択の「TH-○○○○」→取扱説明書の「放送チャンネルなどの一覧表」を選ぶ。

地上デジタル放送(再スキャン)

地上デジタル放送の受信状況が変わったときや新しい放送局が開局したときなどに、受信できる放送局を自動で追加します。

1 34ページ手順4で「再スキャン」を選び、「決定」を押す
- 新たに受信できた放送局は自動的に追加されます。
- スキャンには10分程度かかり、スキャン中は映像が乱れることがあります。

2 画面の指示に従って操作する

(終わったら 元の画面 を押す)

地上デジタル放送(マニュアル)

地上デジタル放送のチャンネルをお好みで設定し直すことができます。

1 34ページ手順4で「マニュアル」を選び、「決定」を押す

2 修正したい行(リモコンの数字ボタン)を選び、「決定」を押す

地上デジタルチャンネル設定

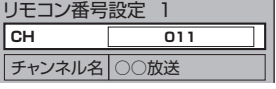
リモコン	CH	チャンネル名	種類
1	011	○○○放送	テレビ
2	021	△△△テレビ	テレビ
3	----		

3 「CH」のチャンネル番号を変える

リモコン番号設定 1
CH 011
チャンネル名 ○○放送

4 戻る ◯ を押して終了する

■行を入れ換えたいとき
(1) 手順**1**の操作後、「緑」ボタンを押す。
(2) ▲▼で入れ換えたい行を選び、「決定」を押す。
(3) ▲▼で入れ換え先の行を選び、「決定」を押す。
(4) 「戻る」を押す。

(終わったら 元の画面 を押す)

衛星デジタル放送

1 34ページ手順3で「BS」「CS1」「CS2」のいずれかを選び、「決定」を押す

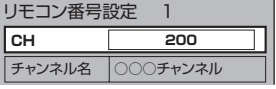
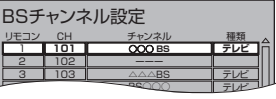
2 修正したい行(リモコンの数字ボタン)を選び、「決定」を押す

3 「CH」のチャンネル番号を変える

リモコン番号設定 1
CH 200
チャンネル名 ○○○チャンネル

4 戻る ◯ を押して終了する

■行を入れ換えたいとき(☞上記「地上デジタル放送(マニュアル)」参照)

(終わったら 元の画面 を押す)

つづく

設置設定を再設定する（つづき）

受信設定（個別アンテナ使用時）

アンテナの向きを調整しながら、放送局ごとにアンテナレベル（受信する電波の質）を確認できます。

地上デジタル放送

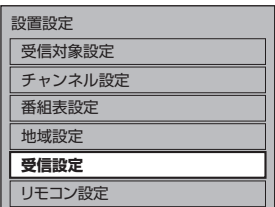
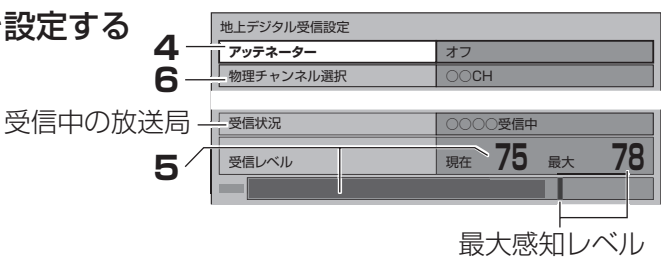
アッテネーターを設定したり、アンテナレベルが最大になるように調整したりします。

1 「機器設定」画面（33ページ手順3）で「設置設定」を選び、「決定」を押す

2 「受信設定」を選び、「決定」を押す

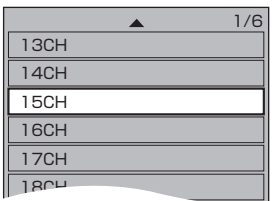
設置設定
受信対象設定
チャンネル設定
番組表設定
地域設定
受信設定
リモコン設定

3 「地上」を選び、「決定」を押す

受信設定
地上
衛星

4 必要であれば「アッテネーター」を設定する
- 放送の電波が強すぎて映像が不安定になるときは、「オン」に設定し、電波を弱めて安定させます。

5 アンテナレベルを確認する
- 現在のアンテナ入力レベルが表示されます。
（受信の目安は44以上）

地上デジタル受信設定
4 アッテネーター　オフ
6 物理チャンネル選択　○○CH
受信中の放送局 — 受信状況　○○○○受信中
5 受信レベル　現在 75　最大 78
最大感知レベル

6 「物理チャンネル選択」を選び、「決定」を押す

7 物理チャンネルを選び、「決定」を押す
- 「全帯域」（☞34ページ手順8）を選ぶと、CATV経由の地上デジタル信号のレベルも表示できます。

入力した物理チャンネルのアンテナレベルを表示

8 アンテナの向きを調整し、アンテナレベルを最大値にする

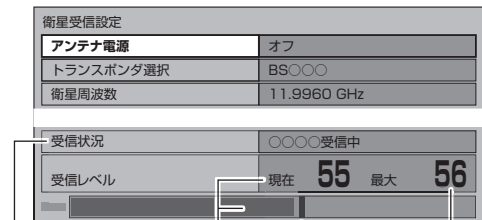
（終わったら 元の画面 を押す）

衛星デジタル放送

アンテナ電源の「オフ」「オン」を設定したり、アンテナレベルが最大になるように調整したりします。

1 36ページ手順3で「衛星」を選び、「決定」を押す

2 「アンテナ電源」を選び、「決定」を押す

3 「オン」を選び、「決定」を押す
- 「オン」にすると衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。
（ブースターなどからコンバーターへ電源を供給しているときは「オフ」にしてください）
- 「トランスポンダ選択」「衛星周波数」は、変えると視聴できなくなることがあります。
放送局などからの案内がない限り、変えないでください。

受信中の放送局　最大感知レベル
現在のアンテナ入力レベル
（受信の目安は50以上）

4 アンテナレベルを確認後、アンテナの向きを調整し、アンテナレベルを最大値にする

（終わったら 元の画面 を押す）

■ アンテナレベルについて
- アンテナレベルは、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質（信号と雑音の比率）を表します。
- アンテナのレベルは、天候、季節、地域、チャンネルなどにより異なります。またアンテナシステムの条件などによって変動する場合がありますので、十分な余裕を取ることをおすすめします。
- 現在受信中のデジタル放送のアンテナレベルは、「サブメニュー」を押して「アンテナレベル」を選んでも確認できます。
地上デジタル放送の場合は、さらに「決定」を押すと、受信状況の一覧を確認できます。
- BSや110度CSデジタル放送以外の衛星電波を受信中は「他の衛星受信中」と表示されます。再度、アンテナの向きを調整してください。

■ 物理チャンネルについて
- 地上デジタル放送は、UHFの電波を使って行われています。この電波は放送局ごとに割り当てられており、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

お知らせ
- アンテナの向きの調整は、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

詳しくは：?→「いろいろな機能を設定する」→「地域やチャンネルなど設置に関する設定をする」

「マイ ホーム」の画面について

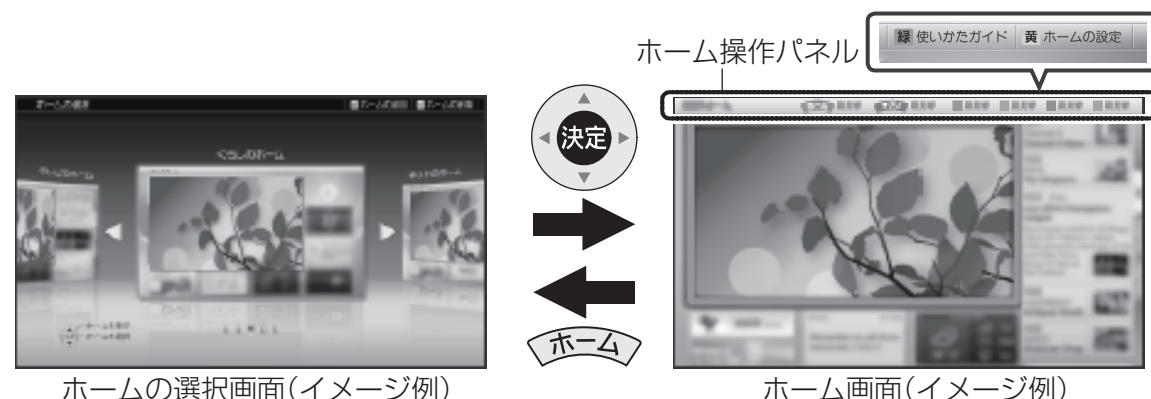
テレビの電源を「入」にするとホーム画面が表示され、テレビ画面やインターネット、メディアプレーヤーなどのアプリを選んで楽しむことができます。それぞれのホーム画面ではアプリを並べ替えたり、入れ替えたりすることもできます。(一部並べ替え、入れ替えのできないアプリもあります)

「マイ ホーム」の基本操作

初めて本機をお使いになるときは、「マイ ホーム」を説明する使いかたガイドが表示されます。使いかたガイド終了後、ホームの選択画面からお好みのホーム画面を選んでください。

ホームの選択画面(イメージ例)

ホーム操作パネル

ホーム画面(イメージ例)

●ホーム画面の種類について

ホーム画面	ホーム画面の説明
テレビ	テレビを常に全画面で表示して使いたいとき。
テレビのホーム	裏番組など、テレビをもっと便利に見たいとき。
くらしのホーム	天気やお出かけ時間など、くらしに役立つ情報が欲しいとき。
ネットのホーム	テレビを見ながらインターネットを楽しみたいとき。
新規ホームの作成	自分だけのホーム画面を作りたいとき。

テレビの電源を「入」にしたときは、前回選択していたホーム画面が表示されます。

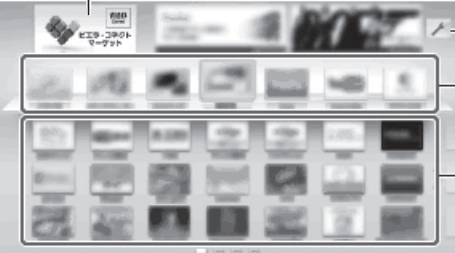
■ ホーム画面の切り換えかた

(1)ホーム画面を表示しているときにリモコンの「ホーム」ボタンを押す

(2)「ホームの選択」画面で◀▶を押してお好みのホーム画面を選び、「決定」を押す

●テレビを全画面で視聴しているときに「ホームの選択」画面を表示する
①「ホーム」ボタンを押してホーム操作パネルを表示する
②再度「ホーム」ボタンを押して「ホームの選択」画面を表示する

●ホーム画面からテレビを全画面で視聴しているときに「ホームの選択」画面を表示する
①「ホーム」ボタンを押してホーム画面を表示する
②再度「ホーム」ボタンを押して「ホームの選択」画面を表示する

■ 本機の電源「入」時に表示するホーム画面を設定する

(1)お好みのホーム画面を選ぶ

●テレビを常に全画面で表示するには、「テレビ」を選んでください。

(2)「ホームの設定」を選び、「決定」を押す

(3)「電源オン時に表示するホーム」を選び、「決定」を押す

(4)「必ずこのホームを表示」を選び、「決定」を押す

「マイ ホーム」の使いかたガイドを見る

1 ホーム操作パネルが表示されている状態で「使いかたガイド」を選び「決定」を押す

●ホーム操作パネルが表示されていないときは、リモコンの「ホーム」ボタンを押してください。

アプリ一覧画面でアプリを使う

番組表、予約一覧、メディアプレーヤー、インターネットサービスなどをアプリと呼んでいます。本機ではアプリを一覧表示し、選んで楽しむことができます。

1 アプリ を押す

アプリの一覧が表示されます。

(イメージ例)

2 アプリを選び、「決定」を押す

(アプリ一覧画面を終了するには 元の画面 を押す)

お知らせ

●利用できるサービス内容や画面は予告なく変更となる場合があります。
●一部削除できないアプリがあります。

詳しくは:?→「テレビを見る」→「「マイ ホーム」を操作する」または
?→「いろいろな機能を設定する」→「アプリ一覧画面でアプリを使う」

ビエラ操作ガイドの使いかた

本機はビエラ操作ガイド(電子説明書)を内蔵しています。
●テレビ画面で本機の使いかたや解説を読むことができます。
●本書では、電子説明書をビエラ操作ガイドと記載しています。

ビエラ操作ガイドを表示する

1 テレビを見ているときに ガイド? を押す

ビエラ操作ガイドのトップページを表示します。

トップページ

●前回表示した説明ページを表示するか、トップページを表示するかの選択画面が表示されることがあります。

• 「説明ページへ戻る」を選んで「決定」を押すと、前回表示した項目を表示します。
• 「トップページを表示する」を選んで「決定」を押すと、ビエラ操作ガイドのトップページを表示します。

●テレビ操作画面やビエラ操作ガイドの情報ページなどが表示されている場合は、元の画面を押して、テレビ画面に戻してから ガイド? を押してください。

2 ▲▼◀▶(決定)で項目を選ぶ

項目を選び、「決定」を押す

一つ前の画面に戻る

テレビ画面に戻る

ふたを開ける

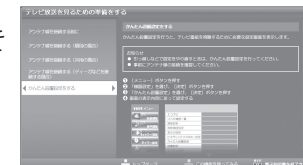
■テレビ画面に戻すには

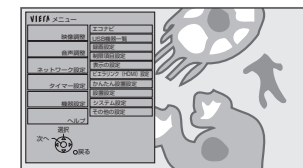
ビエラ操作ガイドの画面で ガイド? を押すと、テレビ画面に戻ります。

ビエラ操作ガイドの便利な機能

ビエラ操作ガイドの説明を読んだあと、実際に操作する

画面上に「この機能を使ってみる」が表示されたときは、実際の操作画面に切り換えることができます。

1 「この機能を使ってみる」が表示されたら、赤 を押す

例:「テレビ放送を見るための準備をする」画面

この機能を使ってみる

実際の操作画面を表示

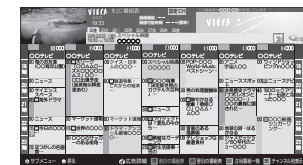
テレビの操作の途中で説明画面に切り換える

今の画面に関連した説明を表示します。
(一部表示できない場合があります。)

1 操作中に ガイド? を押す

例:番組表を表示しているとき

2 「関連ページを表示する」を選び、「決定」を押す

3 今の画面に関連した説明を表示

最後に表示したビエラ操作ガイドの項目を表示する

前回、最後に表示したビエラ操作ガイドの項目を表示することができます。

1 テレビ視聴中に ガイド? を押す

2 「説明ページへ戻る」を選び、「決定」を押す

前回最後に表示した項目

●最後にビエラ操作ガイドを表示してから約24時間が過ぎるか、トップページでビエラ操作ガイドを終了すると、次に ガイド? を押したときにビエラ操作ガイドのトップページが表示されます。

エラーメッセージの詳しい説明を表示する

エラーメッセージに ? が表示されているときに ガイド? を押すと、エラーの説明が表示されます。

つづく

ビエラ操作ガイド項目一覧

代表的な項目を記載します。

まずお読みください

ビエラ操作ガイドを使うための操作を記載しています
- ビエラ操作ガイドについて
- お使いになる前に
- リモコンボタンの名称とはたらき
- 操作がわからなくなったときや、戻りたいときは

トップページ

困ったときは

困ったときの解決法やよくあるお問い合わせを紹介しています
- 故障かな!?の前にご確認ください
- 表示されたメッセージについて確認する
- よくあるご質問(Q&A集)

用語集

本書やビエラ操作ガイドに出てくる用語の解説を記載しています
- テレビ本体やリモコン、外部機器に関する用語
- テレビ番組や放送に関する用語
- 画質や音質、画面表示など設定に関する用語
- テレビの機能や操作に関する用語
- ネットワークに関する用語
- その他の機能や操作に関する用語

テレビを見る

テレビを見たり、番組表を使ったりするための操作を記載しています
- テレビ放送を見るための準備をする
- 「マイ ホーム」を操作する
- テレビ放送を見る
- 番組表の使いかた
- テレビ放送の番組を探して見る
- 3D映像で見る
- 放送メールやB-CASカードなどの各種情報を見る　など

外部機器をつないで見る、聴く

USBハードディスクやディーガなどをつないで楽しむための操作を記載しています
- USBハードディスクやビエラリンク対応機器などを接続する
- USBハードディスクに録画した番組を再生･編集する
- 外部機器の入力切換をする
- ヘッドホンやイヤホンで聴く
- 接続した外部機器に関する設定をする　など

録画する

録画や録画予約のための操作を記載しています
- 見ている番組を録画する
- 録画予約をする
- 予約一覧画面から操作する
- 録画／予約の機能や動作について
- 番組録画中の画面表示について

ネットワーク

インターネットやお部屋ジャンプリンクなどを楽しむための操作を記載しています
- ネットワークを利用するための接続設定をする
- インターネットを利用する
- お部屋ジャンプリンクを使う
- USBハードディスクに録画した番組をダビングする
- ドアホンやカメラなどのくらし機器を使う　など

メディアプレーヤー

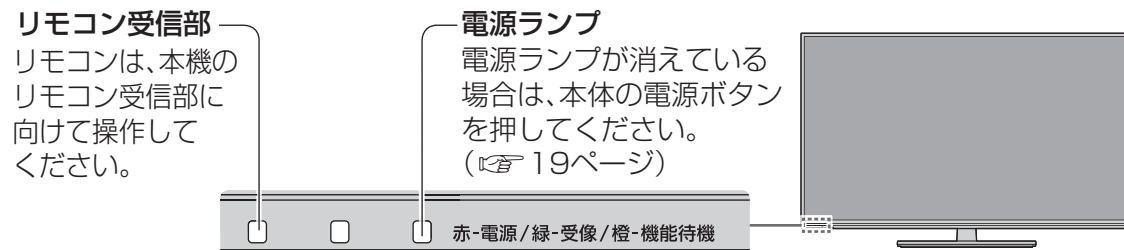
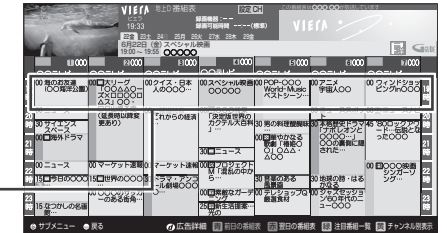
写真やビデオ映像、音楽を楽しむための操作を記載しています
- メディアプレーヤーを使うための準備
- 写真を表示する
- ビデオ映像を再生する
- 音楽を聴く

いろいろな機能を設定する

ビエラをより楽しむための設定操作を記載しています
- アプリ一覧画面でアプリを使う
- 画面に関する設定や画質を調整する
- テレビの節電機能(エコナビなど)を設定する
- 音声に関する設定や音質を調整する
- 字幕や表示などシステムに関する設定をする
- 制限項目や暗証番号に関する設定をする　など

テレビを見る

番組表から番組を選んで見る

はじめてご使用になるときは画面に従って「かんたん設置設定」を行ってください。（☞32ページ）

放送予定の番組を予約するときは

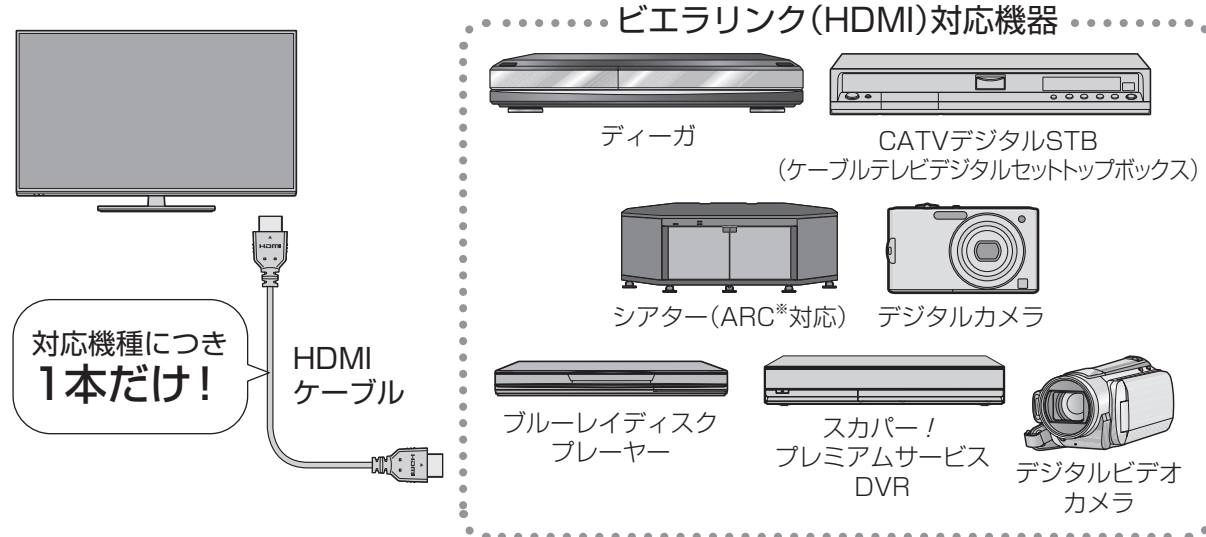
手順 3 で、決定 で放送予定の番組を選ぶと、

手順 4 で 見るだけ予約 を設定できます。

 詳しくは：?→「テレビを見る」→「テレビ放送を見る」

詳しくは：?→「テレビを見る」→「テレビ放送の番組を探して見る」

ビエラリンク(HDMI)を使う

本機とビエラリンク(HDMI)対応機器(ディーガやシアターなど)をHDMIケーブル(別売品)で接続して、映像、音楽を楽しむことができます。

※ARC(オーディオリターンチャンネル)とは、本機のHDMI入力端子(ARC対応)からシアターのHDMI出力端子(ARC対応)にデジタル音声信号を送る機能で、光デジタルケーブルでの接続が不要です。ARC非対応のシアターと接続するときは、光デジタルケーブルも必要です。

接続・設定

ビエラリンク(HDMI)対応機器を接続する (☞26、27ページ)

▼

ビエラリンク(HDMI)を有効にする
(☞ビエラリンク(HDMI)設定 下記)

▼

(初めて接続したとき)
[入力切換]を押して、接続したHDMI端子に切り換える

ビエラリンク(HDMI)設定

必ずビエラリンク(HDMI)を有効にしてください。

1. [メニュー]を押す
2. 「機器設定」を選び、「決定」を押す
3. 「ビエラリンク(HDMI)設定」を選び、「決定」を押す
4. 「ビエラリンク」を選び、「決定」を押す
5. 「オン」を選び、「決定」を押す

お好みで設定する

ビエラリンク(HDMI)設定	
ビエラリンク	オン
電源オン連動	オフ
電源オフ連動	オン
ECOスタンバイ	オフ
こまめにオフ	オフ
ケーブルテレビの電源オン連動	オフ
ディーガの操作	通常
テスト(ディーガ電源)	オフ

電源などの連動

接続機器の操作に連動して、本機の電源オン・オフなどが自動で行われます。

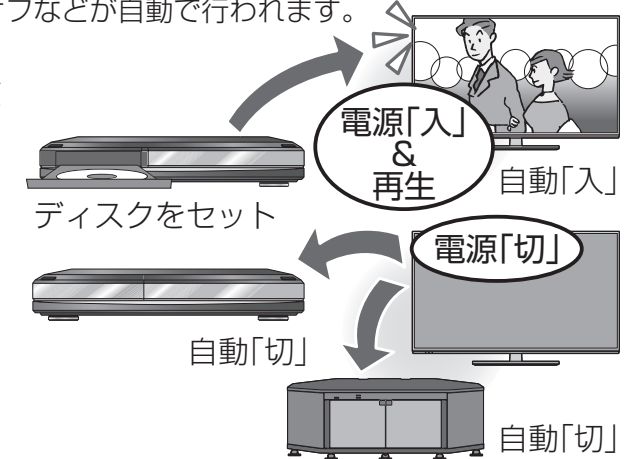
■ ディスク再生(電源オン連動)
ディーガにディスクを入れると、本機の電源が自動で「入」になり、再生が始まります。

■ 一斉電源「切」(電源オフ連動)
本機の電源を「切」にすると、接続している機器の電源も一斉に「切」になります。

■ 待機電力を最小にする(ECOスタンバイ)

■ 使っていない機器の電源を自動で「切」にする(こまめにオフ)

■ 録画予約
本機の番組表で「ディーガ(ビエラリンク)」に録画予約すると、ディーガに録画予約情報が転送されます。

電源「入」&再生
自動「入」
ディスクをセット
電源「切」
自動「切」
自動「切」

(お知らせ)

- ビエラリンクについてさらに知りたいときや困ったときは、ビエラ操作ガイドのトップページから「困ったときは」をご参照ください。
- ビエラリンク(HDMI)で本機とシアターを接続時、ビエラリンク(HDMI)で接続した他の機器からの音声が5.1chのときは、本機のデジタル音声出力(光)端子とHDMI 1端子(ARC対応)から5.1chで出力します。(ディーガはビエラリンクVer.2、ビエラリンク(HDMI)Ver.3以上に対応している機種のみ対応)
- 接続した機器を取り換えたり、接続・設定を変更したときなどは、本機が接続されている機器を正しく認識しない場合があります。
HDMIケーブルが正しく接続されていることを確認のうえ、下記の操作をしてください。
(1)すべての接続機器の電源を入れた状態で、本体の電源ボタンで電源を入れ直す
(2) [入力切換]を押して、接続・設定を変更したHDMI入力ごとに映像を確認する
(3)本機のリモコンで機器を操作してみる

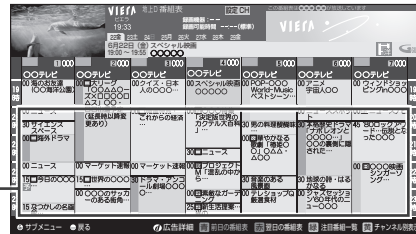
本機のリモコン1つで機器を操作

1. [ビエラリンク]を押す
2. メニューを選び、「決定」を押す

ディーガの画面を操作する

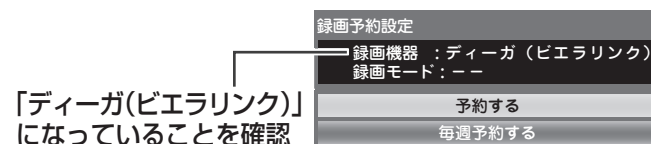
ビエラリンクメニュー	
機器を操作する	ディーガ
音声を切り換える	シアター
シアターサウンドを切り換える	オート

- 同じ種類のビエラリンク(HDMI)対応機器を複数接続した場合、ビエラリンク(HDMI)で操作できるものは、番号の小さいHDMI端子に接続した機器のみです。

 詳しくは:[?]→「外部機器をつないで見る、聴く」

録画を予約する

録画した番組を再生する

詳しくは：?→「録画する」→「録画予約をする」

詳しくは：?→「外部機器をつないで見る、聴く」→「ビエラリンクで「見る」機能を使う」

USBハードディスクを使う

本機ではUSBハードディスクを使用して、下記のことができます。

●**デジタル放送を録画・再生する**
（☞53～55ページ）

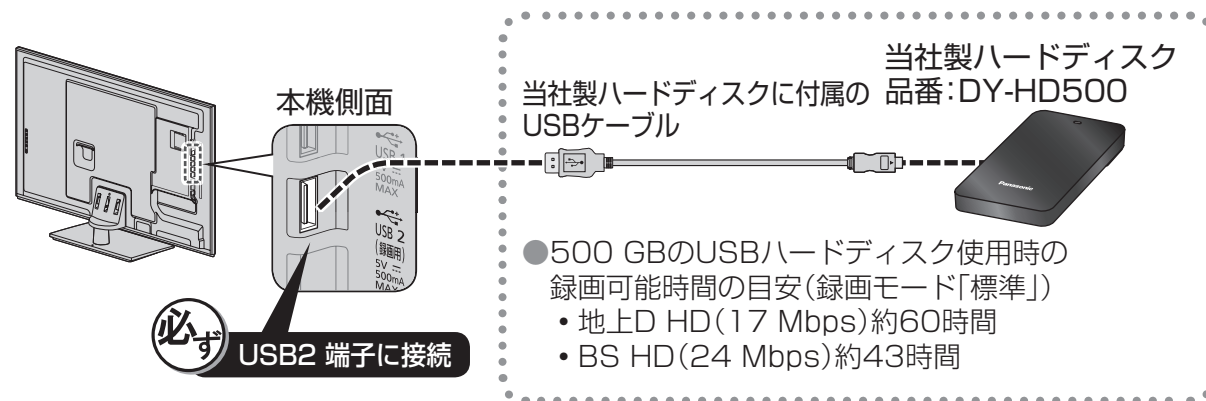
●**録画した番組をネットワーク経由でディーガにダビングする**
（☞56ページ）

●**USBハードディスクのコンテンツ※を本機で再生する**
（☞59ページ）
※パソコンなどで保存した画像（写真）や動画（ビデオ）、音楽

サーバー機器にも対応
（☞79ページ）

●**録画した番組をネットワークに接続した他のテレビなどで視聴する**
（☞80ページ）

USBハードディスクの接続例

●500 GBのUSBハードディスク使用時の
録画可能時間の目安（録画モード「標準」）
• 地上D HD（17 Mbps）約60時間
• BS HD（24 Mbps）約43時間

●本機で動作確認済みのUSBハードディスクについては、以下のホームページで最新の情報を確認できます。（2013年1月現在）
http://panasonic.jp/support/tv/ を開く。「動作確認情報」→『VIERA「液晶テレビ」』→『「TH-○○○○」の接続検証』から、機器を選ぶ。

接続後の設定

初めてUSBハードディスクを接続したときは、録画用として登録・フォーマットの確認画面が出ます。録画用として使うときは、画面の表示に従って、登録・フォーマットしてください。
（本機に登録できるUSBハードディスクは8台までです。）
録画用として登録しないときは、USBハードディスクに保存された画像（写真）や動画（ビデオ）、音楽を再生することができます。

■ USB機器一覧
本機に登録したUSBハードディスクの管理（登録の削除・取り外しなど）をしたいときは「USB機器一覧」から行ってください。

USBハードディスクの接続に関するご注意

●USBハブを使って複数のUSBハードディスクを同時に接続することはできません。
（本機に登録できるUSBハードディスクは8台ですが、一度に使用できるUSBハードディスクは1台です。）
●当社製ハードディスクは、付属のUSBケーブルが届く範囲で安定した水平な場所に設置してください。
●USBハードディスクの動作中（再生・録画中など）に、本体の電源を切ったり、USBケーブルを抜いたり、振動や衝撃（移動、回転など）、静電気を与えると、録画した番組が消えたり、故障の原因となります。USBハードディスクの取扱説明書もあわせてご覧ください。
●当社は他社起因によるところの操作と性能を保証しません。
また当社はそのような他社との組み合わせによってあるいは他社の操作や性能に起因するいかなる責任あるいは損害賠償をいたしかねます。

録画用として使うときは

本機でお使いいただくUSBハードディスクは本機専用として使用してください。
本機専用で使用中のUSBハードディスクを他の機器で使用すると、再フォーマットが必要になり、録画した番組や保存したデータがすべて削除されます。

●録画用として登録してご使用ください。
●録画用として使用できるのは容量が160 GB以上のUSBハードディスクです。
●録画できる最大番組数は3000番組です。
●本機でUSBハードディスクに録画した番組は、本機でのみ再生できます。他のテレビ（同じ品番のテレビを含む）やパソコンなどに接続して再生することはできません。

USBハードディスクの録画に関するご注意

●USBハードディスクを本機に接続して録画用として登録すると、本機専用のハードディスクとして初期化します。それまでUSBハードディスク内に保存していたデータはすべて消去されます。
●登録を一度解除したUSBハードディスクを録画用として再使用する場合は、もう一度登録・フォーマットが必要です。録画していた番組はすべて消去されます。

画像（写真）・動画（ビデオ）・音楽を再生するときは

●録画用として登録しないで、そのままご使用ください。登録すると本機専用にフォーマットされるため、保存されている画像（写真）や動画（ビデオ）、音楽などがすべて削除されます。

つづく

USBハードディスク使用上のご注意

●たばこの煙や殺虫剤の煙、ほこりなどがUSBハードディスクの内部に入ると、故障の原因となります。
●何らかの不具合により、正常に録画ができなかった場合の内容の補償、録画した内容の損失、および直接･間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
また、本機を修理した場合においても同様です。あらかじめご了承ください。
●あなたが録画･録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

録画時間の目安について（連続録画の場合）

録画モード ＼ 容量	標準		
	地上デジタル HD放送 （≦17 Mbps）	BSデジタル HD放送 （≦24 Mbps）	BSデジタル SD放送 （≦12 Mbps）
500 GB	約60時間	約43時間	約86時間
1 TB	約121時間	約86時間	約172時間
2 TB	約242時間	約172時間	約344時間

- 「標準」の録画時間は、放送の転送レートによって異なります。
- 録画可能時間は理論値によって計算しているため、実際と異なる場合があります。

●動作確認済み機種について詳しくは、http://panasonic.jp/support/tv/index.html をご覧ください。

USBハードディスクに 見ている番組を録画する

本機ではUSBハードディスクを使ってデジタル放送番組の録画ができます。

（テレビを見ているときに）

1 録画 ● **を押す**

●見ている番組の録画が始まります。

2 録画を停止するには

停止 ■ **を押す**

録画停止の確認画面で はい を選び、

を押す

●停止を押さない場合は「録画ボタン設定」で設定した時間（「番組終了」または「3時間録画」）に自動的に停止します。

●残量に余裕がある状態で録画してください。
●デジタル放送のテレビサービス以外は録画できません。

USB ハードディスクに 録画を予約する

（テレビを見ているときに）

1 番組表 **を押す**

2 放送の種類を選ぶ 地上 BS 1/2 CS

3 ▲▼◀▶決定 **で番組を選ぶ**

使用中のドライブ
選択中の番組

4 録画● **を押す**

予 が表示されます

●もう一度 録画● を押すと録画予約が解除されます。

予約完了

●電源を切る場合は、必ずリモコンの電源ボタンで操作してください。
本体で電源を切ると録画できなくなります。

実行中の録画を途中で停止するとき

1 停止■ を押す

2 録画停止の確認画面で「はい」を選び、「決定」を押す

お知らせ

● 録画中、本体で電源を切ったりUSBハードディスクを取り外すと、録画中の番組は保存されません。
● 予約した時間に設定したUSBハードディスクが取り外されていると、録画を開始できません。（録画予約した番組の放送中にUSBハードディスクを接続しても、録画は開始しません。）
● USBハードディスクの使用状況によっては、録画や再生が正常に行われないことがあります。

■USBハードディスク使用中に本体で電源を切るときは

（1）リモコンの 停止■ を押して録画や再生を停止する
（2）本体の電源を切る

詳しくは：?→「録画する」→「録画予約をする」

USB ハードディスクに 録画した番組を再生する

（テレビを見ているときに）

1 録画一覧 **を押す**

2 ▲▼◀▶決定 **で番組を選び、**
決定 **または**
再生/1.3倍速 ▶ **を押す**

選択されている番組

録画一覧画面

再生開始

再生中の操作

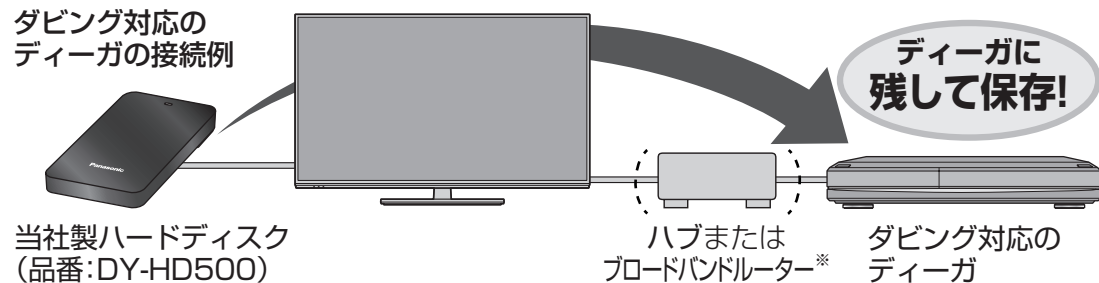
停止 ■	再生を停止する
一時停止 ❚❚	再生を一時停止／再開する
早戻し ◀◀ 早送り ▶▶	再生中に押すと、早戻し／早送りする ●押すたびに速度が速くなります。（5段階） （通常の再生に戻すには 再生/1.3倍速 ▶ を押す）
スキップ ❙◀◀ ▶▶❙	押した回数だけチャプターマークのある場面に飛び越す （前番組／次番組へは飛び越しません）

■録画番組の消去
残量が不足したときに不要な番組を選んで消去します。
（1）消去したい録画番組を選び、黄 を押す
（2）番組消去の確認画面で「はい」を選び、「決定」を押す

■録画番組のプロテクト
誤消去を防ぐために、録画番組にプロテクト設定できます。プロテクト設定中の番組は消去できません。（フォーマットした場合は、プロテクト設定していても消去されます。）
（1）プロテクト設定したい録画番組を選ぶ
（2）サブメニュー Ⓢ を押し、「プロテクト設定変更」を選び、「決定」を押す

詳しくは：?→「外部機器をつないで見る、聴く」→「USBハードディスクに録画した番組を再生・編集する」

ダビングする（USBハードディスク→ディーガなど）

USBハードディスクに録画した番組をハブやブロードバンドルーターを経由して、ダビング対応のディーガのハードディスクにダビングできます。
●ディーガから本機に接続したUSBハードディスクにはダビングできません。

※ダビング対応のディーガをハブやブロードバンドルーターを使わずに本機に直接接続する場合は、LANクロスケーブルをご使用ください。

●本機はディーガ以外のダビング対応機器にもダビングできます。

接続・設定

本機にUSBハードディスクと、ダビング対応のディーガなどを接続します。

USBハードディスク（ダビング元）を接続する （☞30、50ページ）

▼

ディーガなど（ダビング先）を接続する （☞65ページ）

▼

ネットワーク接続の設定をする （☞69ページ）

●ダビング先のディーガの設定も必要な場合があります。
詳しくは、ディーガの取扱説明書をご覧ください。
●ネットワーク接続の設定は、通信の方式（無線LANまたはLANストレートケーブル）、インターネットへの接続、ネットワーク機器などの設定を行うことができます。機器をすべて接続したあとに、画面の指示に従って設定を行ってください。

ダビング対応のディーガについて（2013年1月現在）
●DMR-BZT9300 ●DMR-BZT830／DMR-BZT730
●DMR-BWT630／DMR-BWT530 ●DMR-BRT230
●DMR-BZT920／DMR-BZT820／DMR-BZT720
●DMR-BWT620／DMR-BWT520 ●DMR-BRT220
●DMR-BZT9000／DMR-BZT910
●DMR-BZT810 ●DMR-BZT710 ●DMR-BWT510 ●DMR-BRT210
●DMR-BZT900／DMR-BZT800 ●DMR-BZT700／DMR-BZT600
●DMR-BWT500 ●DMR-BRT300 ●DMR-BF200
●DMR-BWT3100／DMR-BWT2100／DMR-BWT1100
●DMR-BWT3000／DMR-BWT2000／DMR-BWT1000
●DMR-BW890／DMR-BW690
●DMR-BW880／DMR-BW780／DMR-BW680
●DMR-BW970／DMR-BW870／DMR-BW770
●DMR-HRT300

ダビングの操作手順

1 録画一覧 を押す
録画一覧画面が表示されます。

USBハードディスク録画一覧画面

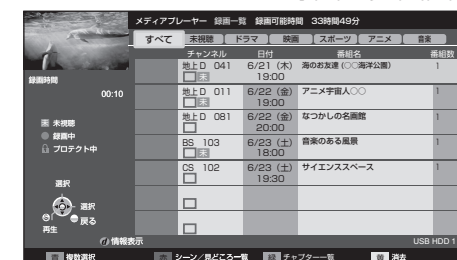
2 ダビングしたい番組を選ぶ

3 サブメニュー Ⓢ を押す

4 「ダビング」を選び、「決定」を押す

5 「ダビング機器」を選ぶ

6 ダビング先のディーガなどを選ぶ

7 ダビングの内容を確認したあと、「ダビング開始」を選び、「決定」を押す
ダビングが始まります。

■ ダビングを中止するとき
（1）本機でテレビ放送視聴中に 停止■ を押す
（2）ダビング中止の確認画面で「はい」を選び、「決定」を押す

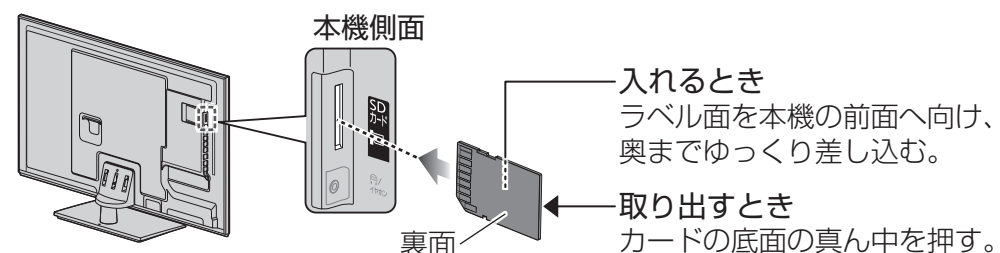
お知らせ
●ダビング中は、本体の電源ボタンで電源を切らないでください。
●録画とダビングは同時にできません。
●複数の番組を選んでダビングすることはできません。
●ダビング（コピー）の制限について
本機はダビング10に対応しています。
USBハードディスクに録画したデジタル放送をディーガなどにダビングした場合、番組に加えられたコピー制御信号によって、ダビングの残り回数が減っていきます。
●ディーガの操作方法については、ディーガの取扱説明書をご覧ください。
●本機で動作確認済みの、ディーガ以外のダビング対応機器については、以下のホームページで最新の情報を確認できます。（2013年1月現在）
http://panasonic.jp/support/tv/connect/index.html

詳しくは：?→「ネットワーク」→「USBハードディスクに録画した番組をダビングする」

SDメモリーカードを使う　再生する

本機で使用できるのはFATフォーマットされたSDメモリーカード、FAT32フォーマットされたSDHCメモリーカード、exFATフォーマットされたSDXCメモリーカードです。

本機ではSDメモリーカードを使用して、下記のことができます。
- **デジタルカメラで撮影した画像（写真）、デジタルビデオカメラで撮影した動画（ビデオ）をテレビ画面で見る**（☞59ページ）
- **SDメモリーカードのコンテンツ※を本機で再生する**（☞59ページ）
  ※パソコンなどで保存した画像（写真）や動画（ビデオ）、音楽

SDメモリーカードの入れかた

SDメモリーカードに関するご注意

- miniSDメモリーカードやmicroSDメモリーカードは、アダプターごと出し入れしてください。
- SDメモリーカードの動作中（再生中など）に、本体の電源を切ったり、SDメモリーカードを抜いたり、振動や衝撃、静電気を与えると、保存した静止画などが消えたり、故障の原因となります。
- 規格外のSDメモリーカード、SDメモリーカード以外のものを挿入しないでください。故障の原因になります。

書き込み禁止（LOCK）スイッチ
スイッチを「LOCK」にすると、誤消去や書き込みを防止できます。

画像（写真）・動画（ビデオ）・音楽の再生や管理

1 アプリ を押す

2 「メディアプレーヤー」を選び、「決定」を押す
- 機器選択の画面が表示された場合は、再生する機器を選択し、「決定」を押してください。

3 コンテンツ（写真一覧、ビデオ一覧、音楽一覧、録画一覧）を選択する

例：USBハードディスク写真一覧

リモコンのカラーボタンで操作
- 青　スライドショー
- 赤　表示切換
- 緑　SDカード／USB機器選択（USBハードディスク、SDメモリーカード）
- 黄　コンテンツ選択（写真一覧、ビデオ一覧、音楽一覧、録画一覧）

■ 再生 動画（ビデオ） 音楽

再生したい動画（ビデオ）/音楽を選び、「決定」を押す

■ シングル再生 画像（写真）

再生したい画像（写真）を選び、「決定」を押す

■ スライドショー再生 画像（写真）

（1）青を押す
（2）「スライドショー開始」を選び、「決定」を押す

お知らせ

- USBハードディスクを使用中に本体の電源を切ると、故障の原因となります。
  電源を切る場合は、54ページの手順に従って操作してください。

 詳しくは：?→「メディアプレーヤー」

3D映像を見る

3Dに対応した放送やディーガで再生したブルーレイ3D™対応ディスクなどを、3Dグラス（☞62ページ）を使って視聴できます。また、通常放送などの2D映像を3D映像に変換して、視聴できます。

■3Dの映像を見るときは3Dグラスをご使用ください
3Dグラスをかけずに3Dの映像を見ることはできません。

3D映像に切り換える

自動で3D映像に切り換える

「3D自動切換」を「アドバンスト」「オン」に設定していると、3D映像の信号を検出したときに、自動的に3D映像に切り換わります。

1. メニュー を押す
2. 「映像調整」を選び、「決定」を押す
3. 「3D設定」を選び、「決定」を押す
4. 「3D自動切換」を選ぶ
5. 「アドバンスト」または「オン」を選ぶ

手動で3D映像に切り換える

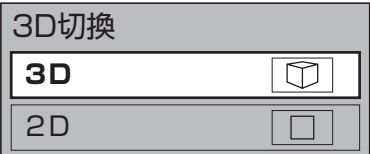
3Dボタンを使って切り換えることができます。

1. 3D を押す
「3D切換」画面が表示されます。

2. 3D を押して3D映像と2D映像を切り換える

3D ※ ↔ 2D

- 3D ……………… 3D映像が3D表示になります。
- 2D ……………… 3D映像や2D映像が2D表示になります。

※2D映像受信中に3Dボタンを押すと、3D映像に変換します。

お知らせ

- チャンネルや放送、入力を切り換えると、2D映像に切り換わります。また、3D映像が終了すると自動的に2D映像に切り換わります。
- 「3D」「2D」は、上下ボタンでも選択できます。「決定」を押すと映像が切り換わります。
- 映像によっては、正常に変換されない場合があります。「3D切換」画面表示中に 青 を押して、「3D切換（マニュアル）」画面で設定してください。（☞61ページ）

3D対応の動画・写真を視聴するとき

- 3D映像対応機器（ディーガ、デジタルビデオカメラなど）を本機のHDMI端子やD4映像入力端子に接続して視聴できます。3D映像対応機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- SDメモリーカードに保存した、3D対応の動画・写真を3Dで視聴できます。
- 「3D自動切換」を「アドバンスト」「オン」に設定していると、動画・写真に3D信号がついていると自動的に3D動画・3D写真に切り換わります。（自動で切り換わらないときは「3D」ボタンを押して切り換えてください。）

2D映像を3D映像に変換するとき

- 映像によっては、正常に変換されない場合があります。
- この機能を使うと、機器側での映像変換によりオリジナルの映像と見えかたに差が出ますので、ご留意のうえお使いください。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、当機能を利用して2D映像を3D映像に変換して表示すると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。

設定・入力信号と映像の見えかたのイメージ

「3D切換（マニュアル）」画面表示中、方式を切り換えて映像を切り換えることができます。60ページの手順で正常な3D映像に切り換わらないときに、手動で切り換えてください。

入力信号 / 3D切換方式	フレームシーケンシャル	サイドバイサイド	トップアンドボトム	2D映像（通常放送など）
オリジナル				
サイドバイサイド（3D）		（正常な3D映像）		
サイドバイサイド（2D）				
トップアンドボトム（3D）			（正常な3D映像）	
トップアンドボトム（2D）				
2D→3D変換				（正常な3D映像）

- 接続している機器や放送によっては、上記の内容と違う場合があります。
- フレームシーケンシャル信号は、HDMI接続した3D対応ディーガでブルーレイ3D™対応ディスクを再生したときの3D信号です。
- サイドバイサイド信号は、当社製デジタルビデオカメラ（品番：HC-X900M/V700M/V600M、HDC-TM750/650/90/85など）で録画した3D映像などに付与されている3D信号です。
- トップアンドボトム信号は、上下に2つ並んだ映像を使って、3D映像に変換します。

3D映像を見る（つづき）

3Dグラスについて

■ 品番（2013年1月現在）
TY-EP3D20W

3Dグラスを装着する

●3D映像が正しく表示されない場合や3D映像を調整したいときは「3D設定」の内容を設定してください。
●3Dグラスでの立体映像効果には個人差があります。

使用上のご注意

●レンズについて
• レンズに力を加えないでください。また3Dグラスを落としたり曲げたりしないでください。
• 鋭利なものでレンズの表面を引っかかないでください。
3Dグラスが破損して、3D映像の品質が低下するおそれがあります。
●3Dグラスは正しく装着してください。上下を反対にしたり、前後を逆にしたりすると、正しい立体像が見られません。
●3Dグラスをかけた状態では、他のディスプレイ（パソコン画面、デジタル時計、電卓など）の表示が見づらくなることがあります。3D映像以外は、3Dグラスを外して見てください。

3D映像を見終わったあとは

●3Dグラスは、湿度の高いところや温度が高くなるところを避けて保管してください。
●3Dグラスのお手入れについて
• お手入れはやわらかい乾いた布を使ってください。やわらかい布にほこりなどが付着していると、製品に傷がつきます。ご使用前にほこりなどをはらってください。なおベンジンやシンナー、ワックスなどは、塗装がはがれる原因になりますので、使用しないでください。
• お手入れの際に、3Dグラスを水などの液体につけないでください。

故障かな!?

まず次の項目を確認してください。
●3D映像にならない
• テレビの映像が3D映像に切り換わっていますか？（☞60ページ）

3Dグラスの仕様

レンズ方式	円偏光方式	寸法	幅　165 mm　高さ 38 mm 奥行 166 mm
使用温度範囲	0 ℃～40 ℃		
材質	本体：樹脂　偏光レンズ部分：樹脂	質量	約 18 g

詳しくは：?→「テレビを見る」→「3D映像で見る」

エコナビ・節電視聴・音声ガイド

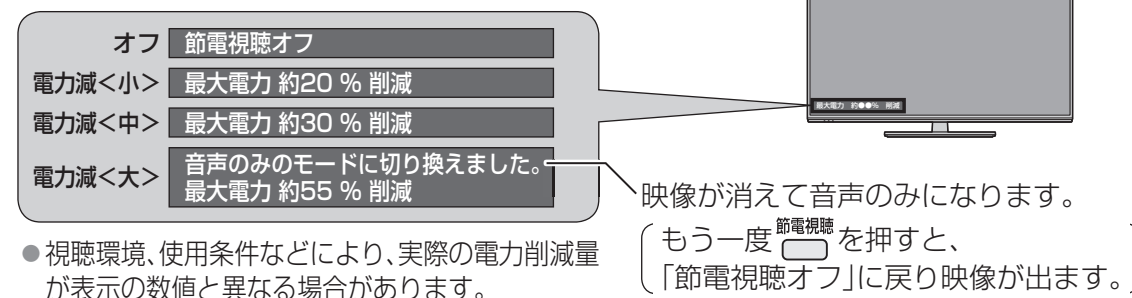
エコナビ

視聴環境や使用環境に応じて、本機が自動的に本機および周辺機器を制御して、消費電力を低減します。

■ エコナビ設定時の省エネ効果について
「おすすめ設定」時は、標準の設定時に対して、約5パーセント消費電力を削減します。
（視聴環境、使用条件により、効果は異なります。）
＜測定条件＞
• 映像モード：スタンダード（標準）　• 照度：250ルクス　• カラーバー信号受像
• 本機の電源を入れて1時間30分後、安定させた状態での消費電力で比較

節電視聴

画面の明るさを切り換えて、消費電力を低減します。

■ 節電視聴 を押して明るさを切り換える（押すたびに切り換わります。）

● 視聴環境、使用条件などにより、実際の電力削減量が表示の数値と異なる場合があります。

音声ガイド

番組表の内容や予約設定、録画一覧、選局時、「入力切換」ボタンを押したときの切り換え先などを読み上げます。

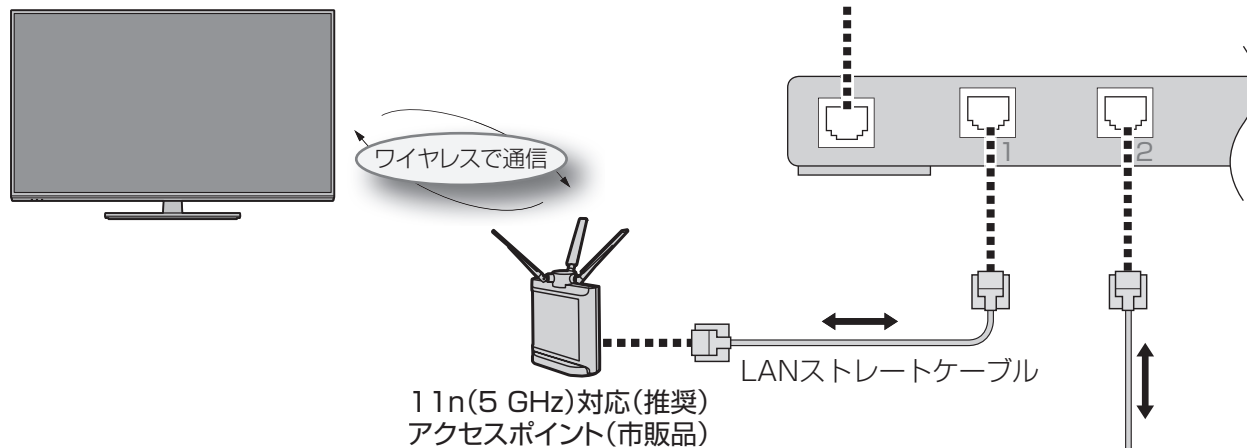
●音声ガイドをもう一度お聞きになりたい場合は、リモコンの「画面表示」ボタンを押してください。
●実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。また、2画面時には音声ガイドの読み上げを行いません。

■ 音声ガイドの設定画面を表示するには、メニュー を3秒以上押す。

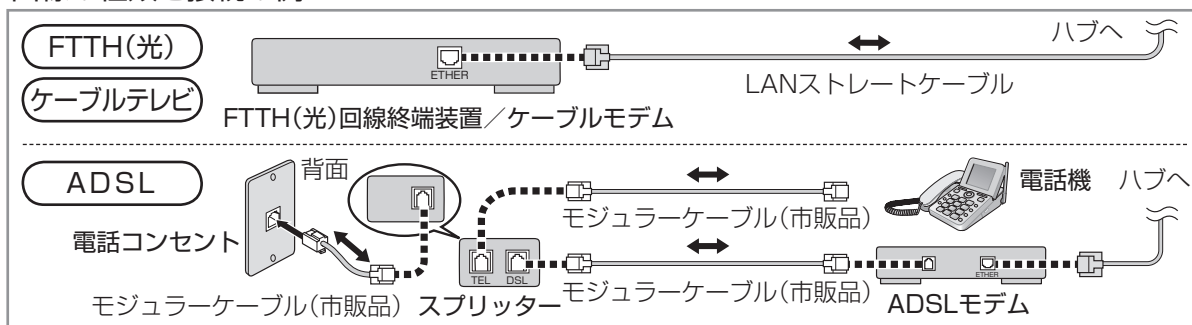
詳しくは：?→「いろいろな機能を設定する」→「テレビの節電機能（エコナビなど）を設定する」または「音声に関する設定や音質を調整する」

インターネット、ネットワーク機器の接続・設定

インターネットへの接続

●インターネットへの接続は、プロバイダーや回線業者との契約内容に基づいて接続してください。（回線の種類は下記参照）

お知らせ

●インターネットに接続する際は、パソコンでの設定が必要になることがあります。
●無線LANと有線LANの両方を接続することができますが、どちらで通信するかは、「ネットワーク接続」（☞69ページ）で設定してください。

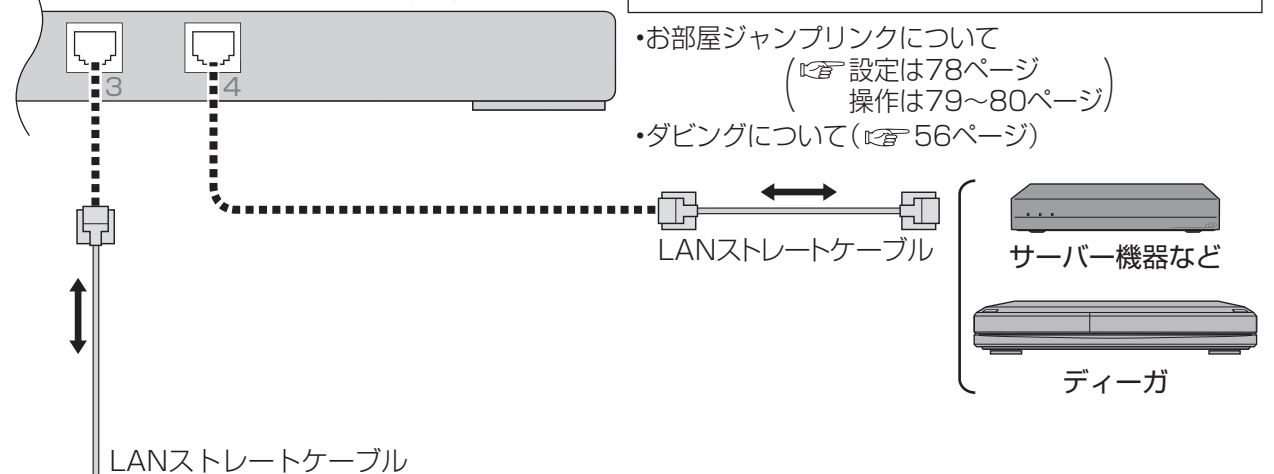
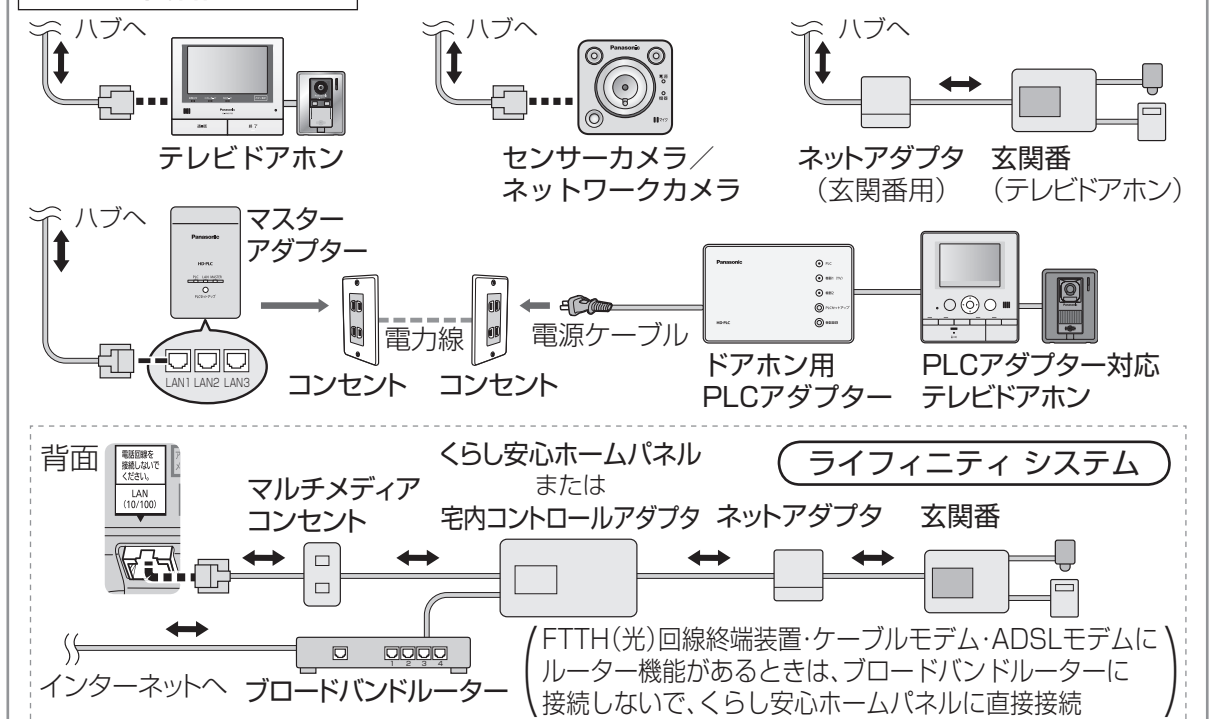
回線の種類と接続の例

ネットワーク機器の接続

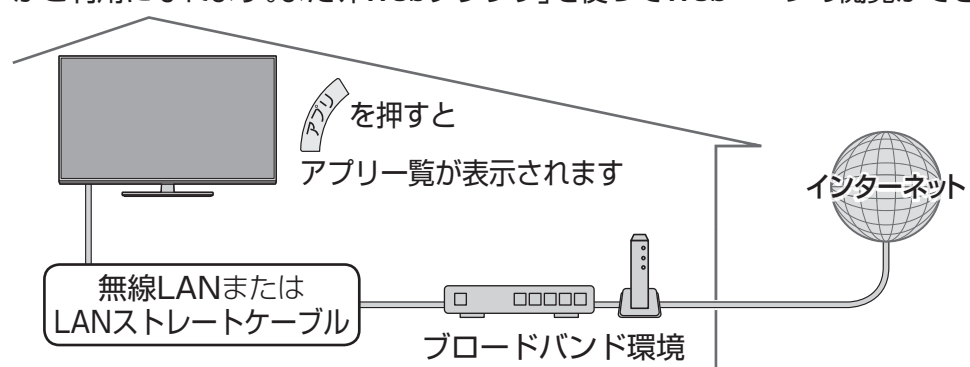
●本機にハブまたはブロードバンドルーターを接続し、各ネットワーク機器を接続してください。
●接続については、ネットワーク機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ハブ
FTTH(光)回線終端装置・ケーブルモデム・ADSLモデムにルーター機能がないときは、ブロードバンドルーターをご使用ください。

● お部屋ジャンプリンク対応機器（ディーガやサーバー機器など）
● USBハードディスクからのダビング（ディーガ）

・お部屋ジャンプリンクについて（☞設定は78ページ 操作は79〜80ページ）
・ダビングについて（☞56ページ）

詳しくは：→「ネットワーク」→「ネットワークに接続する」

インターネット、ネットワーク機器の接続・設定 （つづき）

ブロードバンド環境で本機をインターネットに接続すると、アプリ一覧から下記のサービスなどがご利用になれます。また、「Webブラウザ」を使ってWebページの閲覧ができます。

■ サービスやアプリを選択するには

「アプリ」ボタンを押して「アプリ一覧」を表示し、操作したいサービスやアプリを選んでください。

■「Webブラウザ」からインターネットを使うには

アプリ一覧の中から「Webブラウザ」を選び、「決定」を押すとブラウザが起動します。
使いかたについては、以下の操作で表示される「操作ガイド」をご覧ください。
（1）ブラウザ画面の右上に表示される「？」を選び、「決定」を押す
（2）「操作ガイド」を選び、「決定」を押す

お知らせ

●インターネットのサービスによっては、利用者登録が必要なサービスがあります。
●当社は、インターネットのサービスによって提供されるコンテンツに一切の責任を負いません。
●システム障害などによりサービスを利用できない場合があります。
●Webページによっては、正確に表示されないことがあります。

本機で利用できるサービス内容（2013年1月現在）

●アクトビラ（☞72ページ）
- 本機は「アクトビラ ビデオ・フル」に対応しています。
- 最新情報は、http://panasonic.jp/support/actvila/ を参照してください。
- マーク、 および「acTVila」、「アクトビラ」は、（株）アクトビラの商標または登録商標です。

●Skype
- 別売のビエラ コミュニケーション カメラ（品番:TY-CC20W）を本機のUSB1端子に接続すると、インターネット経由のビデオ通話や音声通話を利用できます。
詳しくは、ビエラ コミュニケーション カメラの取扱説明書をよくお読みください。

●もっとTV（☞72ページ）
- もっとTVサービスはテレビ番組などの映像を、放送局が公式に、インターネットを通じて提供するサービスです。
- ご利用条件やコンテンツ内容の不明点は、株式会社電通が運営するもっとTVホームページよりお問合せください。 もっとTVホームページ http://www.mottotv.jp
- 「もっとTV」は株式会社電通の商標または登録商標です。

利用できるサービス内容や画面は予告なく変更となる場合があります。

接続・設定

本機は無線LAN／有線LANの両方に対応しています。すでにパソコンでインターネットを利用している場合は、下記の接続・設定を行うと、本機でインターネットを利用できます。

無線LAN（本機に搭載）**接続** （☞64ページ）

または

有線LAN（LANストレートケーブル）**接続** （☞64ページ）

ネットワーク接続の設定をする （☞69ページ）

お知らせ

●電話用のモジュラーケーブルをLAN端子に接続しないでください。故障の原因になります。
●FTTH（光）、CATVなどのブロードバンド環境が必要です。プロバイダーや回線業者と別途ご契約（有料）していただく場合があります。
詳しくは、本機をお買い上げの販売店にご相談ください。
●プロバイダーや回線業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
●本機ではインターネット（LAN）接続機器などの設定はできません。パソコンなどでの設定が必要な場合があります。
●SDメモリーカード挿入口に、無線LAN対応カードを接続しても使えません。
●動画コンテンツを視聴するときは、FTTH（光）でのブロードバンド環境が必要です。
- 100BASE-TX対応のハブまたはブロードバンドルーターをご使用ください。
- 有線LAN接続の場合は、「カテゴリ5」以上のLANケーブルをご使用ください。

■ ハブまたはブロードバンドルーターについて

●ハブまたはブロードバンドルーターは、10BASE-T、100BASE-TXに対応のものを使用してください。（100BASE-TX用の機器を使用する場合は「カテゴリ5」以上のLANケーブルをご使用ください。）
●本機に接続したDHCP※でのIPアドレス自動取得が使えるブロードバンドルーターの電源を一度切ると、各機器に割り当てられるIPアドレスが停止して、電源を再び入れても、各機器間の通信ができなくなることがあります。本機をご使用中は、ブロードバンドルーターの電源を切らないでください。
●本機にDHCPでのIPアドレス自動取得が使えないハブを経由して、各機器を接続しているとき、本機の電源を「入」にした直後は、各機器との通信に失敗することがあります。
時間をおいて（約3分間）再度試してください。
※DHCPとは、サーバーやブロードバンドルーターが、IPアドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

つづく

無線LAN接続について

無線LAN機能を搭載しているので、ワイヤレスで通信することができます。
- 無線LANでの接続（☞64ページ）

●本機との接続に対応したアクセスポイントが別途必要です。
●アクセスポイントはWPS※対応であることをご確認ください。（WPSに対応していない場合は、設定の際にアクセスポイントの暗号キーが必要になります。）
詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
●本機とアクセスポイント間の無線方式は、11n(5 GHz)を推奨します。
11a、11b、11g、11n(2.4 GHz)でも通信できますが、映像が途切れたり、接続が切れることがあります。
●アクセスポイントの無線方式を切り換えた場合は、無線LANで接続できていた機器（パソコンなど）が接続できなくなることがあります。
●通信内容の傍受、不正利用、なりすましなどを防止するために、適切なセキュリティー設定（暗号化設定）を行ってください。詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
●無線LANのセキュリティー設定（暗号化設定）を行っていない場合、USBハードディスクから無線LANを経由してのダビングはできません。
●電波を使う機器から離してください。
電波の干渉による悪影響を防止するため、次の機器からできるだけ離してください。
- 電子レンジ　• 他の無線LAN機器　• Bluetooth®対応機器
- その他2.4 GHz、5 GHzの電波を使用する機器（デジタルコードレス電話、ゲーム機、ワイヤレスオーディオ機器、パソコン周辺機器など）

※「WPS」は「Wi-Fi Protected Setup™」の略です。

ネットワーク機能を快適に利用するために

個人情報の取り扱いについて
本機の機能およびサービスを提供するため、機器ID・機器パスワードおよび利用履歴情報は当社の適切なセキュリティー環境のもと、安全に保管・管理します。利用履歴などの情報については、個人が特定できない状態で集計し、製品やサービスの向上などに利用させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

不正利用を防ぐために
●機器パスワードは
- 他人に見られたり、教えたりしないでください。
- 第三者が本機の設置・設定を行った場合は、必ず変更してください。
- 修理依頼する場合は機器パスワードを初期化し、再設定してください。
- 第三者に譲渡したり廃棄する場合は、機器パスワードを初期化してください。

●当社では、ネットワークのセキュリティーに関する技術情報についてはお答えできません。
●携帯電話やパソコンを紛失した場合は、第三者による不正な使用を避けるため、直ちに加入されていた通信事業者、対応サービス提供者へ連絡してください。
●利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。無線ネットワーク環境の自動検索時に利用権限のない無線ネットワーク（SSID※）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
※無線LANで特定のネットワークを識別するための名前のことです。このSSIDが双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

対応サービスについて（ディモーラ/ミモーラ）
サービスは対応サービス提供者が提供します。詳しくはホームページをご覧ください。（☞75ページ）
●本機の接続に必要なインターネット接続機器（モデム、ルーターやハブなど）や、電話通信事業者およびプロバイダーとの契約・設置・接続・設定作業・通信などの費用は、すべてお客様のご負担となります。
●一部のサービスは有料です。また、現在無料のサービスでも、将来有料になることがあります。
●ディモーラ機能のご利用には、対応サービスに加入していただく必要があります。
●定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。

免責事項について

●機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。
●当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社では責任を負いません。
●本機がお手元にない場所から問い合わせの際、本機自体の接続や現象などの目視確認が必要な内容については、お答えできません。
●ルーターのセキュリティー設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティー設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いません。また、ルーターの設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社ではお答えできません。

ネットワーク接続の設定

1 [メニュー]を押す

2 「ネットワーク設定」を選び、「決定」を押す

3 「ネットワーク接続」を選び、「決定」を押す

4 「かんたん設定」を選び、「決定」を押す
- 画面の指示に従って設定してください。
- 「詳細設定」を選ぶと、「有線（LANケーブル）」、「無線LAN」が選択でき、「本機の名称/IPアドレス/DNS設定」を個別に設定することができます。

5 ネットワーク状態の画面が表示されたら、「終了」を押す
- ご利用になれる機能が表示されます。
  - インターネット機能（ビエラ・コネクトなど、インターネットの機能）
  - ホームネットワーク機能（お部屋ジャンプリンクなど、家の中でのネットワーク機能）

（終了するには[元の画面]を押す）

つづく

詳しくは：[?]→「ネットワーク」→「ネットワークを利用するための接続設定をする」

手動で無線LANの設定をする

1. メニュー を押す
2. 「ネットワーク設定」を選び、「決定」を押す
3. 「ネットワーク接続」を選び、「決定」を押す
4. 「詳細設定」を選び、「決定」を押す
5. 「無線LAN」を選び、「決定」を押す
   ●表示するメッセージを確認してください。
6. アクセスポイントを選び、「決定」を押す
7. 画面の表示内容に従って設定する

（終了するには 元の画面 を押す）

本機を無線親機に設定をする

本機を無線親機に設定し、宅内の各機器（無線子機）と接続する設定をします。
この設定ではアクセスポイントなどの設定は不要ですが、インターネットに接続することはできません。

1. メニュー を押す
2. 「ネットワーク設定」を選び、「決定」を押す
3. 「ネットワーク接続」を選び、「決定」を押す
4. 「詳細設定」を選び、「決定」を押す
5. 「無線親機設定」を選び、「決定」を押す
6. 画面の表示内容に従って設定する

（終了するには 元の画面 を押す）

詳しくは：？→「ネットワーク」→「ネットワークを利用するための接続設定をする」

インターネット上の有害情報へのアクセス制限機能について

本機には、お子様などに見せたくないホームページやブログ、ソーシャル･ネットワーキング･サービス（SNS）などの利用を制限するための機能が組み込まれています。「ネット上のいじめ」等のトラブルを未然に防ぐため、お子様などが本機を使ってインターネットをご使用の際は、この制限機能の利用を強くおすすめします。
この制限機能をご使用の場合は、下記の設定を行ってください。

アプリの使用を制限したいとき

1. アプリ を押す
2. アプリ一覧画面右上の を選び、「決定」を押す
3. 表示されるメニューで「アプリの使用制限」を選び、「決定」を押す
4. 暗証番号を入力する
5. 使用を制限したいアプリを選び、「決定」を押す
   ●もう一度「決定」を押すと制限を解除します。

表示させるホームページを制限したいとき（フィルタリング機能）※

1. メニュー を押す
2. 「機器設定」を選び、「決定」を押す
3. 「制限項目設定」を選び、「決定」を押す
4. 暗証番号を入力する
5. 「フィルタリング設定」を選び、「決定」を押す
6. 項目を選び、設定する

フィルタリング機能	フィルタリング機能の「オン」「オフ」を設定します。 ▲▼で切り換えることができます。 設定終了後は「元の画面」を押して、テレビ画面に戻してください。
詳細設定	フィルタリング機能の設定を変更します。 「決定」を押すと、設定画面に移動します。 画面に従って操作してください。

初めてフィルタリング機能を利用するときは、申し込みの手続きが必要です。
上記手順**1**～**5**の操作後、下記の手順で手続きを行ってください。
「申し込み手続き」で「決定」を押す
（フィルタリングサービスの申し込み手続き画面に移動します。画面の指示に従って操作してください。）

※デジタルアーツ株式会社提供の有害サイトフィルタリングサービス「i-フィルター」（有料）をご利用いただくことで、インターネットを利用するときに、閲覧するのにふさわしくないサイトの表示を制限することができます。
有害サイトの判定にあたっては、閲覧されるページのURL情報が自動的にデジタルアーツ株式会社へ送信されます。なお、お客様からの情報はこの目的以外に使用されることはありません。

詳しくは：？→「いろいろな機能を設定する」→「制限項目や暗証番号に関する設定をする」

インターネットを使う

もっとTV

1 もっとTV [VOD] を押す

もっとTVの画面が表示されます。

2 見たい項目を選び、「決定」を押す

●以降は画面に従って操作してください。

■終了するとき

[元の画面] を押す。

(お知らせ)

●もっとTVの番組は、USBハードディスクに録画やダウンロードはできません。

アクトビラの基本操作

1 アクトビラ [ ] を押す

ポータルサイトが表示されます。

●初めてアクトビラを表示したときは、アクトビラのご案内画面が表示され、端末情報が送信されます。端末情報は、郵便番号(かんたん設置設定で登録)や端末の識別ID(本機に組み込まれた番号)が含まれます。(長期間ポータルサイトを表示しなかったときも、ご案内画面が表示されることがあります。)

2 見たい項目を選び、「決定」を押す

●以降は画面に従って操作してください。

(イメージ例)

選んでいる項目が強調される

■終了するとき

[元の画面] を押す。

■動画コンテンツについて

●有料サービスの場合があります。

●ご利用環境・通信速度などにより、映像が乱れたり途切れる場合があります。

●購入履歴など個人情報の削除は「個人情報リセット」で行うことができます。

■ページの音声再生について(音声コンテンツがある場合)

●モノラルで再生されます。動画コンテンツは、コンテンツの音声形式に従って再生されます。

■個人情報について

●クレジットカードの番号や氏名などを入力するときは、ページの提供者が信用できるか十分注意してください。

●登録した情報は、ホームページのサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合は登録時の規約などに従って、必ず消去してください。

アクトビラのネット操作パネルを使う

ステータス表示(画面表示 [ ] を押すと表示)

ページのセキュリティー
: 通常
: セキュリティーで保護

ページの読み込み状況
(読み込みに時間がかかる場合があります)

ネット操作パネル(サブメニュー Ⓢ を押すと表示)

●使う項目を選ぶときは、◀▶で選び、「決定」を押す。

◀ 戻る	▶ 進む	× 中止	更新	ホーム	お好みページ	URL アドレス入力
前のページへ	先のページへ	読み込み中止	再び読み込み直す	ポータルサイトに戻る	お好みページを登録して簡単に呼び出す(☞74ページ)	アドレスを入力してホームページを見る(☞下記)

●ネット操作パネルを消すときは サブメニュー Ⓢ を押す。

アドレスを入力してホームページを見る

1 「ネット操作パネル」から「アドレス入力」を選び、「決定」を押す

2 アドレス(URL)を入力する

(文字入力☞84ページ)

3 「確定」を選び、「決定」を押す

アドレス

アドレスを入力してください。
アクトビラサイト以外は正常に表示されない場合や、予期しない情報・有害情報などを含む場合があります。

http://○○○○.ne.jp/cominsoon/index.html

確定

(お知らせ)

●アクトビラなどのテレビ用コンテンツ以外のホームページは、正確に表示されないことがあります。また、予期しない情報や有害な情報が含まれる場合があります。

つづく

インターネットを使う（つづき）

「お好みページ」に登録する（20件まで）

お好みページ一覧（表示例）

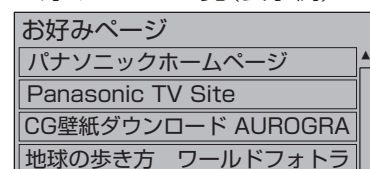
お好みページ
パナソニックホームページ
Panasonic TV Site
CG壁紙ダウンロード AUROGRA
地球の歩き方　ワールドフォトラ

登録したいホームページを見ているときに

1 **「ネット操作パネル」から「お好みページ」を選び、「決定」を押す**

2 **青 を押す**

3 **内容を確認して「決定」を押す**

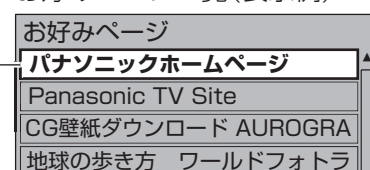
●「これ以上登録できません。」と表示されたときは、不要なお好みページを選び、「黄」ボタンを押し、「はい」を選んで、「決定」を押すと削除されます。

「お好みページ」を呼び出す・編集する・削除する

ホームページを見ているときに

1 **「ネット操作パネル」から「お好みページ」を選び、「決定」を押す**

2 **お好みページ一覧から表示したいページを選び、「決定」を押す**

ページが表示されます。

お好みページ一覧（表示例）

タイトルを表示

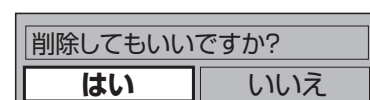
■ タイトルやURLを変更するとき

（1）お好みページ一覧から変更したいページを選び、「緑」ボタンを押す。
（2）「タイトル」または「URL」を選び、「決定」を押す。
（3）文字を削除し、入力し直す。（文字入力☞84ページ）
（4）「決定」を押す。
（5）確認したら「戻る」を押す。

お好みページ編集
タイトル　テレビ情報
URL　http://○○○.○○.jp...

■ 削除するとき

（1）お好みページ一覧から削除したいページを選び、「黄」ボタンを押す。
（2）確認画面で「はい」を選び、「決定」を押す。
（3）確認したら「戻る」を押す。

削除してもいいですか?
はい　いいえ

お知らせ

●登録したホームページが提供者の都合でなくなったり、アドレス（URL）が変更された場合は表示されません。
●「個人情報リセット」を行うと、すべて削除されます。

詳しくは：?→「ネットワーク」→「インターネットを利用する」

●「アクトビラ」中は表示できません。

外出先から録画予約／録画番組の詳細情報を見る

ディモーラでは、本機に接続している録画用に登録したUSBハードディスクに、外出先のパソコンなどから録画予約や録画番組の削除などの操作ができます。
ミモーラでは、USBハードディスクに録画した番組の「シーン／見どころ一覧」画面から、再生などができます。
どちらのサービスも、ご利用になるにはパソコンなどからの対応サービスへの会員登録と、本機のインターネットへの接続が必要です。
会員登録およびサービスに関する詳細は、下記ホームページをご覧ください。

パナソニック株式会社　テレビ番組情報ウェブサービス
ディモーラ：http://dimora.jp/
ミモーラ　：http://me-mora.jp/

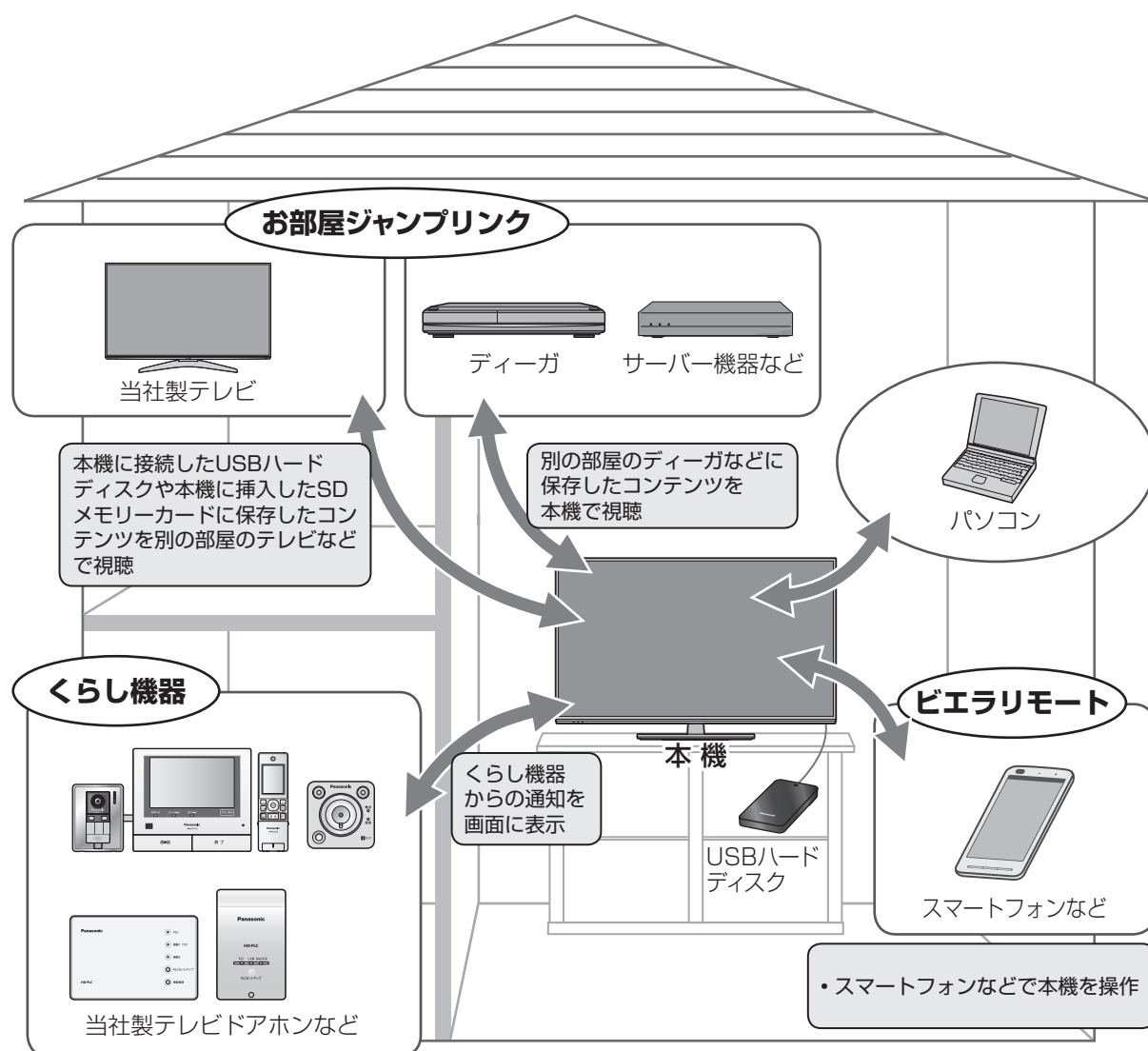
ディモーラをご利用になるには、本機での設定も必要です。詳しくはビエラ操作ガイドをご覧ください。

お知らせ

●ディモーラの機能を使う場合、リモコンで電源を「切」にしてください。
●ディモーラやミモーラのサービスの登録について
本機では、ディモーラやミモーラのサービスに一定期間お試しで登録して利用することができます。（2013年1月現在）
お試しの期間が終了後、引き続きすべての機能を利用したい場合は、パソコンなどからディモーラやミモーラに会員登録する必要があります。すでにCLUB Panasonicに会員登録している場合は、本機からディモーラやミモーラの会員登録することができます。
本機でのお試しの登録や会員登録については、画面の指示に従って行ってください。
・お試しの登録は「機器登録解除」で解除することができます。

詳しくは：?→「ネットワーク」→「外出先から録画予約などを行う」

ネットワーク機器を使う

ネットワーク機器を接続して下記のような操作ができます。

本機で利用できるネットワーク機器（2013年1月現在）

●**お部屋ジャンプリンク**（お部屋ジャンプリンクは、DLNA※の技術を使用しています。）

- ディーガやサーバー機器など
  本機に対応する機器を接続（☞65ページ）すると、接続した機器のハードディスクに保存している動画（ビデオ）や画像（写真）、音楽などのコンテンツを本機で再生できます。
  また、本機の番組表で予約した録画情報をディーガへ転送できます。
  対応するディーガなどについては、以下のホームページでご覧になれます。
  http://panasonic.jp/support/ を開く。「お部屋ジャンプリンク」を選ぶ。

  ※DLNA（Digital Living Network Alliance）は、家庭にあるオーディオ機器、パソコン、家電などをネットワークで接続して利用するために決められた仕様です。

- 当社製テレビ（お部屋ジャンプリンクサーバー機能）（☞80ページ）
  USBハードディスクに録画した番組などを、ネットワークに接続した他のお部屋ジャンプリンク対応テレビなどで視聴することができます。
  お部屋ジャンプリンク対応のテレビについては、以下のホームページでご覧になれます。
  http://panasonic.jp/support/ を開く。「お部屋ジャンプリンク」を選ぶ。

●**ビエラリモート**（☞81ページ）
ビエラリモートは本機の操作ができるスマートフォンなど（アンドロイド端末やiPhone/iPod touch/iPad）のテレビリモコンアプリです。スマートフォンなどにVIERA remote2をインストールし、本機が接続されているネットワークに無線LANで接続して、以下のようなことができます。

- リモコン機能
  スマートフォンなどを本機のリモコンとして使うことができます。
  （チャンネル選局・音量の調整・カーソル操作など）
- Swipe & Share（スワイプ&シェア）
  本機のお部屋ジャンプリンクサーバー機能を使って、USBハードディスクやSDメモリーカード内の動画（ビデオ）や画像（写真）、音楽をスマートフォンなどで視聴、保存することができます。
  スマートフォンなどに保存された動画（ビデオ）や画像（写真）、音楽を本機で再生する、またはUSBハードディスクに保存することができます。
  ※一部のコンテンツはスマートフォンなどで視聴できないことがあります。

●**くらし機器（当社製機器のみ対応）**

- テレビドアホン
  本機に接続すると、呼び出し時に通知や画像をテレビ画面に表示して、来客を確認できます。
  （対応機器： ワイヤレスモニター付　VL-SWD700KL、VL-SWN352KL）
- センサーカメラ／ネットワークカメラ
  本機に接続すると、テレビ画面に画像を表示して、屋外や離れた部屋の様子を確認できます。
  （対応機器： H.264対応センサーカメラ　VL-CM210、VL-CM240、VL-CM260
  ネットワークカメラ　DY-NC10）
- ドアホン用PLCアダプター※
  本機とテレビドアホンをPLCアダプターを利用して接続すると、テレビドアホンからの画像をテレビ画面に表示します。
  電力線の使用状態によっては、使用できないまたは、通信が不安定なコンセントがあります。
  （対応機器： ドアホン用PLCアダプター　VL-SP880）
  テレビドアホンについては、ドアホン用PLCアダプターの取扱説明書をご覧ください。
  ※PLCとは、既存の電力線（屋内電気配線）を利用して、データ通信を行う技術です。
- ネットアダプタ（玄関番用）／
  ライフィニティ システム（くらし安心ホームパネル・宅内コントロールアダプタ）
  本機に接続すると、呼び出し時に通知や画像をテレビ画面に表示して、来客を確認できます。
  「ライフィニティ」とは、住戸内の各設備機器をLANで接続することで実現する、安心・便利なくらしの形です。
  対応機器の詳細については http://panasonic.jp/Lif をご覧ください。

つづく

接続・設定

ネットワーク機器（お部屋ジャンプリンクに対応した機器、くらし機器など）を接続する （☞65ページ）

▼

ネットワーク接続の設定をする （☞69ページ）

▼

お部屋ジャンプリンクサーバー機能、ビエラリモート機能の設定をする （☞80～82ページ）

■ くらし機器の設定について
下記の項目は、メニュー操作で個別に設定することができます。

- くらし機器を使用する
- くらし機器を登録する
- ビエラリンクメニューに表示する

お知らせ

- 「ネットワーク接続」の設定は、ネットワーク機器だけでなく、通信の方式（無線LANまたは有線LAN）や、インターネットへの接続などの設定も行えます。画面の指示に従って設定を行ってください。
- お部屋ジャンプリンクの設定をするとき、ディーガ側の設定が必要な場合があります。詳しくはディーガの取扱説明書をご覧ください。
- ビエラリモートの設定などについては、下記のホームページでご覧になれます。（2013年1月現在）
http://panasonic.jp/support/tv/ を開く。「アプリ情報」から、VIERA remote2の情報を参照する。
（お使いの端末に合わせて、AndroidアプリまたはiPhone/iPod touch/iPadアプリをお選びください。）

お部屋ジャンプリンクの操作

ディーガやネットワークにあるサーバー機器のコンテンツを再生する（DMP機能）※1

お部屋ジャンプリンクに対応したディーガやお部屋ジャンプリンクサーバー機能に対応した当社製テレビのUSBハードディスクに録画した番組、サーバー機器（DMS※2）に保存したコンテンツ（写真やビデオなど）を、本機で視聴することができます。

- ディーガに保存している映像を再生するには、ディーガへの登録が必要な場合があります。詳しくはディーガの取扱説明書をご覧ください。

1 **を押す**

2 「お部屋ジャンプリンク」を選び、「決定」を押す

3 再生したい機器を選び、「決定」を押す
選択した機器の画面を表示します。

- ディーガの画面上で灰色表示されている項目は、本機で再生できない映像です。
- 以降の操作は画面の表示を確認して行ってください。

（終わったら 元の画面 を押す）

「お部屋ジャンプリンク」画面

お知らせ

- 対応した機器（ディーガ、当社製テレビ）や再生できるコンテンツについては、以下のホームページでご覧ください。（2013年1月現在）
http://panasonic.jp/support/ を開き、「お部屋ジャンプリンク」を選ぶ。
  - 対応機器：お部屋ジャンプリンク「■対応機器」の「ビエラとディーガ（サーバー機器）」一覧
  - 再生コンテンツ：サポートメニュー「再生コンテンツ対応表」の「ビエラとディーガ」を選ぶ。
（無線LAN接続の場合、暗号化設定をしていないときは、再生できないコンテンツがあります。）
- 早送り／巻き戻しなどの操作をするには、映像を視聴中に以下のボタンを押してください。
  - ディーガ→「サブメニュー」ボタン
  - サーバー機器、当社製テレビ→「画面表示」ボタン
- 本機とディーガや当社製テレビ、機器間の接続環境によっては、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。2.4 GHzの無線LAN使用時は、11n（5 GHz）の無線LANまたはLANケーブル接続に変更すると再生状態が改善される場合があります。

※1　DMP（デジタルメディアプレーヤー）は、DLNAで決められた機能の一つです。
お部屋ジャンプリンクに対応したディーガなど、DMS機能を持つ機器などに保存されているコンテンツを検索して再生します。
※2　DMS：DLNAで決められた機能の一つで、保存しているコンテンツをDMPに配信する機能です。
本機ではDMS機能をお部屋ジャンプリンクサーバー機能と表示します。

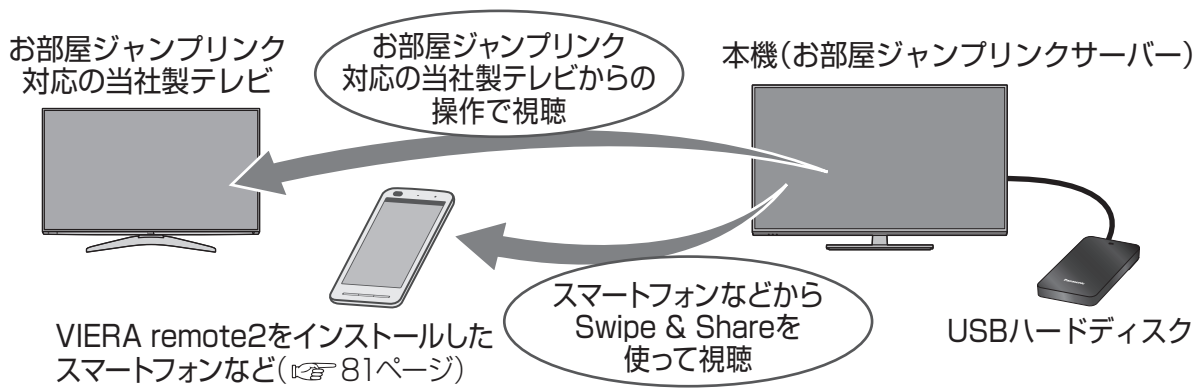
つづく

ネットワーク機器を使う（つづき）

本機で録画した内容や視聴中の番組を別のテレビやスマートフォンなどで見る（お部屋ジャンプリンクサーバー機能）

ネットワーク接続した別のテレビやスマートフォンなど（アンドロイド端末やiPhone/iPod touch/iPad）で、下記のコンテンツを視聴できます。

視聴できるコンテンツ ＼ 視聴できる機器	別のテレビ※	スマートフォンなど
本機で受信している放送（別の機器に放送を転送できます。）	○	−
本機に接続したUSBハードディスク内の録画番組	○	−
本機に接続したUSBハードディスク内の画像（写真）や動画（ビデオ）、音楽	○	○
本機に挿入したSDメモリーカード内の画像（写真）や動画（ビデオ）、音楽	○	○

※お部屋ジャンプリンク対応の当社製テレビ

●「お部屋ジャンプリンク設定」の「サーバー機能」を「オン」にしてください。

例：お部屋ジャンプリンク対応の当社製テレビ（TH-L42DT60）での再生操作

（1）「アプリ」ボタンを押す
（2）「お部屋ジャンプリンク」を選び、「決定」を押す
（3）本機の名称を選択し、「決定」を押す〔「本機の名称変更」で設定した名称を表示〕
●以降の操作は、画面の表示を確認して行ってください。

本体の電源を「切」にすると、お部屋ジャンプリンクサーバー機能は使えません。電源を切るときは、リモコンで「切」にしてください。（お部屋ジャンプリンクサーバー機能使用中は、電源ランプが橙色点灯しています。）お部屋ジャンプリンク設定の「サーバー機能」を「オン」にすると、消費電力が増加することがあります。

お知らせ

●2台以上の機器で同時に視聴することはできません。
●無線LAN接続の場合、暗号化設定をしていないときは、再生できないコンテンツがあります。
●本機と通信できるテレビを制限することができます。「視聴許可方法」を「手動許可」に設定したうえで、「機器一覧」から設定してください。
●以下の場合は、お部屋ジャンプリンクサーバー機能を使うことができません。
• インターネット使用中 • 録画中 • ダビング中 • お部屋ジャンプリンク視聴中
• 設置設定中（かんたん設置設定など）

ビエラリモートについて

ビエラリモートは本機の操作ができるスマートフォンなど（アンドロイド端末やiPhone/iPod touch/iPad）のテレビリモコンアプリです。
上記のスマートフォンなどにVIERA remote2をインストールし、本機が接続されているネットワークに無線LANで接続して、以下のようなことができます。

■ リモコン機能
スマートフォンなどを本機のリモコンとして使うことができます。
（チャンネル選局・音量の調整・カーソル操作など）

■ Swipe & Share（スワイプ&シェア）
本機のお部屋ジャンプリンクサーバー機能を使って、USBハードディスクやSDメモリーカード内の動画（ビデオ）や画像（写真）、音楽をスマートフォンなどで視聴、保存することができます。
スマートフォンなどに保存している動画（ビデオ）や画像（写真）、音楽を、本機で再生する、またはUSBハードディスクに保存することができます。
※一部のコンテンツはスマートフォンなどで視聴できないことがあります。

端末側（スマートフォンなど）で設定する

1 VIERA remote2をダウンロードして、端末にインストールする
2 端末側の無線LAN接続の設定を行う

詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

VIERA remote2の動作環境および端末の設定や操作について（2013年1月現在）
http://panasonic.jp/support/tv/ を開く。
「アプリ情報」から、VIERA remote2の情報を参照する。（お使いの端末に合わせて、AndroidアプリまたはiPhone/iPod touch/iPadアプリをお選びください。）

つづく

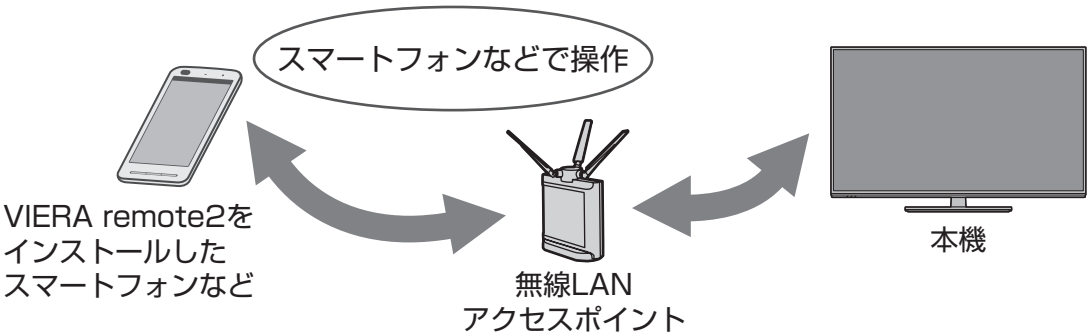
本機側で設定する

1 無線LANアクセスポイントの接続・設定を行う
（☞64、68ページ）

2 「ビエラリモート機能」を「オン」にする
① メニューを押す
②「ネットワーク設定」を選び、「決定」を押す
③「ビエラリモート設定」を選び、「決定」を押す
④「ビエラリモート機能」を選び、「決定」を押す
⑤「オン」を選び、「決定」を押す

- スマートフォンなどで本機の電源を「入」「切」するときは、「リモート電源オン機能」を「オン」にしてください。
- 本機の電源をリモコンで「切」にした状態でデータの転送を行えるようにするときは、「機能待機時転送機能」を「オン」にしてください。

3 スマートフォンなどからコンテンツをテレビに接続したUSBハードディスク内に保存するときは、「コンテンツアップロード先」を選択する

「リモート電源オン機能」や「機能待機時転送機能」を「オン」にすると、消費電力が増加することがあります。

お知らせ
- お使いの端末または端末のOSバージョンによっては、VIERA remote2が動作しない場合があります。

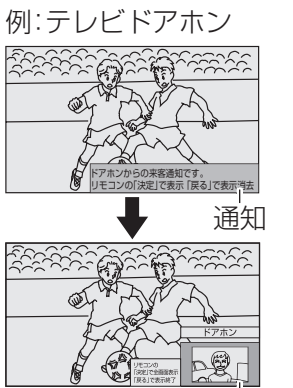
くらし機器の操作

くらし機器からの通知を受ける

1 テレビ画面の視聴中にテレビドアホンなどからの通知が表示されたら「決定」を押す
- 「くらし機器映像の自動表示」を「する」に設定していると、自動的に画像を表示します。

2 確認したら 戻る を押す
- 戻る を押さなかったときは、最大3分以内に表示が消えます。

例：テレビドアホン

通知

くらし機器の画像を表示（「決定」を押すと拡大）

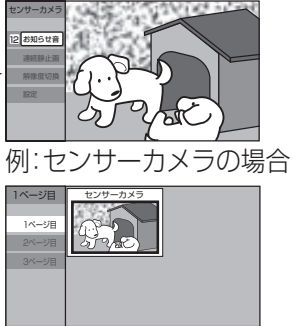
くらし機器の画像を見る

1 ビエラリンク を押す

2 「くらし機器を操作する」を選び、「決定」を押す

ビエラリンクメニュー	
機器を操作する	ディーガ
音声を切り換える	シアター
シアターサウンドを切り換える	オート
くらし機器を操作する	センサーカメラ

3 くらし機器を選び、「決定」を押す
- マルチ表示は、くらし機器一覧（ビエラリンク設定）画面で「マルチ表示」が「可」になっている機器のみです。
- 以降の操作は各くらし機器の取扱説明書をご覧ください。

（戻る でくらし機器を終了する）

例：センサーカメラの場合

例：マルチ表示の場合
- 選択したくらし機器の画像を表示します。

くらし機器からの通知や画像について

- 約1秒ごとに更新しながら画像が表示されます。（動画ではありません）
  H.264対応センサーカメラの場合は、全画面表示時に動画と音声が出ます。
- ネットワークの状態や設定によって正常に動作しない場合があります。また、長時間連続で、くらし機器からの映像を再生した場合は、ネットワークの状態などによって途中で動画／画像が止まる場合があります。
- 本機からの応答はできません。
- 画像の表示中は、チャンネルや入力の切り換え、メニュー操作はできません。
- 本機の電源を入れた直後は、通知や画像が表示されないことがあります。
  約1分（DHCP機能付きのルーターを使用していないときは約3分）お待ちください。
- 「通知時の表示サイズ」を「全画面」に設定時は、画面全体に拡大して表示されます。
- 2画面での視聴中にくらし機器からの動画／画像を表示すると、1画面になります。
- ドアホン側で応答したときは、ドアホンから送られてくる画像が消え、元の画面に戻ります。
- 以下の場合、くらし機器の画像を確認したあとに「戻る」を押すと、テレビ画面に戻ります。
  - USBハードディスク再生中
  - 番組表表示中
  - インターネット使用中
  - お部屋ジャンプリンク視聴中
  - SDメモリーカードの動画や画像表示中
  - データ放送表示中

詳しくは：→「ネットワーク」

文字入力について

文字入力には、画面キーボード方式とリモコンボタン方式があります。
画面によって入力方式が異なります。

画面キーボード方式

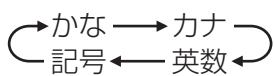
画面上にキーボードを表示して▲▼◀▶で文字や項目を選び、入力します。

●キーボードを消すときは、「戻る」ボタンを押す。

■ 文字入力のしかた

例）「映画」と入力するとき

（1）青を押して入力文字を切り換える
●押すたびにキーボードが切り換わります。

かな ⟶ カナ ⟶ 英数 ⟶ 記号 ⟶ かな

（2）▲▼◀▶でキーボードから文字を選び、「決定」を押す

（3）赤を押して、◀▶で漢字を選び、「決定」を押す
●変換しないときは「黄」ボタンを押す。

（4）黄を押して終了する
キーボードの表示が消えます。

●文節を分けて変換するとき
「赤」ボタンで変換中に画面キーボードの ◀ ▶ で文節を切り換える。

●全角の記号を入力するとき
「きごう」と入力して「赤」ボタンを押し、◀▶で記号を選び、「決定」を押す。

●全角の英数字を入力するとき
英数モード（半角）で入力し、「赤」ボタンを押して変換する。

●文字を削除するとき
削除する文字の右側に画面キーボードの ◀ ▶ でカーソルを移動させて、「緑」ボタンを押す。

■ 言語切り換えのしかた

（1）画面キーボードの 🔧 を選び、「決定」を押す

（2）▲▼で言語を選び、「決定」を押す

お知らせ

●画面キーボードのレイアウトは予告なく変更する場合があります。

リモコンボタン方式

リモコンの数字ボタンを使い、携帯電話と同じような操作で入力します。
●文字入力一覧表（☞右記）

■ 文字入力のしかた

例）「映画」と入力するとき

（1）緑を押して入力文字を切り換える
●押すたびに切り換わります。

かな ⟶ カナ ⟶ 英数 ⟶ 数字 ⟶ かな

（2）「かな」を選び、「決定」を押す

（3）入力画面で「えいが」と入力
●次のように入力します。

「え」：1（4回）
▶
「い」：1（2回）
「が」：2（1回）
→10（1回）

えいが

●同じボタンの文字を続けて入力するには、▶でカーソルを右へ移動させる。

（4）▲▼で漢字を選び、「決定」を押す

カーソル
映画|

（5）「決定」を押して確定する

●文節を分けて変換するとき
▲▼で変換中に◀▶で文節を切り換え、▲▼で変換する。

えいが

●記号を入力するとき
「きごう」と入力して▲▼を押し、▲▼で記号を選び、「決定」を押す。

●全角の英数字を入力するとき
英数モード（半角）で入力し、▲▼で変換する。

●文字を追加するとき
追加する位置に◀▶でカーソルを移動させて、文字を入力する。

●文字を削除するとき
削除する文字の左側に◀▶でカーソルを移動させて、「黄」ボタンを押す。

リモコンボタン方式での文字入力一覧表

ボタン	かな	カナ	英数	数字
1	あいうえお ぁぃぅぇぉ１	アイウエオ ァィゥェォ１	@ . / : ~ _ # $ % * + = ^ ` 1	1
2	かきくけこ２	カキクケコ２	a b c A B C 2	2
3	さしすせそ３	サシスセソ３	d e f D E F 3	3
4	たちつてとっ４	タチツテトッ４	g h i G H I 4	4
5	なにぬねの５	ナニヌネノ５	j k l J K L 5	5
6	はひふへほ６	ハヒフヘホ６	m n o M N O 6	6
7	まみむめも７	マミムメモ７	p q r s P Q R S 7	7
8	やゆよゃゅょ８	ヤユヨャュョ８	t u v T U V 8	8
9	らりるれろ９	ラリルレロ９	w x y z W X Y Z 9	9
10	、。？！・（）０	、。？！・（）０	ー，；’”？！＆￥｜（）＜＞［］｛｝０	0
11	わをんゎー スペース	ワヲンヮー スペース	スペース	*
12	改行	改行	改行	#

●ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。
（例：「い」を入力するときは1を2回押す）
未確定の文字があるときに12を押すと、表の逆順で文字が変わります。

●濁点（゛）や半濁点（゜）を入力するときは、文字に続けて10を押す。

メニュー一覧

●本機のメニュー（メニューを押すと表示）は、下記のように構成されています。
●下記メニュー一覧は、メニューの一部を記載しています。
●メニューの操作など、詳しくはビエラ操作ガイドをご覧ください。

メニュー

映像調整
- 映像モード
- バックライト
- ピクチャー
- 黒レベル
- 色の濃さ
- 色あい
- シャープネス
- 色温度
- ビビッド
- 液晶AI
- 明るさオート
- NR
- HDオプティマイザー
- Wスピード
- テクニカル
- 画質の詳細設定
- オプション機能
- 画面の設定
- 3D設定
- 画質設定コピー
- 標準に戻す

音声調整
- 音声モード
- バス
- トレブル
- イコライザー
- バランス
- サラウンド
- 低音強調
- デジタルリマスター
- ヘッドホン/イヤホン音量
- 音量オート
- 音量補正
- 壁寄せ設定
- デジタル音声出力
- 音声ガイドの設定
- HDMI音声入力設定※1
- スピーカーとイヤホン音声の同時出力
- 標準に戻す

※1 HDMI入力時にのみ表示されます。

ネットワーク設定
- **ネットワーク接続**
  - 有線（LANケーブル）※2
    - 本機の名称変更
    - IPアドレス自動取得
    - IPアドレス
    - サブネットマスク
    - ゲートウェイアドレス
    - DNS-IP自動取得
    - DNS
    - プロキシサーバー設定
    - ネットワーク状態確認
  - 無線LAN※2
  - 無線親機設定※2
    - WPSで子機接続
    - 設定変更
- **ネットワーク状態**
- **ビエラリモート設定**
  - ビエラリモート機能
  - リモート電源オン機能
  - コンテンツアップロード先
  - 機能待機時転送機能
- **お部屋ジャンプリンク設定**
  - サーバー機能
  - 接続許可方法
  - 接続機器一覧
- **くらし機器設定**
- **ディモーラの設定**
  - ディモーラ機能
  - ディモーラからの番組消去
  - 機器パスワード初期化
  - 機器ID確認
  - 機器登録解除

※2「詳細設定」選択時にのみ表示されます。

ネットワーク設定（つづき）
- **ソフトウェアの更新確認**
- **ソフトウェアの更新通知**

タイマー設定
- **時間指定予約**
  - 予約方式
  - 放送種別／チャンネル
  - 曜日／日
  - 開始時刻
  - 終了時刻
  - 録画機器
  - 録画モード
  - その他の設定
  - 予約せず戻る
  - 予約する
- **オンタイマー**
  - オンタイマー
  - 時刻
  - 時刻読み上げ設定
  - 音量
  - 放送／入力
  - チャンネル
  - チャンネル名
- **時刻読み上げ中止**
- **無操作自動オフ**
- **無信号自動オフ**

機器設定
- **エコナビ**
  - おすすめ設定
  - 標準に戻す
  - 省電力モード
  - 明るさオート
  - エコナビ表示
  - ビエラリンク
  - 電源オフ連動
  - ECOスタンバイ
  - こまめにオフ
  - 無操作自動オフ
  - 無信号自動オフ
- **USB機器一覧**
- **録画設定**
  - 探して毎回予約
  - 録画ボタン設定
  - オートチャプター
  - USB HDD機能待機
  - ダビング履歴
- **制限項目設定**
  - 暗証番号変更
  - 視聴可能年齢
  - フィルタリング設定
  - 暗証番号削除
- **表示の設定**
  - 字幕の設定
  - ビデオ入力表示書換/スキップ設定
  - タイトル表示
  - 時計表示
- **ビエラリンク（HDMI）設定**
  - ビエラリンク
  - 電源オン連動
  - 電源オフ連動
  - ECOスタンバイ
  - こまめにオフ
  - ケーブルテレビの電源オン連動
  - ディーガの操作
  - テスト（ディーガ電源）
- **かんたん設置設定**
- **設置設定**
  - 受信対象設定
  - チャンネル設定
  - 番組表設定
  - 地域設定
  - 受信設定
  - リモコン設定
  - クイックスタート
  - B-CASカードテスト
- **システム設定**
  - 個人情報リセット
  - 放送メール
  - B-CASカード
  - ボード
  - 放送ダウンロード予約
  - ライセンス情報
  - ルート証明書
- **その他の設定**
  - 選局対象

ヘルプ
- ビエラ操作ガイド
- ネットで使い方ガイド
- 映像音声テスト
- ID表示

商標などについて

●SDXCロゴはSD-3C,LLCの商標です。

●HDAVI Control™は商標です。

●RealD 3Dは、RealD社の商標です。

●HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。

●DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.

●"AVCHD"および"AVCHD"ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。

●本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
- AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
- ライセンスをうけた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合

詳細については米国法人MPEG LA, LLC(http://www.mpegla.com)を参照ください。

●ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

●Gガイドは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。

●米国Rovi Corporationおよびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

●天災、システム障害その他の事由により、テレビ番組ガイド(EPG)が使用できない場合があります。
当社はテレビ番組ガイド(EPG)の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

●日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のモバイルWnnを使用しています。
"Mobile Wnn"©OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved.

●富士通株式会社のInspirium音声合成ライブラリを使用しています。
Inspirium音声合成ライブラリ Copyright FUJITSU LIMITED 2010-2013

●Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

●Skype、関連する商標とロゴおよび「S」マークは、Skype Limited社の商標です。

●デジタルアーツ／i-フィルターは、デジタルアーツ株式会社の登録商標です。

●iPhone、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPadは、Apple Inc.の商標です。

●Android、アンドロイドは、Google Inc.の商標です。

●"PlayReady" is a trademark registered by Microsoft. Please be aware of the following.
(a) This product contains technology subject to certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of this technology outside of this product is prohibited without the appropriate license(s) from Microsoft.
(b) Content owners use Microsoft PlayReady™ content access technology to protect their intellectual property, including copyrighted content. This device uses PlayReady technology to access PlayReady-protected content and/or WMDRM-protected content. If the device fails to properly enforce restrictions on content usage, content owners may require Microsoft to revoke the device's ability to consume PlayReady-protected content. Revocation should not affect unprotected content or content protected by other content access technologies.
Content owners may require you to upgrade PlayReady to access their content. If you decline an upgrade, you will not be able to access content that requires the upgrade.

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。
(1)パナソニックにより、又はパナソニックのために開発されたソフトウェア
(2)第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
(3)GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1)に基づきライセンスされたソフトウェア
(4)LGPL V2.1以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記(3)と(4)に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細については、本製品の「メニュー→機器設定→システム設定→ライセンス情報→ソフト情報表示」に記載の所定の条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対して、実費にて、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。
問い合わせ窓口:cdrequest@unipf.jp

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。
http://www.unipf.jp/dl/JPDTV13/

This product incorporates the following software:
(1) the software developed independently by or for Panasonic Corporation,
(2) the software owned by third party and licensed to Panasonic Corporation,
(3) the software licensed under the GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1 (LGPL V2.1) and/or,
(4) open sourced software other than the software licensed under the LGPL V2.1.

The software categorized as (3) and (4) are distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY, without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. Please refer to the detailed terms and conditions thereof shown in the "メニュー→機器設定→システム設定→ライセンス情報→ソフト情報表示" menu on this product.

At least three (3) years from delivery of this product, Panasonic will give to any third party who contacts us at the contact information provided below, for a charge no more than our cost of physically performing source code distribution,a complete machine-readable copy of the corresponding source code covered under LGPL V2.1 or the other licenses with the obligation to do so, as well as the respective copyright notice thereof.
Contact Information : cdrequest@unipf.jp

The source code and the copyright notice are also available for free in our website below.
http://www.unipf.jp/dl/JPDTV13/

●映像が出ないなど表示がおかしい、または急にリモコンが操作できなくなった
- 本機には非常に高度なソフトウェアが組み込まれております。
  万が一「リモコンが操作できない」「表示が乱れる」など、何かおかしいと感じられたときは、電源プラグをコンセントから抜き、約5秒以上後に再度電源プラグを差し込み、電源を入れてください。

●電源が入らない
- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？(☞31ページ)
- 電源コードが本体から抜けていませんか？(☞31ページ)
- リモコンの場合は、本体の電源が「入」になっていますか？(☞19ページ)
- リモコンを本体のリモコン受信部に向けて操作していますか？(☞18ページ)
- リモコンモードが違っていませんか？(☞91ページ)

●リモコンを操作していないときに電源ランプが点滅する
- 本体の電源を「入」にすると、テレビ起動中、電源ランプは緑色点滅します。
- 電源プラグをコンセントから抜き、約5秒以上後に再度電源プラグを差し込み、電源を入れてください。

  上記の操作で直らないときは、故障の可能性があります。お買い上げの販売店または98ページの連絡先にご相談ください。

●リモコンで操作できない
- 電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？(☞21ページ)
- リモコン受信部に向けて操作していますか？(☞18ページ)
- リモコン受信部に蛍光灯の光など強い照明が当たっていませんか？(☞18ページ)
- 受信異常により、本機の操作ができなくなる場合があります。
  本体の電源を「切」にし、再度「入」にしてください。(☞19ページ)
- リモコンモードが違っていませんか？(☞91ページ)

●リモコンの数字ボタンで選局できない
- 選局時に「このボタンにチャンネルは設定されていません」というメッセージが表示された場合は、放送切換ボタンを押してから、再度、数字ボタンを押してください。
  (☞20ページ)

●音声ガイドが実際の読みかたと異なる読み上げを行う
- 機械による読み上げのため、実際の読みかたと異なる場合がありますが、故障ではありません。

●インターネットに接続できない
- 有線、無線の切り換えはできていますか？

●無線方式11n(5 GHz)対応のアクセスポイントを使用時、映像が途切れたり、接続が切れる
- アクセスポイントの無線方式を11n(5 GHz)に設定していますか？
  (詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。)
- 電波を使う機器が近くにないか、確認してください。
  (電子レンジ、デジタルコードレス電話機など)

デジタル放送からのダウンロードにより、常に制御プログラムを最新の状態にしてください。
テレビの視聴後は、リモコンで電源を「切」にすることにより、ダウンロードが可能になります。
リモコンで電源「切」の間に、最新の制御プログラムが自動受信されます。

リモコンモードについて

リモコンモードの設定

本機の近くに別の当社製テレビがあるとき、リモコンの操作をすると別のテレビが動作してしまうことがあります。同時に動作することを防ぐには、下記の手順でリモコンモードを変更してください。

1 メニュー を押す

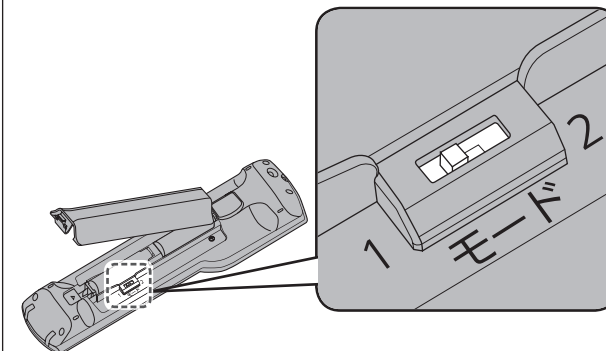
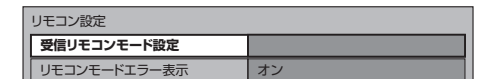
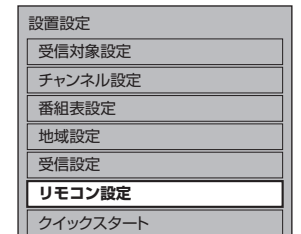
2 「機器設定」を選び、「決定」を押す

3 「設置設定」を選び、「決定」を押す

4 「リモコン設定」を選び、「決定」を押す

5 「受信リモコンモード設定」を選び、「決定」を押す

リモコン設定
受信リモコンモード設定
リモコンモードエラー表示　オン

6 リモコン裏側の電池のふたを開き、モードスイッチでリモコンモードを切り換える

7 電池のふたを閉め、リモコン受信部に向けて「決定」を押す
●設定後は「元の画面」を押すとテレビ画面に戻ります。

リモコンモードの設定が変更されました。

■ リモコンを紛失した場合は
本体のリモコンモードを「モード2」に設定してお使いの場合に、リモコンを紛失されたときは、下記の手順で「モード1」に変更してください。
(1) リモコンモード1に設定された別のパナソニック製テレビのリモコンの「消音」ボタンを約5秒間押す。
(2) リモコンモード強制リセットの確認パネルが表示されたら、再び、「消音」ボタンを約3秒間押す。
(3) お使いのリモコンで本体の操作ができるか確認する。

詳しくは：→「いろいろな機能を設定する」→「地域やチャンネルなど設置に関する設定をする」→「リモコンモードを変更する」

お手入れについて

■キャビネットや液晶パネル表面の汚れは柔らかい布(綿・ネル地・クリーニングクロスなど)で軽くふき取ってください。

- 化学ぞうきんは使用しないでください。
  含まれている成分によっては、キャビネットや液晶パネルの表面が変質したり、ひび割れなどの原因になることがあります。
- 市販のクリーニングクロス(テレビ用)をご使用の際、下に記載したものは使用しないでください。
  ひび割れなどの原因になることがあります。
  ※成分表示に流動パラフィンや界面活性剤と記載のあるもの、ウェットタイプ、クリーニング液を使うもの
- ひどい汚れは、ほこりをはらったあと、水で100倍程度に薄めた中性洗剤にひたした布を、かたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

■スプレー洗剤などは直接かけないでください。

水などの液体が内部に入ると、故障の原因になります。

キャビネットについて

■殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけないでください。

- また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。
  キャビネットの変質や塗装がはがれる原因になります。

液晶パネルについて

■液晶パネル表面は特殊な加工をしています。

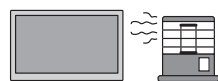
- かたい布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。

3Dグラスについて

- 3Dグラスのお手入れについては、62ページをお読みください。

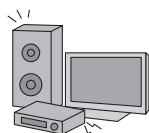
設置するとき

■直射日光を避け、熱器具から離す

- キャビネットの変形や故障の原因になります。

■本機を設置するとき

- 必ず2名で行ってください。
- 据置きスタンドの取り付けは、安全に作業するために、指定の手順以外では行わないでください。(☞14、15ページ)
  液晶パネル内部の破損の原因となります。

■機器相互のかんしょうに注意する

- 電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などをさけます。

■接続は電源を"切"にしてから行う

- 各機器の説明書に従って、接続してください。
  (オーディオ機器、録画機器、ゲーム機器、オーディオアンプなど)

■本機を移動するとき

- 必ず2名で運んでください。
  液晶パネル面を上または下にしての移動は液晶パネル内部の破損の原因となります。

■アンテナは定期的に点検を行う

- 風雨にさらされたり、ばい煙の多い所、潮風にさらされる所は早く傷みます。
  映りが悪くなったら、お買い上げの販売店にご相談を。

■良好な画面で見るために

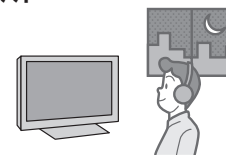
- アンテナ線は、同軸ケーブルのご使用を。

■包装箱に入れて本機を運搬するときは、必ず立てた状態で行う

- 絶対に横に倒した状態で運送・移動は行わないでください。パネル面が進行方向と平行になるように運送してください。
- 必ず2名で安定した体勢で運搬してください。
- 包装箱が倒れないように手で支えてください。
- トラックなどの荷台に載せて運送する場合は、転倒したり滑ったりしないように固定してください。

ご使用になるとき

■適度の音量にして隣近所へ配慮する

- 特に夜間は、窓を閉めたりヘッドホンの使用をおすすめします。
- 音量を下げると、消費電力や音のひずみも少なくなります。

■見る距離と部屋の明るさは

- 画面の縦の長さの約3倍程度、また新聞が楽に読める明るさで。

■本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房を入れて急に部屋の温度が上がったりした場合、温度差により本機の表面や内部に結露が起こることがあります。
そのままご使用になると故障の原因になります。

- 部屋の温度になじむまで本体の電源を「切」にしておいてください。(約2～3時間)
- 温度変化が起こりやすい場所や湿度が高い場所(湯気が立ち込めている場所など)には設置しないでください。

■テレビの上部や液晶パネル面、キャビネットの温度が高くなることがあります。

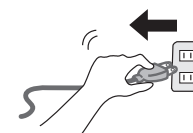
- 本体天面や液晶パネル面、キャビネットの温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。
  (本体の通風孔はふさがないように、ご使用ください)

■テレビ本体や内部から音が聞こえる場合があります。

- テレビから時々、「ピシッ」と音がする
  画面や音声に異常がない場合、室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響ありません。
- テレビ内部から「カチッ」と音がする
  番組表などの情報を送受信するため、本機内部の回路が自動的に動作する音です。
  デジタル放送を録画予約したときなど、予約に従い本機内部の回路が自動的に動作する音です。
- 液晶パネルが動く、「カタカタ」と音がする
  液晶パネルに力が加わらないように遊びを設けていますので、故障ではありません。

長時間使用しないときは

■電源プラグをコンセントから抜いてください。

- リモコンで電源を切った場合は約 0.1 W、本体の電源を切った場合は約 0.1 Wの電力を消費します。

液晶パネルについて

■画面に赤い点、青い点または緑の点があるのは、液晶パネル特有の現象で故障ではありません。

- 液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99パーセント以上の有効画素がありますが、0.01パーセントの画素欠けや常時点灯するものがありますのでご了承ください。

■残像が発生する場合があります。

- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに残像は消えます。

無線LAN使用上のお願い

■使用周波数帯

無線LANは2.4 GHz 帯と5 GHz 帯の周波数帯を使用します。
他の無線機器も同じ周波数帯を使用している可能性があります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

■機器認定

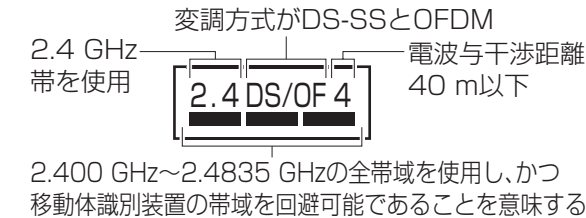
本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
- 分解／改造する
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがす

■使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業･科学･医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、パナソニック VIERA（ビエラ）ご相談窓口（裏表紙に記載）にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、裏表紙のパナソニックVIERAご相談窓口へお問い合せください。

■無線LANの周波数表示の見かた（本機裏面のモデル銘板に記載）

2.4 GHz帯を使用
変調方式がDS-SSとOFDM
電波与干渉距離40 m以下
2.4 DS/OF 4
2.400 GHz～2.4835 GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

■使用制限

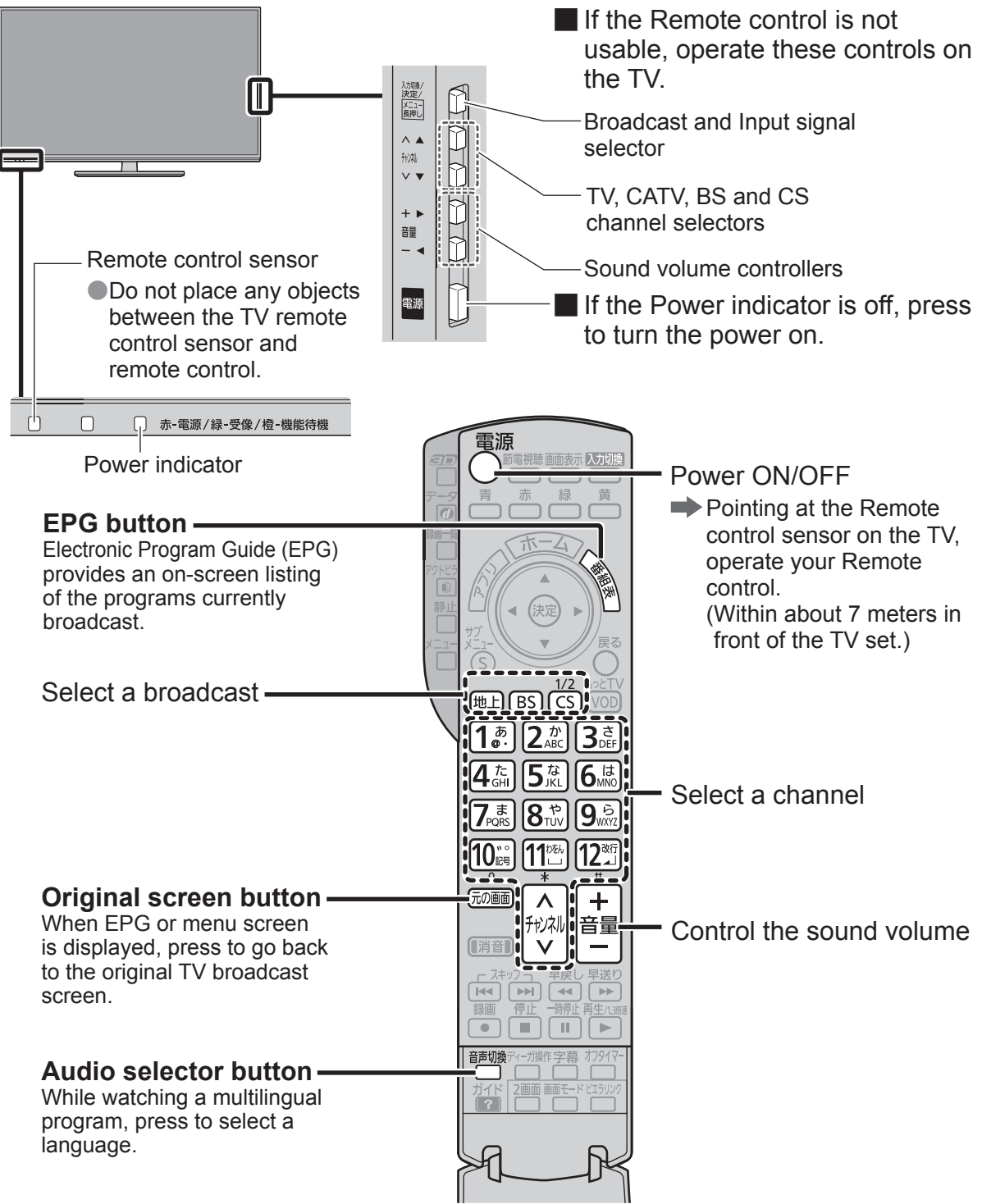
- 日本国内でのみ使用できます。
- 法令により本機の5 GHz帯無線装置を屋外で使用することは禁止されています。

■無線LANの仕様

準拠規格	IEEE802.11a/b/g/n
使用周波数範囲/チャンネル（中心周波数）	2.412 GHz～2.472 GHz /1～13ch 5.180 GHz～5.240 GHz /W52：36, 40, 44, 48ch 5.260 GHz～5.320 GHz /W53：52, 56, 60, 64ch 5.500 GHz～5.700 GHz /W56：100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch
セキュリティ	WPA2-PSK(TKIP/AES) WPA-PSK(TKIP/AES) WEP(64bit/128bit)

Quick Reference Guide

Basic Operations

- For more detailed instructions on the operation, points of caution, maintenance and what to do in case of malfunction, please contact the place of purchase.
- The instructions and illustrations indicated below are for TH-L42DT60.

仕様

●このテレビを使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式および電源電圧が異なりますので使用できません。
(This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

		テレビ本体		
品番		TH-L55DT60(55V型)	TH-L47DT60(47V型)	TH-L42DT60(42V型)
種類		地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ	地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ	
使用電源		AC100 V　50/60 Hz	AC100 V　50/60 Hz	
消費電力		116 W	95 W	85 W
		本体電源「切」時　約 0.1 W、リモコンで電源「切」時　約 0.1 W(データ取得時※は除く) (クイックスタート「入」設定時、データ取得時※、またはUSBハードディスク予約録画実行時　最大約 15 W) ※放送局からの番組表や情報を電波を通して受信するとき	本体電源「切」時　約 0.1 W、リモコンで電源「切」時　約 0.1 W(データ取得時※は除く) (クイックスタート「入」設定時、データ取得時※、またはUSBハードディスク予約録画実行時　最大約 14 W) ※放送局からの番組表や情報を電波を通して受信するとき	
年間消費電力量		95 kWh/年(スタンダード時)	81 kWh/年(スタンダード時)	73 kWh/年(スタンダード時)
区分名		DG1(FHD、液晶倍速、付加機能1)	DG1(FHD、液晶倍速、付加機能1)	
受信可能放送		地上デジタル※(CATVパススルー対応)/BSデジタル/110度CSデジタル ※ワンセグ放送は除く	地上デジタル※(CATVパススルー対応)/BSデジタル/110度CSデジタル ※ワンセグ放送は除く	
音声実用最大出力		18 W(4 W +4 W +10 W)JEITA、8連スピーカーユニット 2個、ウーハーφ7.5 cm 1個	18 W(4 W +4 W +10 W)JEITA、8連スピーカーユニット 2個、ウーハーφ7.5 cm 1個	
表示パネル		液晶パネル　駆動方式:IPS方式、バックライト:LED	液晶パネル　駆動方式:IPS方式、バックライト:LED	
画素数		水平1920×垂直1080	水平1920×垂直1080	
画面寸法		幅 121.0 cm　高さ 68.0 cm 対角 138.8 cm	幅 104.0 cm　高さ 58.5 cm 対角 119.3 cm	幅 92.8 cm　高さ 52.2 cm 対角 106.5 cm
動作使用条件		周囲温度:0 ℃～40 ℃、相対湿度:20%～80%(結露なきこと)	周囲温度:0 ℃～40 ℃、相対湿度:20%～80%(結露なきこと)	
接続端子	NTSC関連	●ビデオ入力　映像:1 V[p-p](75 Ω)　音声:左・右　0.5 V[rms]	●ビデオ入力　映像:1 V[p-p](75 Ω)　音声:左・右　0.5 V[rms]	
	D端子 ビデオ関連	●D4映像〔Y:1 V[p-p](75 Ω)、PB/CB:0.7 V[p-p](75 Ω)、PR/CR:0.7 V[p-p](75 Ω)〕 音声:左・右 0.5 V[rms](音声はビデオ入力と兼用) 入力(480i、480p、720p、1080i)自動切換式	●D4映像〔Y:1 V[p-p](75 Ω)、PB/CB:0.7 V[p-p](75 Ω)、PR/CR:0.7 V[p-p](75 Ω)〕 音声:左・右 0.5 V[rms](音声はビデオ入力と兼用) 入力(480i、480p、720p、1080i)自動切換式	
	衛星関連	●BS・110度CS-IF入力(75 Ω)　兼　衛星アンテナ用電源(DC15 V)出力	●BS・110度CS-IF入力(75 Ω)　兼　衛星アンテナ用電源(DC15 V)出力	
	HDMI入力	●HDMI端子 3系統:本機はビエラリンク(HDMI)Ver.5に対応しています。 対応信号について(☞25ページ) HDMI 1端子はARC(オーディオリターンチャンネル)対応	●HDMI端子 3系統:本機はビエラリンク(HDMI)Ver.5に対応しています。 対応信号について(☞25ページ) HDMI 1端子はARC(オーディオリターンチャンネル)対応	
	その他	●光デジタル音声出力端子:−18 dBm 660 nm ●LAN端子(10BASE-T/100BASE-TX) ●ヘッドホン/イヤホン端子(16～32 Ω推奨) ●SDメモリーカード挿入口(SDXCメモリーカード対応) ●USB端子※ 2系統(DC5 V　MAX500 mA)(☞25ページ) ※USB3.0には対応していません。	●光デジタル音声出力端子:−18 dBm 660 nm ●LAN端子(10BASE-T/100BASE-TX) ●ヘッドホン/イヤホン端子(16～32 Ω推奨) ●SDメモリーカード挿入口(SDXCメモリーカード対応) ●USB端子※ 2系統(DC5 V　MAX500 mA)(☞25ページ) ※USB3.0には対応していません。	
外形寸法	据置きスタンド含む	幅123.8 cm　高さ77.9 cm 奥行29.6 cm	幅106.7 cm　高さ68.2 cm 奥行26.5 cm	幅95.6 cm　高さ62.0 cm 奥行22.7 cm
	本体のみ	幅123.8 cm　高さ72.4 cm 奥行 3.5 cm	幅106.7 cm　高さ62.7 cm 奥行 3.5 cm	幅95.6 cm　高さ56.4 cm 奥行 3.5 cm
質量	据置きスタンド含む	約 25.0 kg	約 18.0 kg	約 15.0 kg
	本体のみ	約 21.0 kg	約 15.0 kg	約 12.5 kg
キャビネット材質		前面:金属・樹脂　背面:金属	前面:金属・樹脂　背面:金属	
角度調整範囲		左右:約 15°	左右:約 15°	

●年間消費電力量:省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
●区分名:「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビに使用される画素数、表示素子、動画表示および付加機能の有無等に基づいた区分を行っています。その区分の名称です。
●テレビのV型(55V型/47V型/42V型)は有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
●本製品は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

リモコン (品番:N2QAYB000848)	使用電源	DC3 V (単3形乾電池2コ)	操作距離	約 7 m以内 (テレビ正面距離)
	質量	約 160 g (乾電池含)	操作範囲	左右各 約30°以内 上下各 約20°以内

使いかた・お手入れ・修理 などは…

■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	(　　)　　－
お買い上げ日	年　月　日

修理を依頼されるときは

90ページの故障かな !? とビエラ操作ガイド（トップページ）の「困ったときは」に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	地上・BS・110度CSデジタル ハイビジョン液晶テレビ
●品　番	TH-
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 8年

当社は、このテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック VIERA（ビエラ）ご相談窓口　365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-981（パナは キュウハチイチ）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●修理に関するご相談は………………

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 0120-878-554（パナは イイヨ）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の 修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	窓口	電話	所在地
北海道地区	札幌	☎ (011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	☎ (0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	☎ (0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3
	函館	☎ (0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241
東北地区	青森	☎ (0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
	秋田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	☎ (024)991-9308	郡山市備前舘2丁目5
首都圏地区	栃木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	☎ (048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎ (03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山梨	☎ (055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	三重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋賀	☎ (077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
	京都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎ (06)7730-8888	門真市松生町1-15
	奈良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊本	☎ (096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
	鹿児島	☎ (099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3
沖縄地区	沖縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html　1112